「第五次猪名川町総合計画」の
後期基本計画に向けた

まちづくりアンケート
調査結果報告書

平成 25 年 10 月 25 日
兵庫県　猪名川町

【目 次】

Ⅰ．調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１．調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．調査設計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

３．報告書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅱ．調査の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

１．回答者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

２．調査結果の要約・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

３．生活環境について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

４．地域との関わりや地域活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

５．社会や地域における課題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65

６．今後のまちづくりについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的

本調査は、第五次総合計画後期基本計画の策定にあたり、前期計画の評価をするとともに、住民の皆様のご意見を把握し、これからのまちづくりに反映するために実施しました。

２．調査設計

調査区域　：猪名川町全域
調査対象　：15 歳以上の住民の中から 3,000 人を無作為抽出
調査時期　：平成 25 年 7 月
調査方法　：郵送配布、郵送回収による郵送調査
配 布 数　：3,000 票

■参考：性別・年代別回収率

配　布　数	3,000		
回　収　数	1,092	回　収　率	36.4%
有効回収数	1,086	有効回収率	36.2%

		回収数	構成比率
性　別	男	434	40.0%
	女	593	54.6%
	不明・無回答	59	5.4%
年齢別	15～19 歳	38	3.5%
	20～29 歳	50	4.6%
	30～39 歳	122	11.2%
	40～49 歳	173	15.9%
	50～59 歳	194	17.9%
	60～64 歳	127	11.7%
	65～69 歳	128	11.8%
	70～74 歳	116	10.7%
	75 歳以上	126	11.6%
	不明・無回答	12	1.1%

３．報告書の見方

● 回答結果は、有効標本数に対して、それぞれの少数第２位を四捨五入した回答割合を示しています。そのため、合計値が 100.0%にならない場合があります。

● グラフ及び表において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

● 本報告書中にある（SA）（Single Answer）は単数回答設問、（MA）（Multiple Answer）は複数回答設問、（数量）は数字による直接回答の設問であることを示しています。

● グラフ及び表のＮ（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

● 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

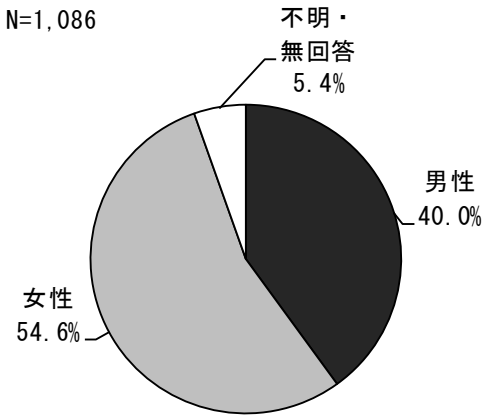
II. 調査の結果

回答者について

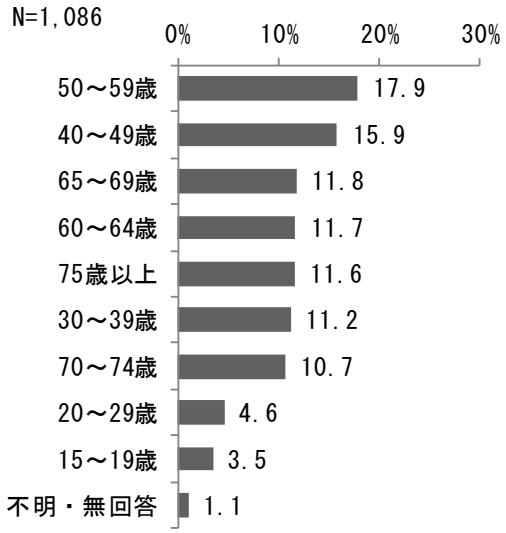
問１－（１）（２）　性別/年齢（SA）

回答者の性別をみると、「女性」が 54.6%、「男性」が 40.0%となっています。
年齢では、「50 歳代」が 17.9%で最も高く、次いで「40 歳代」が 15.9%となっています。

■性　別

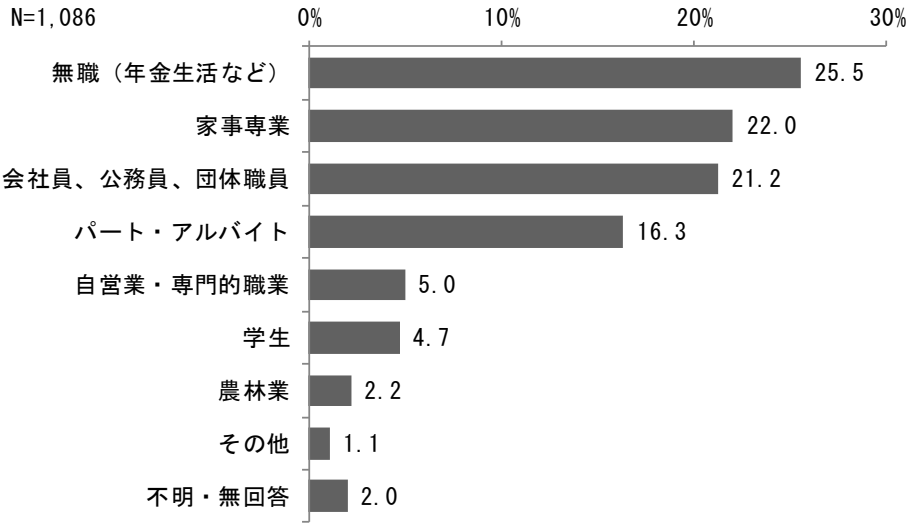


■年　齢



問１－（３）　職業（SA）

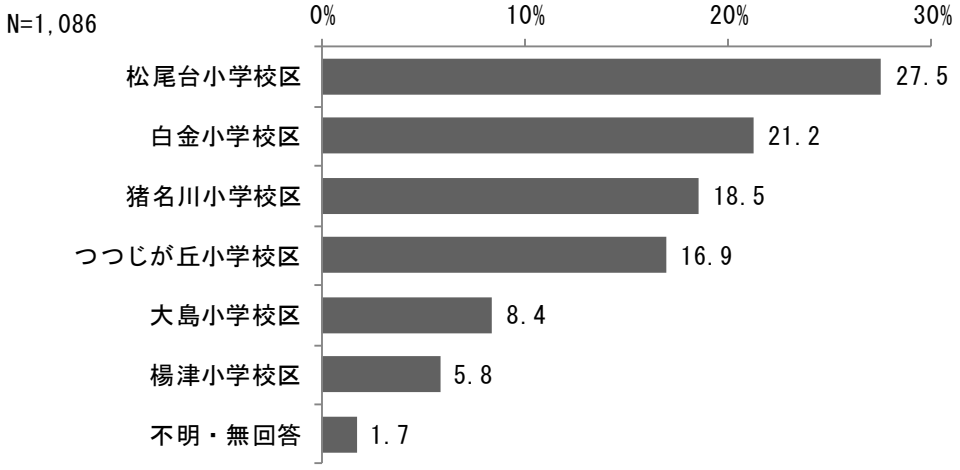
回答者の職業をみると、「無職（年金生活など）」が 25.5%で最も高く、次いで「家事専業」が 22.0%、「会社員、公務員、団体職員」が 21.2%となっています。パートタイム等を含めた有職者の合計は 44.7%で、全体の約半数を占めています。



その他回答	類似回答数
教育関連	2

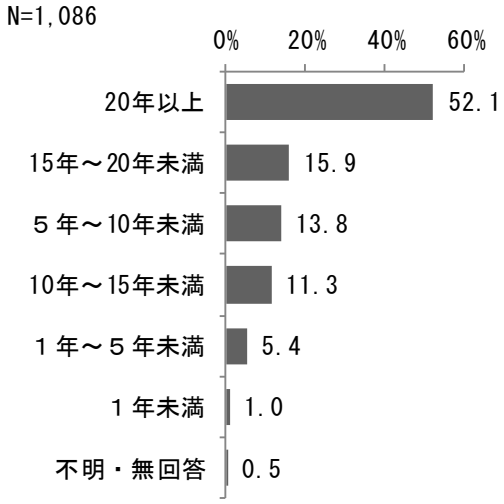
問１－（４）　お住まいの地域（※設問は自治会単位）（SA）

回答者の居住地について小学校区別でみると、「松尾台小学校区」が 27.5%で最も高く、次いで「白金小学校区」が 21.2%、「猪名川小学校区」が 18.5%となっています。



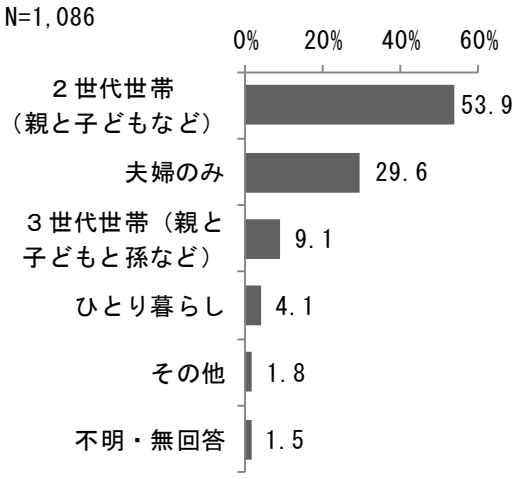
問１－（５）　猪名川町での居住年数（SA）

回答者の居住年数についてみると、「20 年以上」が 52.1%と半数を占めています。また、居住年数が 10 年を超える方の割合が、約８割となっています。



問１－（６）　家族構成（SA）

回答者の家族構成についてみると、「２世代世帯（親と子どもなど）」が 53.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が 29.6%となっています。



その他回答	類似回答数
4世代	2
姉妹	1
兄弟	1
夫婦と妹	1

調査結果の要約

◇生活環境について（問２～問４）

○満足度は、「自然環境」「上下水道の整備」「まちの景観」など、生活環境に関する項目で高くなっており、一方で重要度は「救急医療体制」「医療機関」などの医療関係、「電車やバスの便利さ」が高くなっています。

○満足度、重要度からの分析からも、「救急医療体制」「医療機関」「電車やバスの便利さ」が特に優先すべき分野となっています。

○５年前との比較では、「道路の整備」「買い物の便利さ」「通勤・通学の便利さ」など、整備状況が目に見えるものの改善度が高くなっています。

○満足度と５年前との比較からの分析では、「就労の場」「救急医療体制」などが、満足度が低く、改善度も低い分野となっています。

○重要度と５年前との比較からの分析では、「救急医療体制」「防犯対策」「就労の場」などが、重要度は高いものの、改善度が低い分野となっています。

○満足度を年代別にみるとほとんどの世代で「自然環境」の満足度が高い傾向にあり、特に若い世代ほど高くなっています。

○今後も猪名川町に住み続けたいかについてみると、「住み続けたい」が 59.4%と半数以上を占めていますが、年代別でみると若い世代ほど低い傾向がみられます。

○住み続けたいと思う理由についてみると、「山や川などの自然環境がよいから」「住みなれたまちだから」「田舎の良さが残っているから」などが高く、猪名川町の恵まれた自然を含む生活環境を重視していることがうかがえます。

○他市町に移りたいと思う理由についてみると、「通勤、通学に不便だから」「医療環境が悪いから」「買い物が不便だから」が高く、生活の利便性について課題があることがうかがえます。

○“猪名川町らしさ”と感じるものについてみると、「緑の山々や秋の紅葉」「田園風景、棚田、里山風景」「ホタル、メダカなどの生き物」などが高く、「猪名川町＝自然環境」というイメージを持たれる方の多いことがうかがえます。

◇地域との関わりや地域活動について（問５～問８）

○近所の人とのつきあいについてみると、「会えば、世間話をする程度」「用事を頼んだり、一緒に買い物にでかけたりする」「困ったことや心配ごとを相談する」など、ある程度近所付き合いがある人が約６割となっています。

○あまり近所づきあいをしていない理由について年代別にみると、「70～74 歳」を除くすべての年代で、「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会が少ない」が最も高くなっています。

○ご近所とのつきあいの中で、手助けしたいと思うこと、してほしいと思うことについてみると、「病気など緊急時に看病したり、医者を呼ぶなど手助けをする」が高くなっています。

○地域の活動や行事などについて、参加したことがあり今後も参加したいものでは「公園、道路などの清掃・美化活動」「盆踊り、祭りなどの行事」「自治会、まちづくり協議会などの活動」が高く、参加したことがないが今後も参加したいものでは「野菜のもぎ取り園などの農業体験活動」「高齢者や障がいのある人などへの福祉ボランティア活動」が高くなっています。

○参加している地域の団体・グループなどの課題についてみると、「役員の負担が大きい」「役員が高齢化している」「役員のなり手が不足している」など、若い担い手の確保が課題となっています。

○地域の活動や行事などに参加したことがない理由についてみると、「参加する時間がないから」のほか、「きっかけがないから」、「どういう活動が行われているかわからない」が高く、情報提供が課題となっています。

○住民がいきいきと地域活動に取り組むために、大切だと思うことについてみると、「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係」「だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場」など、日頃からの付き合いや交流機会が求められています。

◇社会や地域における課題について（問９～問 19）

○日頃の生活の中で、悩みや不安を感じることについて年代別にみると、30 歳未満では「働くこと（就職や失業の不安など）」、40～64 歳では「老後の暮らし」、65 歳以上では「自分や家族の健康」が高くなっています。

○不安や悩みを相談する相手についてみると、「配偶者（夫・妻）」「友人」、「子（息子・娘）」などが高く、年代別では、若くなるほど「親」「友人」、高齢になるほど「かかりつけ医」「町役場（行政窓口）」が高くなる傾向がみられます。

○生きがいについてみると、「家族や友人と過ごすこと」「趣味の活動」「子どもや孫の成長」などが＜現在＞＜今後＞ともに高く、「健康づくりや体力づくり」では＜現在＞よりも＜今後＞が高くなっています。

○こころとからだの健康のために、日頃心がけていることについてみると、「栄養のバランスや食べる量・回数など、食事に気をつけている」「歩いたり、体操をするなど、体を動かすようにしている」「規則的な生活を送るようにしている」「定期的に健康診断を受けている」などが高くなっています。

○子どもたちが健やかにのびのびと育つまちとなるために、必要だと思うことについてみると、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、地域の人が子どもに関わる」「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは叱る」など、地域の人が積極的に子どもの成長に関わることが求められています。

○子育て支援で、今後必要だと思うことについてみると、「いざという時にいつでも子どもを預けられる保育サービスの実施」「自然環境など、子どもが身近でのびのび遊べる環境の整備」「保育所や幼稚園のカリキュラムの内容や利用時間、多様な保育サービスの充実」など、保育サービスや遊び場に関するニーズが高くなっています。

○身近な地域や自宅での生活を続けていくための今後の高齢者支援についてみると、「買い物や通院時などの介助や送迎」「緊急時に通報できる手段・連絡体制」などが高くなっています。

○高齢者に関わる施策で、今後特に力を入れるべきだと思うことについてみると、「医療体制の充実」「入所施設の充実」などが高くなっています。

○居住地域で力を入れるべき防災活動についてみると、「防災活動に関する啓発を進めたり、避難方法などの情報の周知を図る」「避難誘導などの際に手助けが必要な要援護者をあらかじめ把握しておく」「災害発生の恐れのある所を点検する」などが高くなっています。

○居住地域で力を入れるべき防犯活動についてみると、「治安面で不安のある場所の見回りやパトロールを実施する」「防犯灯の維持管理や設置を進める」「あいさつなど、地域で声かけ運動など進める」などが高くなっています。

○環境保全のために、取組んでいることについてみると、「ごみの分別(94.6%)」「リサイクルへの協力(89.1%)」など、生活の中で簡単にできることについては、意識が高くなっています。

◇今後のまちづくりについて（問 20～問 23）

○知らせてほしい町政の情報についてみると、「今後、進めようとしている計画の内容」「現在進めようとしている施策の内容や進み具合」などが高くなっています。性別でみると、女性では「暮らしに役立つ生活情報」が高くなっており、年代別でみると、若い世代ほど「行事や催し物の案内」が高くなる傾向がみられます。

○町政の情報をどこから得ているかについてみると、「町広報誌」のほか、「自治会、まちづくり協議会」が高く、地域活動は重要な情報入手源であることがうかがえます。また、年代別でみると、若い世代ほど「町ホームページ」が高くなる傾向がみられます。

○猪名川町を今後、どのようなまちにするのがよいと思うかについて、年代別でみると、若い世代ほど「地域コミュニティが充実し、安全で安心した生活を送ることができるまち」「環境・景観が整備されたまち」「教育・文化が充実したまち」「都市・産業・観光が充実したまち」が高くなり、高齢になるほど「健康・福祉が充実したまち」「効果的な行政運営が展開されているまち」が高くなる傾向がみられます。

○新名神高速道路の完成後の猪名川町のまちづくりに期待することについてみると、「交通網の整備や立地条件を生かした、総合病院・福祉施設などの誘致」が最も高くなっています。年代別でみると、若い世代ほど「町内の農産物や特産品の新たな市場、流通の拡大」「住民が訪れる人が憩いの場として利用できる大型商業施設の誘致」などが高くなる傾向がみられます。

生活環境について

問２　次にあげる項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②将来に向けて重要な項目だと思いますか。③５年前と比べて良くなりましたか。(1)から(47)のそれぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。（※③は５年以上前から居住されている方のみお答えください。）（SA）

＜調査内容＞

47 の項目に対して、「現在の満足度」「今後の重要度」「５年前との比較」の３つのポイントを軸に回答をいただきました。

＜分析方法＞

［現在の満足度］の点数化については、「満足」＝５点、「やや満足」＝４点、「普通」＝３点、「やや不満」＝２点、「不満」＝１点として「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

［今後の重要度］の点数化については、「大変重要」＝５点、「やや重要」＝３点、「重要でない」＝１点、として、「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

［５年前との比較］の点数化については、「良くなった」＝５点、「変化なし」＝３点、「悪くなった」＝１点として、「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

今回は町の取り組みやサービスの分野 47 項目について、上記の基準で点数化し、グラフ化及び散布図化することで分析しています。

問２-１［現在の満足度/今後の重要度］のクロス分析

「現在の満足度」の平均値は「3.01」、「今後の重要度」の平均値は「3.53」となっています。満足度が高い項目は、「自然環境」「上下水道の整備」「まちの景観」、重要度が高い項目は「救急医療体制」「医療機関」「電車やバスの便利さ」となっています。

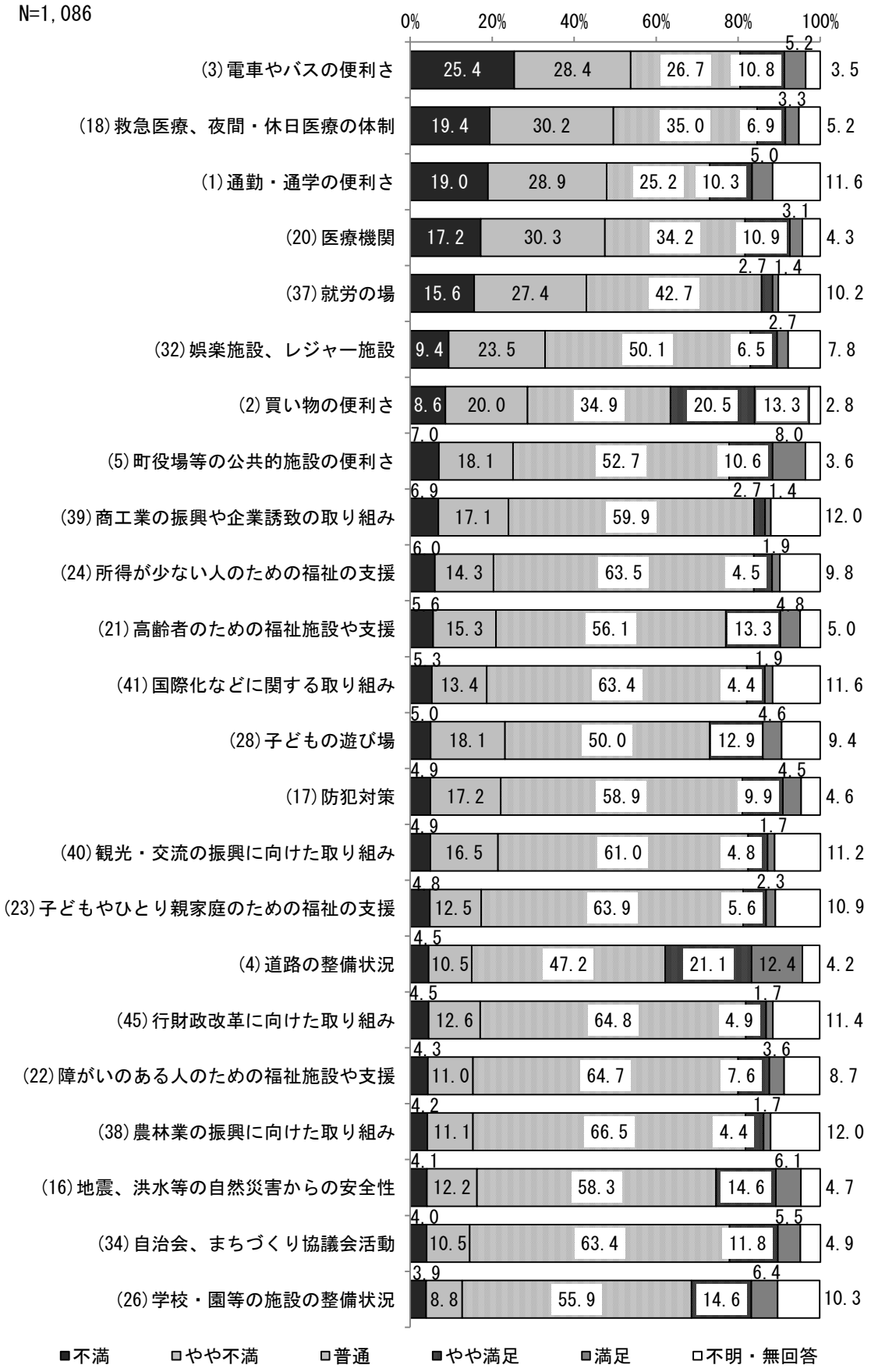
＜各項目の上位・下位３項目＞

		１　位	２　位	３　位
満足度	上位	自然環境（3.64）	上下水道の整備(3.59)	まちの景観（3.49）
	下位	電車やバスの便利さ（2.40）	救急医療体制（2.41）	就労の場（2.41）
重要度	上位	救急医療体制（4.47）	医療機関（4.37）	電車やバスの便利さ（4.24）
	下位	国際化（2.86）	娯楽施設（2.92）	文化的雰囲気（2.98）

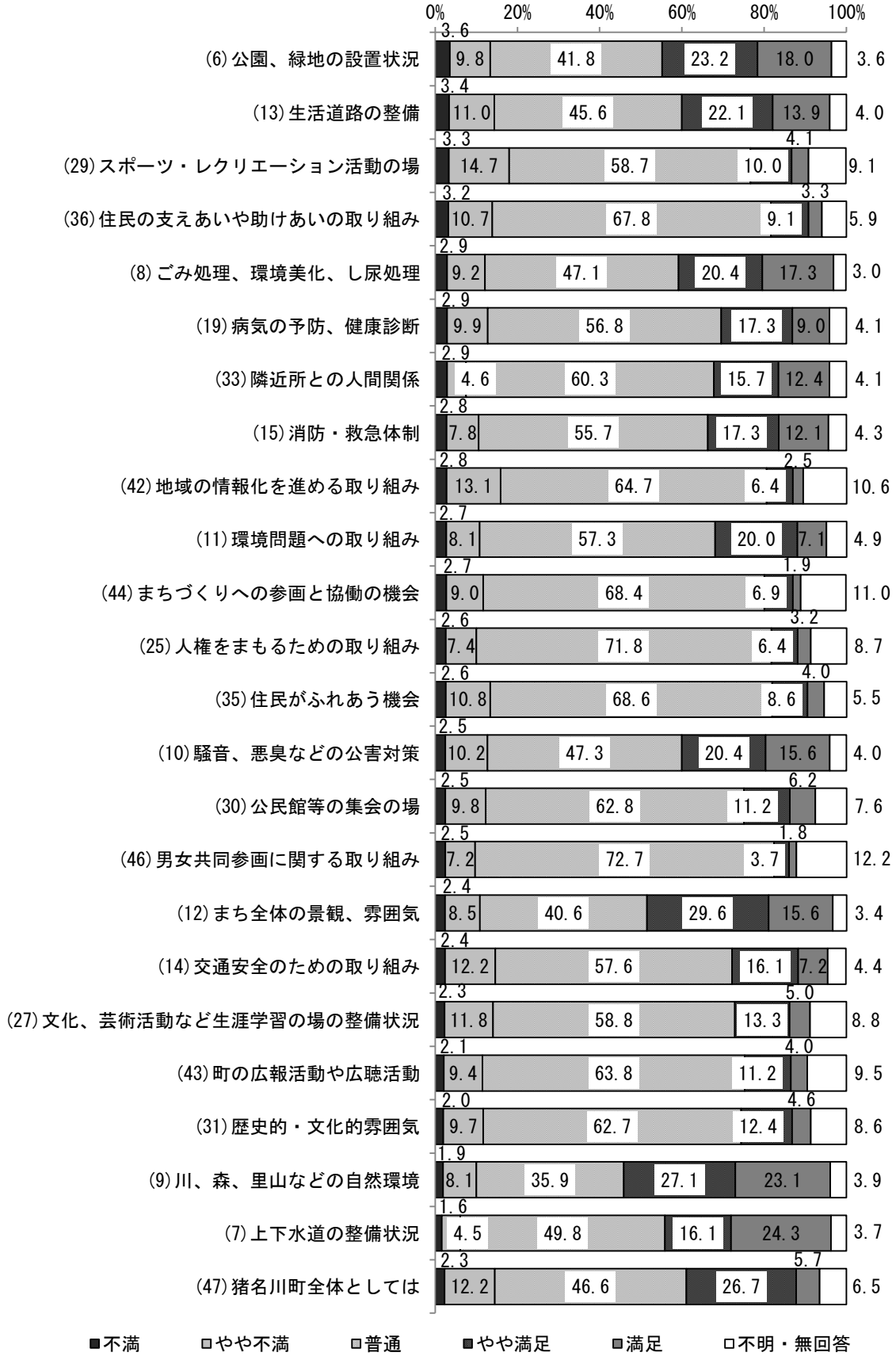
＜各項目のポイント数＞

NO	項　目　名	満足度	重要度	5年前との比較	NO	項　目　名	満足度	重要度	5年前との比較
1	通勤・通学の便利さ	2.47	3.95	3.51	25	人権をまもるための取り組み	3.00	3.39	3.13
2	買い物の便利さ	3.10	3.86	3.54	26	学校･園等の施設の整備状況	3.12	3.64	3.28
3	電車やバスの便利さ	2.40	4.24	3.42	27	文化､芸術活動など生涯学習の場の整備状況	3.07	3.16	3.23
4	道路の整備状況	3.28	3.45	3.73	28	子どもの遊び場	2.93	3.48	3.07
5	町役場等の公共的施設の便利さ	2.94	3.30	3.21	29	スポーツ･レクリエーション活動の場	2.97	3.19	3.15
6	公園、緑地の設置状況	3.44	3.08	3.25	30	公民館等の集会の場	3.10	3.00	3.16
7	上下水道の整備状況	3.59	3.38	3.26	31	歴史的・文化的雰囲気	3.09	2.98	3.19
8	ごみ処理、環境美化、し尿処理	3.41	3.69	3.26	32	娯楽施設､レジャー施設	2.67	2.92	3.08
9	川、森、里山などの自然環境	3.64	3.59	2.98	33	隣近所との人間関係	3.32	3.66	3.04
10	騒音、悪臭などの公害対策	3.38	3.58	2.95	34	自治会､まちづくり協議会活動	3.05	3.28	3.05
11	環境問題への取り組み	3.22	3.71	3.15	35	住民がふれあう機会	3.01	3.23	2.98
12	まち全体の景観、雰囲気	3.49	3.68	3.04	36	住民の支えあいや助けあいの取り組み	2.99	3.49	2.99
13	生活道路の整備	3.33	3.51	3.35	37	就労の場	2.41	3.79	2.86
14	交通安全のための取り組み	3.14	3.72	3.21	38	農林業の振興に向けた取り組み	2.87	3.19	3.00
15	消防・救急体制	3.29	4.10	3.23	39	商工業の振興や企業誘致の取り組み	2.71	3.33	3.00
16	地震、洪水等の自然災害からの安全性	3.07	4.14	3.14	40	観光･交流の振興に向けた取り組み	2.80	3.15	3.08
17	防犯対策	2.92	4.15	2.98	41	国際化などに関する取り組み	2.82	2.86	3.05
18	救急医療、夜間・休日医療の体制	2.41	4.47	3.04	42	地域の情報化を進める取り組み	2.92	3.21	3.17
19	病気の予防、健康診断	3.20	3.84	3.31	43	町の広報活動や広聴活動	3.06	3.23	3.24
20	医療機関	2.50	4.37	3.10	44	まちづくりへの参画と協働の機会	2.96	3.12	3.16
21	高齢者のための福祉施設や支援	2.96	3.98	3.38	45	行財政改革に向けた取り組み	2.85	3.43	3.06
22	障がいのある人のための福祉施設や支援	2.95	3.72	3.19	46	男女共同参画に関する取り組み	2.95	3.03	3.08
23	子どもやひとり親家庭のための福祉の支援	2.87	3.68	3.13	47	猪名川町全体としては	3.23	－	3.30
24	所得が少ない人のための福祉の支援	2.80	3.58	3.05					

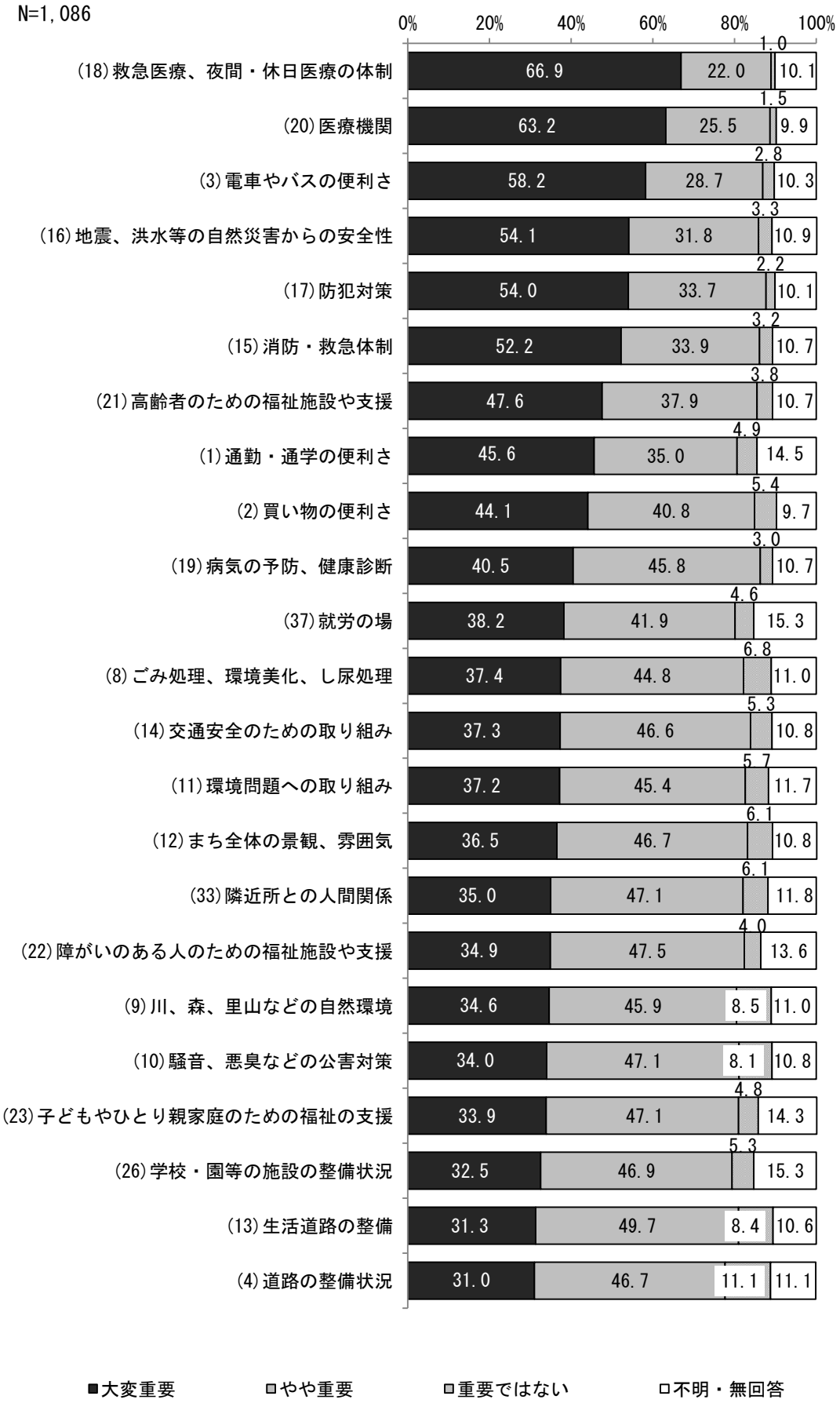
＜現在の満足度割合＞


N=1,086
0%
20%
40%
60%
80%
100%
(3)電車やバスの便利さ 25.4 28.4 26.7 10.8 5.2 3.5
(18)救急医療、夜間・休日医療の体制 19.4 30.2 35.0 6.9 3.3 5.2
(1)通勤・通学の便利さ 19.0 28.9 25.2 10.3 5.0 11.6
(20)医療機関 17.2 30.3 34.2 10.9 3.1 4.3
(37)就労の場 15.6 27.4 42.7 2.7 1.4 10.2
(32)娯楽施設、レジャー施設 9.4 23.5 50.1 6.5 2.7 7.8
(2)買い物の便利さ 8.6 20.0 34.9 20.5 13.3 2.8
(5)町役場等の公共的施設の便利さ 7.0 18.1 52.7 10.6 8.0 3.6
(39)商工業の振興や企業誘致の取り組み 6.9 17.1 59.9 2.7 1.4 12.0
(24)所得が少ない人のための福祉の支援 6.0 14.3 63.5 4.5 1.9 9.8
(21)高齢者のための福祉施設や支援 5.6 15.3 56.1 13.3 4.8 5.0
(41)国際化などに関する取り組み 5.3 13.4 63.4 4.4 1.9 11.6
(28)子どもの遊び場 5.0 18.1 50.0 12.9 4.6 9.4
(17)防犯対策 4.9 17.2 58.9 9.9 4.5 4.6
(40)観光・交流の振興に向けた取り組み 4.9 16.5 61.0 4.8 1.7 11.2
(23)子どもやひとり親家庭のための福祉の支援 4.8 12.5 63.9 5.6 2.3 10.9
(4)道路の整備状況 4.5 10.5 47.2 21.1 12.4 4.2
(45)行財政改革に向けた取り組み 4.5 12.6 64.8 4.9 1.7 11.4
(22)障がいのある人のための福祉施設や支援 4.3 11.0 64.7 7.6 3.6 8.7
(38)農林業の振興に向けた取り組み 4.2 11.1 66.5 4.4 1.7 12.0
(16)地震、洪水等の自然災害からの安全性 4.1 12.2 58.3 14.6 6.1 4.7
(34)自治会、まちづくり協議会活動 4.0 10.5 63.4 11.8 5.5 4.9
(26)学校・園等の施設の整備状況 3.9 8.8 55.9 14.6 6.4 10.3
■不満
■やや不満
■普通
■やや満足
■満足
□不明・無回答

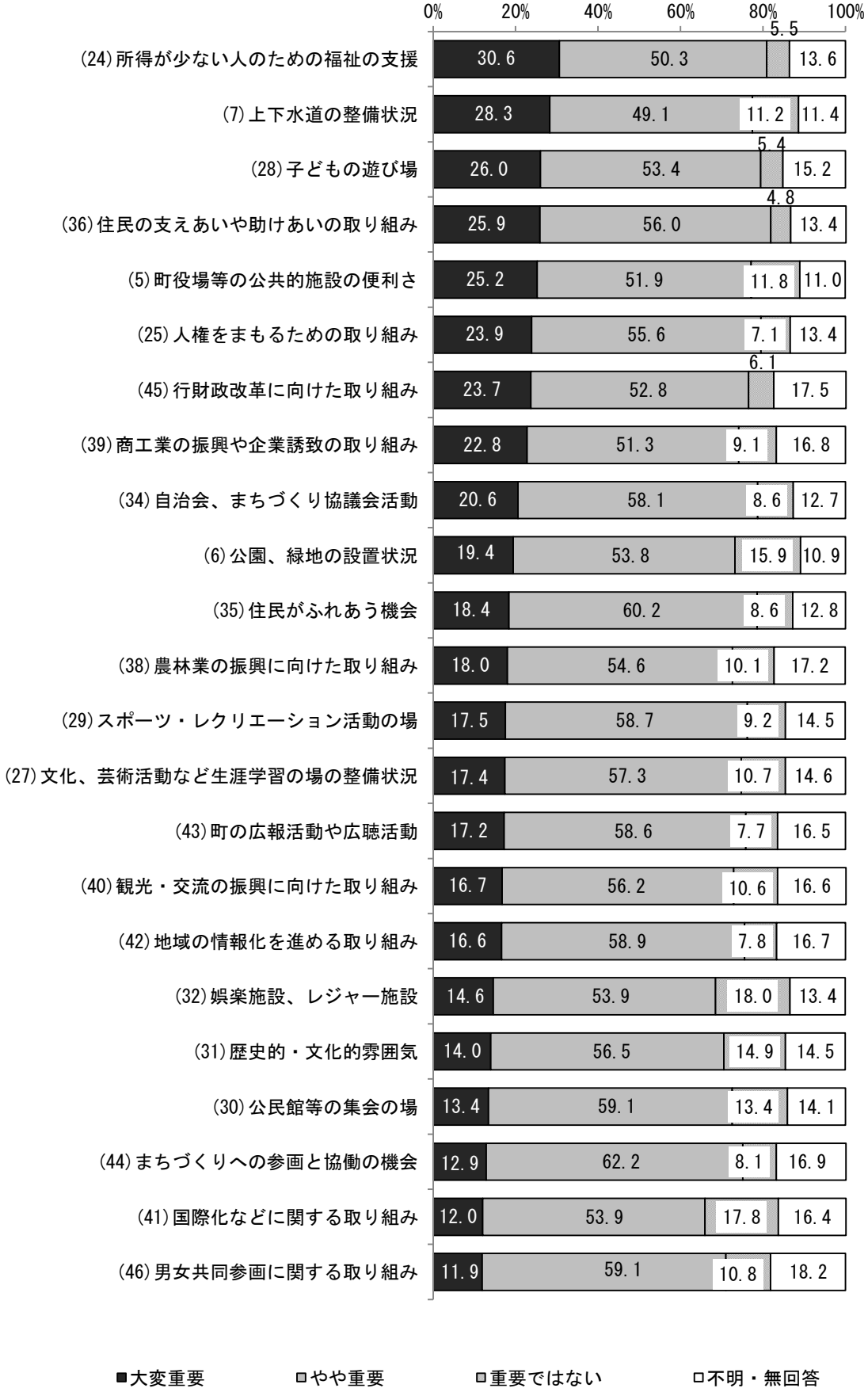
＜現在の満足度割合（続き）＞


0%
20%
40%
60%
80%
100%
(6)公園、緑地の設置状況 3.6 9.8 41.8 23.2 18.0 3.6
(13)生活道路の整備 3.4 11.0 45.6 22.1 13.9 4.0
(29)スポーツ・レクリエーション活動の場 3.3 14.7 58.7 10.0 4.1 9.1
(36)住民の支えあいや助けあいの取り組み 3.2 10.7 67.8 9.1 3.3 5.9
(8)ごみ処理、環境美化、し尿処理 2.9 9.2 47.1 20.4 17.3 3.0
(19)病気の予防、健康診断 2.9 9.9 56.8 17.3 9.0 4.1
(33)隣近所との人間関係 2.9 4.6 60.3 15.7 12.4 4.1
(15)消防・救急体制 2.8 7.8 55.7 17.3 12.1 4.3
(42)地域の情報化を進める取り組み 2.8 13.1 64.7 6.4 2.5 10.6
(11)環境問題への取り組み 2.7 8.1 57.3 20.0 7.1 4.9
(44)まちづくりへの参画と協働の機会 2.7 9.0 68.4 6.9 1.9 11.0
(25)人権をまもるための取り組み 2.6 7.4 71.8 6.4 3.2 8.7
(35)住民がふれあう機会 2.6 10.8 68.6 8.6 4.0 5.5
(10)騒音、悪臭などの公害対策 2.5 10.2 47.3 20.4 15.6 4.0
(30)公民館等の集会の場 2.5 9.8 62.8 11.2 6.2 7.6
(46)男女共同参画に関する取り組み 2.5 7.2 72.7 3.7 1.8 12.2
(12)まち全体の景観、雰囲気 2.4 8.5 40.6 29.6 15.6 3.4
(14)交通安全のための取り組み 2.4 12.2 57.6 16.1 7.2 4.4
(27)文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況 2.3 11.8 58.8 13.3 5.0 8.8
(43)町の広報活動や広聴活動 2.1 9.4 63.8 11.2 4.0 9.5
(31)歴史的・文化的雰囲気 2.0 9.7 62.7 12.4 4.6 8.6
(9)川、森、里山などの自然環境 1.9 8.1 35.9 27.1 23.1 3.9
(7)上下水道の整備状況 1.6 4.5 49.8 16.1 24.3 3.7
(47)猪名川町全体としては 2.3 12.2 46.6 26.7 5.7 6.5
不満
やや不満
普通
やや満足
満足
不明・無回答

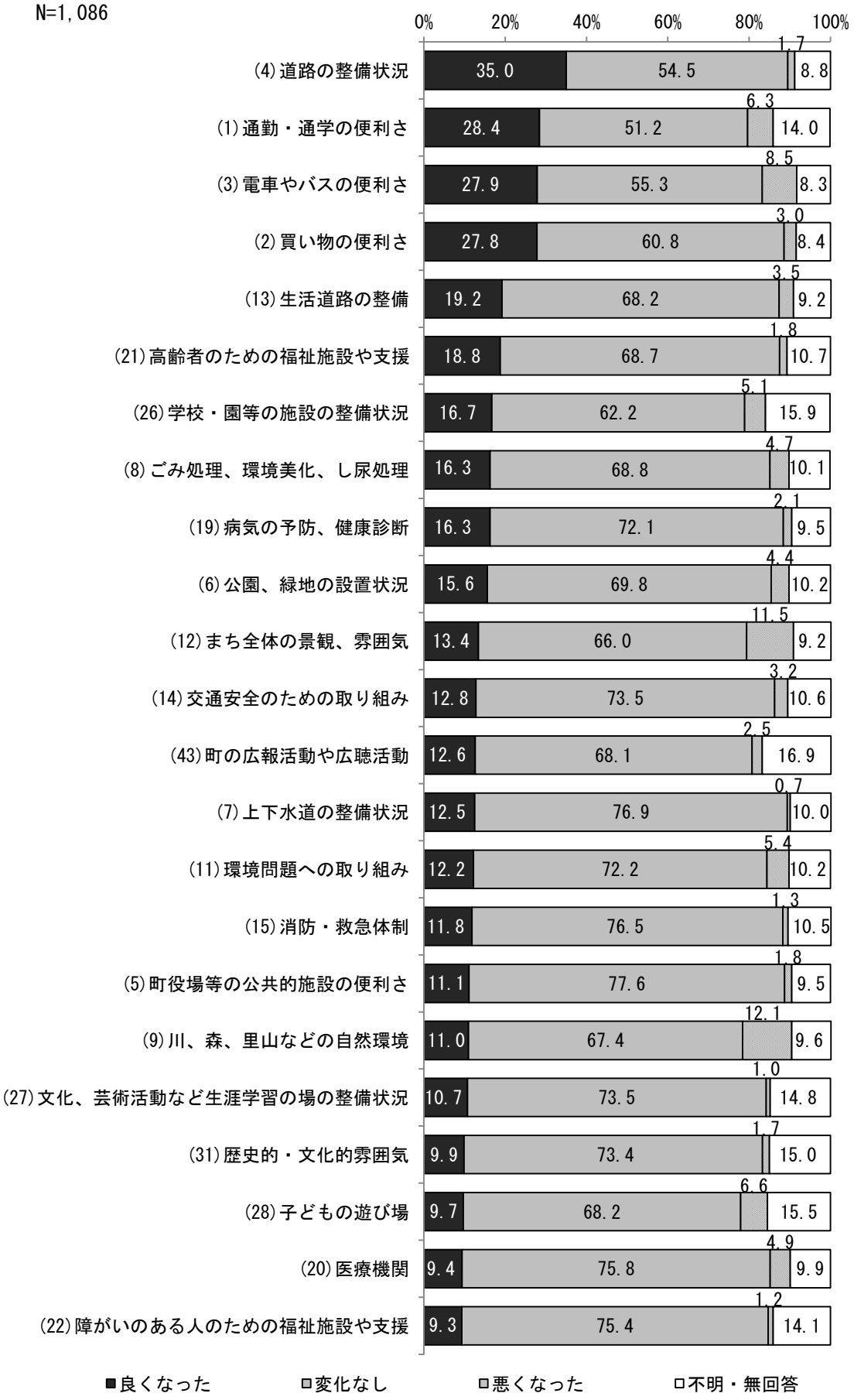
＜今後の重要度割合＞


N=1,086
0%
20%
40%
60%
80%
100%
(18)救急医療、夜間・休日医療の体制 66.9 22.0 1.0 10.1
(20)医療機関 63.2 25.5 1.5 9.9
(3)電車やバスの便利さ 58.2 28.7 2.8 10.3
(16)地震、洪水等の自然災害からの安全性 54.1 31.8 3.3 10.9
(17)防犯対策 54.0 33.7 2.2 10.1
(15)消防・救急体制 52.2 33.9 3.2 10.7
(21)高齢者のための福祉施設や支援 47.6 37.9 3.8 10.7
(1)通勤・通学の便利さ 45.6 35.0 4.9 14.5
(2)買い物の便利さ 44.1 40.8 5.4 9.7
(19)病気の予防、健康診断 40.5 45.8 3.0 10.7
(37)就労の場 38.2 41.9 4.6 15.3
(8)ごみ処理、環境美化、し尿処理 37.4 44.8 6.8 11.0
(14)交通安全のための取り組み 37.3 46.6 5.3 10.8
(11)環境問題への取り組み 37.2 45.4 5.7 11.7
(12)まち全体の景観、雰囲気 36.5 46.7 6.1 10.8
(33)隣近所との人間関係 35.0 47.1 6.1 11.8
(22)障がいのある人のための福祉施設や支援 34.9 47.5 4.0 13.6
(9)川、森、里山などの自然環境 34.6 45.9 8.5 11.0
(10)騒音、悪臭などの公害対策 34.0 47.1 8.1 10.8
(23)子どもやひとり親家庭のための福祉の支援 33.9 47.1 4.8 14.3
(26)学校・園等の施設の整備状況 32.5 46.9 5.3 15.3
(13)生活道路の整備 31.3 49.7 8.4 10.6
(4)道路の整備状況 31.0 46.7 11.1 11.1
■大変重要
■やや重要
■重要ではない
□不明・無回答

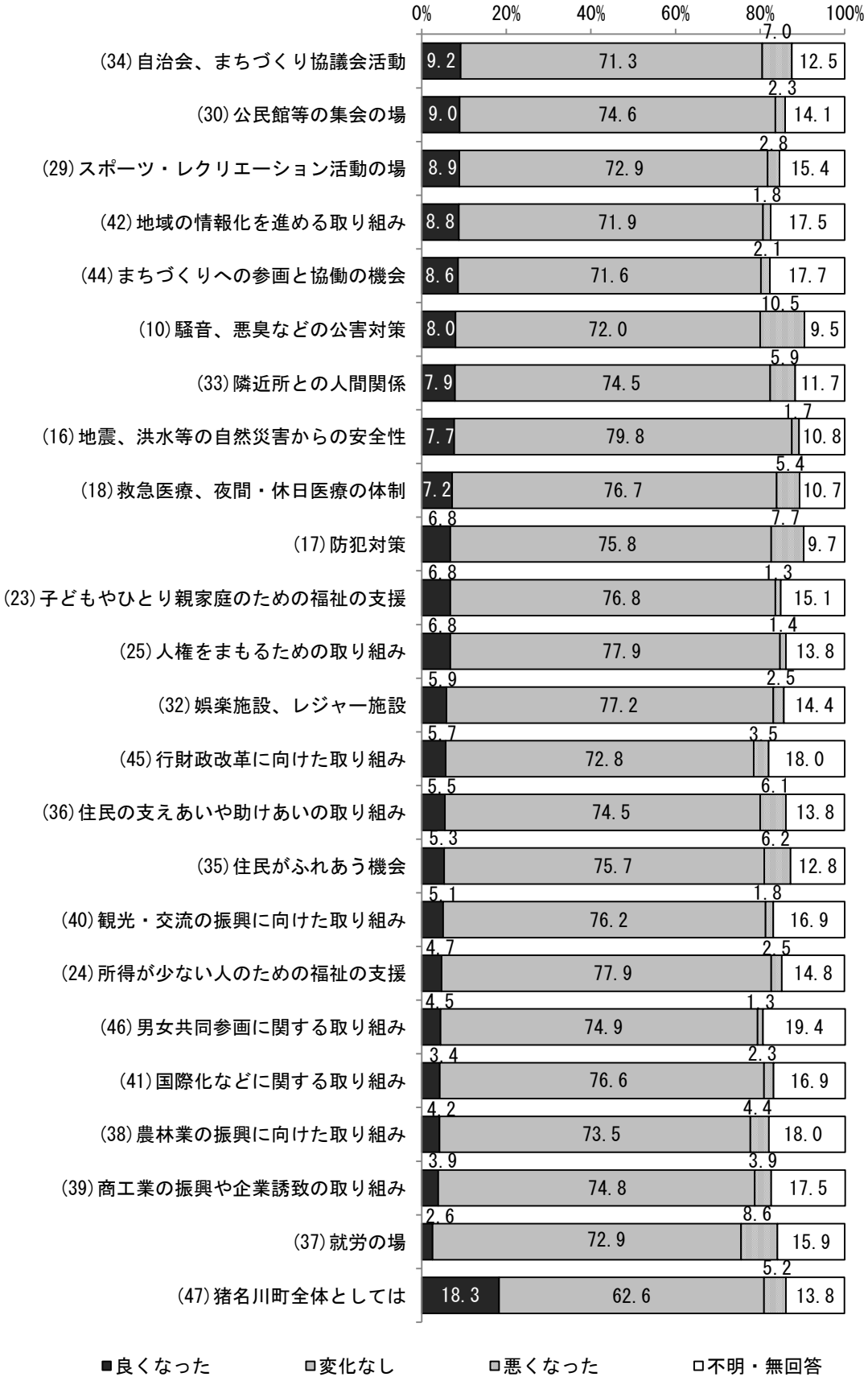
＜今後の重要度割合（続き）＞


0%
20%
40%
60%
80%
100%
(24)所得が少ない人のための福祉の支援 30.6 50.3 5.5 13.6
(7)上下水道の整備状況 28.3 49.1 11.2 11.4
(28)子どもの遊び場 26.0 53.4 5.4 15.2
(36)住民の支えあいや助けあいの取り組み 25.9 56.0 4.8 13.4
(5)町役場等の公共的施設の便利さ 25.2 51.9 11.8 11.0
(25)人権をまもるための取り組み 23.9 55.6 7.1 13.4
(45)行財政改革に向けた取り組み 23.7 52.8 6.1 17.5
(39)商工業の振興や企業誘致の取り組み 22.8 51.3 9.1 16.8
(34)自治会、まちづくり協議会活動 20.6 58.1 8.6 12.7
(6)公園、緑地の設置状況 19.4 53.8 15.9 10.9
(35)住民がふれあう機会 18.4 60.2 8.6 12.8
(38)農林業の振興に向けた取り組み 18.0 54.6 10.1 17.2
(29)スポーツ・レクリエーション活動の場 17.5 58.7 9.2 14.5
(27)文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況 17.4 57.3 10.7 14.6
(43)町の広報活動や広聴活動 17.2 58.6 7.7 16.5
(40)観光・交流の振興に向けた取り組み 16.7 56.2 10.6 16.6
(42)地域の情報化を進める取り組み 16.6 58.9 7.8 16.7
(32)娯楽施設、レジャー施設 14.6 53.9 18.0 13.4
(31)歴史的・文化的雰囲気 14.0 56.5 14.9 14.5
(30)公民館等の集会の場 13.4 59.1 13.4 14.1
(44)まちづくりへの参画と協働の機会 12.9 62.2 8.1 16.9
(41)国際化などに関する取り組み 12.0 53.9 17.8 16.4
(46)男女共同参画に関する取り組み 11.9 59.1 10.8 18.2
■大変重要
□やや重要
□重要ではない
□不明・無回答

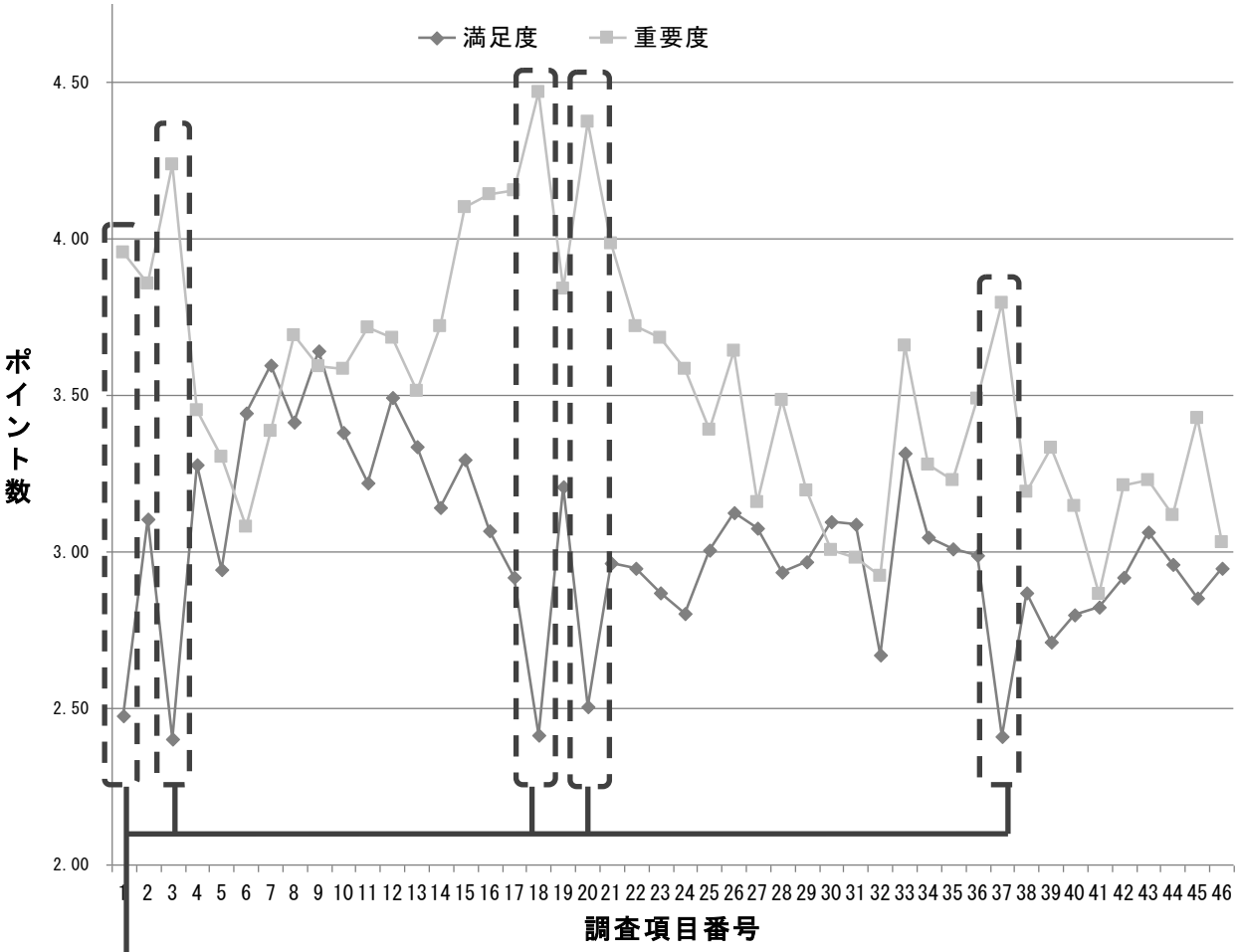
＜５年前との比較割合＞


N=1,086
0%
20%
40%
60%
80%
100%
(4)道路の整備状況 35.0 54.5 1.7 8.8
(1)通勤・通学の便利さ 28.4 51.2 6.3 14.0
(3)電車やバスの便利さ 27.9 55.3 8.5 8.3
(2)買い物の便利さ 27.8 60.8 3.0 8.4
(13)生活道路の整備 19.2 68.2 3.5 9.2
(21)高齢者のための福祉施設や支援 18.8 68.7 1.8 10.7
(26)学校・園等の施設の整備状況 16.7 62.2 5.1 15.9
(8)ごみ処理、環境美化、し尿処理 16.3 68.8 4.7 10.1
(19)病気の予防、健康診断 16.3 72.1 2.1 9.5
(6)公園、緑地の設置状況 15.6 69.8 4.4 10.2
(12)まち全体の景観、雰囲気 13.4 66.0 11.5 9.2
(14)交通安全のための取り組み 12.8 73.5 3.2 10.6
(43)町の広報活動や広聴活動 12.6 68.1 2.5 16.9
(7)上下水道の整備状況 12.5 76.9 0.7 10.0
(11)環境問題への取り組み 12.2 72.2 5.4 10.2
(15)消防・救急体制 11.8 76.5 1.3 10.5
(5)町役場等の公共的施設の便利さ 11.1 77.6 1.8 9.5
(9)川、森、里山などの自然環境 11.0 67.4 12.1 9.6
(27)文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況 10.7 73.5 1.0 14.8
(31)歴史的・文化的雰囲気 9.9 73.4 1.7 15.0
(28)子どもの遊び場 9.7 68.2 6.6 15.5
(20)医療機関 9.4 75.8 4.9 9.9
(22)障がいのある人のための福祉施設や支援 9.3 75.4 1.2 14.1
■良くなった
□変化なし
□悪くなった
□不明・無回答

＜５年前との比較割合（続き）＞



＜「満足度」と「重要度」のギャップ＞



【満足度と重要度のギャップが特に大きい項目】

（１）通勤・通学の便利さ

（３）電車やバスの便利さ

(18) 救急医療、夜間・休日医療の体制

(20) 医療機関

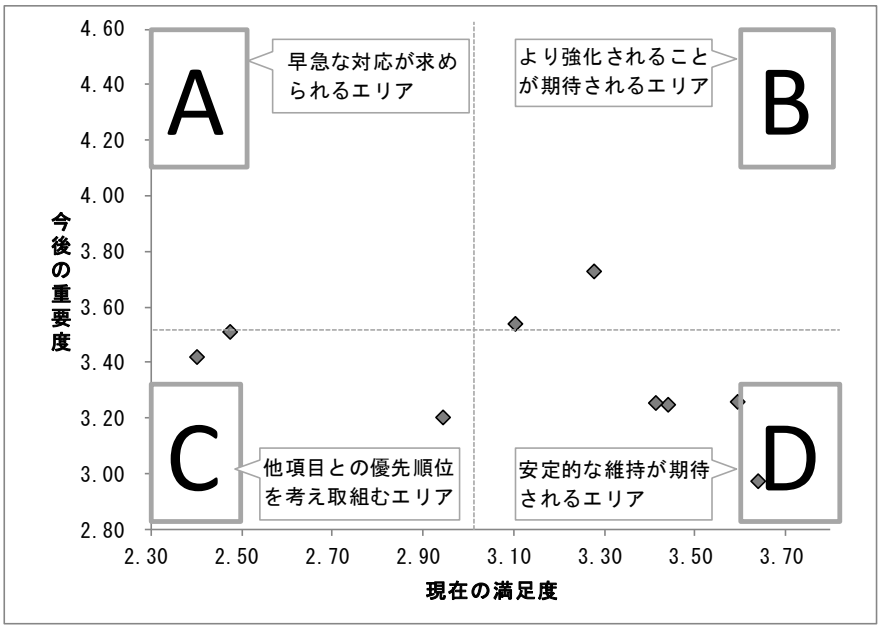
(37) 就労の場

問2-2 ［現在の満足度/今後の重要度］クロス分析散布図について

満足度と重要度の結果を散布図に落とし込み、「A」から「D」に分類することで、各エリアに存在する項目への対応の方向性を示しています。

特に「A」のエリアに関しては満足度が低く、重要度が高いエリアであり、ここに示される項目に対しては優先順位を高めた対応がまちづくりに必要であると考えられます。

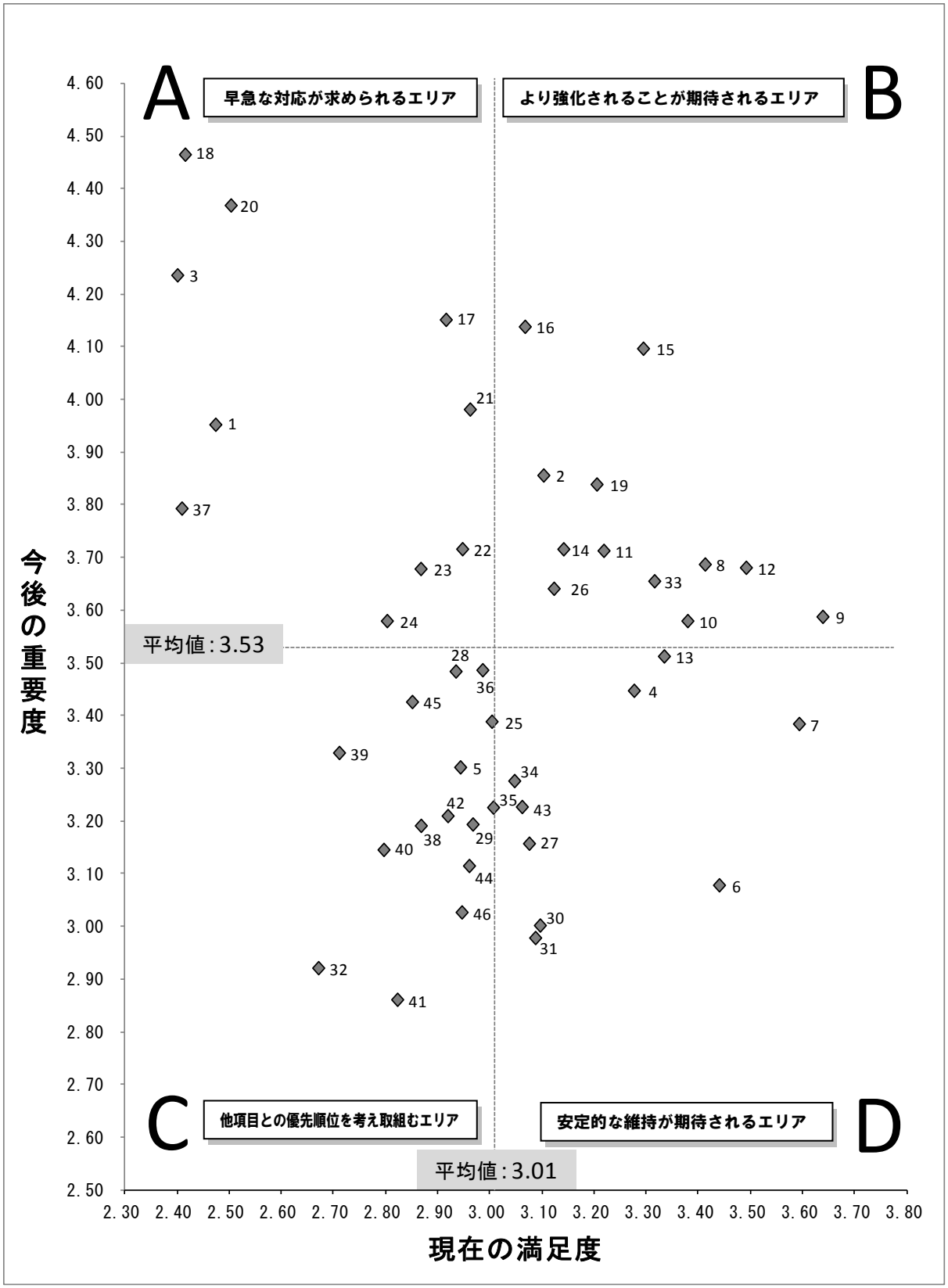
＜散布図内の各エリアの見方＞



＜各エリアに所属する項目一覧＞

エリア	項　　目
A 早急な対応が求められるエリア	１.通勤・通学の便利さ／３.電車やバスの便利さ／17.防犯対策／18.救急医療、夜間・休日医療の体制／20.医療機関／21.高齢者のための福祉施設や支援／22.障がいのある人のための福祉施設や支援／23.子どもやひとり親家庭のための福祉の支援／24.所得が少ない人のための福祉の支援／37.就労の場
B より強化されることが期待されるエリア	２.買い物の便利さ／８.ごみ処理、環境美化、し尿処理／９.川、森、里山などの自然環境 10.騒音、悪臭などの公害対策／12.まち全体の景観、雰囲気／11.環境問題への取り組み／14.交通安全のための取り組み／15.消防・救急体制／16.地震、洪水等の自然災害からの安全性／19.病気の予防、健康診断／26.学校・園等の施設の整備状況／33.隣近所との人間関係
C 他項目との優先順位を考え取組むエリア	５.町役場等の公共的施設の便利さ／25.人権をまもるための取り組み／28.子どもの遊び場／29.スポーツ・レクリエーション活動の場／32.娯楽施設、レジャー施設／35.住民がふれあう機会／36.住民の支えあいや助けあいの取り組み／38.農林業の振興に向けた取り組み／39.商工業の振興や企業誘致の取り組み／40.観光・交流の振興に向けた取り組み／41.国際化などに関する取り組み／42.地域の情報化を進める取り組み／44.まちづくりへの参画と協働の機会／45.行財政改革に向けた取り組み／46.男女共同参画に関する取り組み
D 安定的な維持が期待されるエリア	４.道路の整備状況／６.公園、緑地の設置状況／７.上下水道の整備状況／13.生活道路の整備／27.文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況／30.公民館等の集会の場／31.歴史的・文化的雰囲気／34.自治会、まちづくり協議会活動／43.町の広報活動や広聴活動

＜満足度と重要度のクロス分析＞散布図



【施策の優先度の参考】

A ➡ B ➡ C ➡ D

問２-３ ［現在の満足度/今後の重要度］の調査結果と［５年前との比較］との関係性について

満足度と重要度の調査結果に「５年前との比較」の調査データを組み合わせることで、経年的な変化をみることができます。

「５年前との比較」の調査結果は、平均値が「3.16」となっており、３位である「通勤・通学の便利さ(3.51)」は、「満足度と重要度の散布図」上では「Ａ」に位置づけられ、居住エリアによる改善度の違いが要因と考えられます。

＜「５年前との比較」に対する各項目の上位・下位３項目＞

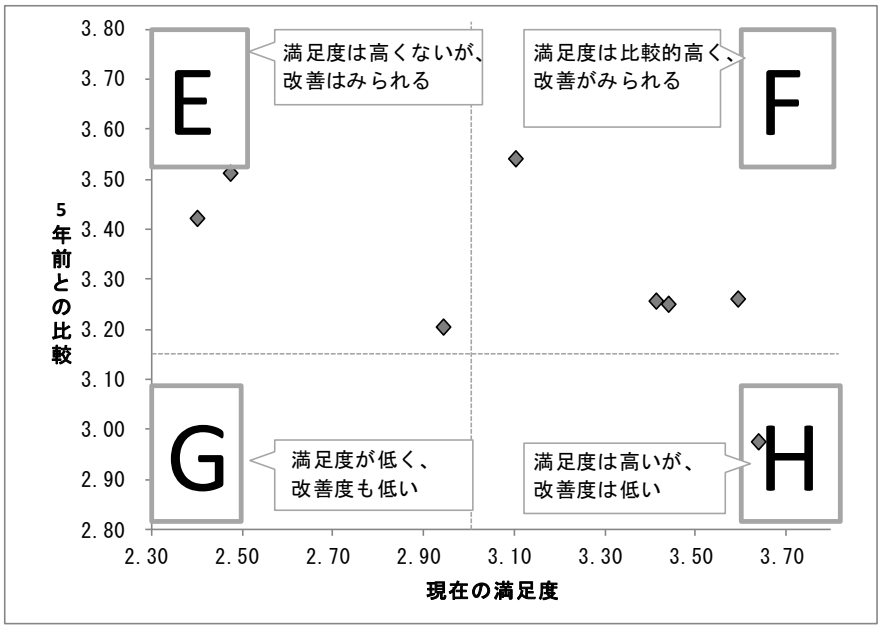
		１　位	２　位	３　位
５年前との比較	上位（良化傾向）	道路の整備（3.73）	買い物の便利さ（3.54）	通勤・通学の便利さ（3.51）
	下位（悪化傾向）	就労の場（2.86）	騒音、悪臭などの公害対策（2.95）	川、森、里山などの自然環境（2.98）

＜各項目のポイント数＞　※「満足度と重要度の散布図」上での位置

NO	項　目　名	5年前との比較	※	NO	項　目　名	5年前との比較	※
1	通勤・通学の便利さ	3.51	A	25	人権をまもるための取り組み	3.13	C
2	買い物の便利さ	3.54	B	26	学校・園等の施設の整備状況	3.28	B
3	電車やバスの便利さ	3.42	A	27	文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況	3.23	D
4	道路の整備状況	3.73	D	28	子どもの遊び場	3.07	C
5	町役場等の公共的施設の便利さ	3.21	C	29	スポーツ・レクリエーション活動の場	3.15	C
6	公園、緑地の設置状況	3.25	D	30	公民館等の集会の場	3.16	D
7	上下水道の整備状況	3.26	D	31	歴史的・文化的雰囲気	3.19	D
8	ごみ処理、環境美化、し尿処理	3.26	B	32	娯楽施設、レジャー施設	3.08	C
9	川、森、里山などの自然環境	2.98	B	33	隣近所との人間関係	3.04	B
10	騒音、悪臭などの公害対策	2.95	B	34	自治会、まちづくり協議会活動	3.05	D
11	環境問題への取り組み	3.15	B	35	住民がふれあう機会	2.98	C
12	まち全体の景観、雰囲気	3.04	B	36	住民の支えあいや助けあいの取り組み	2.99	C
13	生活道路の整備	3.35	D	37	就労の場	2.86	A
14	交通安全のための取り組み	3.21	B	38	農林業の振興に向けた取り組み	3.00	C
15	消防・救急体制	3.23	B	39	商工業の振興や企業誘致の取り組み	3.00	C
16	地震、洪水等の自然災害からの安全性	3.14	B	40	観光・交流の振興に向けた取り組み	3.08	C
17	防犯対策	2.98	A	41	国際化などに関する取り組み	3.05	C
18	救急医療、夜間・休日医療の体制	3.04	A	42	地域の情報化を進める取り組み	3.17	C
19	病気の予防、健康診断	3.31	B	43	町の広報活動や広聴活動	3.24	D
20	医療機関	3.10	A	44	まちづくりへの参画と協働の機会	3.16	C
21	高齢者のための福祉施設や支援	3.38	A	45	行財政改革に向けた取り組み	3.06	C
22	障がいのある人のための福祉施設や支援	3.19	A	46	男女共同参画に関する取り組み	3.08	C
23	子どもやひとり親家庭のための福祉の支援	3.13	A	47	猪名川町全体としては	3.30	－
24	所得が少ない人のための福祉の支援	3.05	A				

＜「５年前との比較」と「満足度」とのクロス分析＞

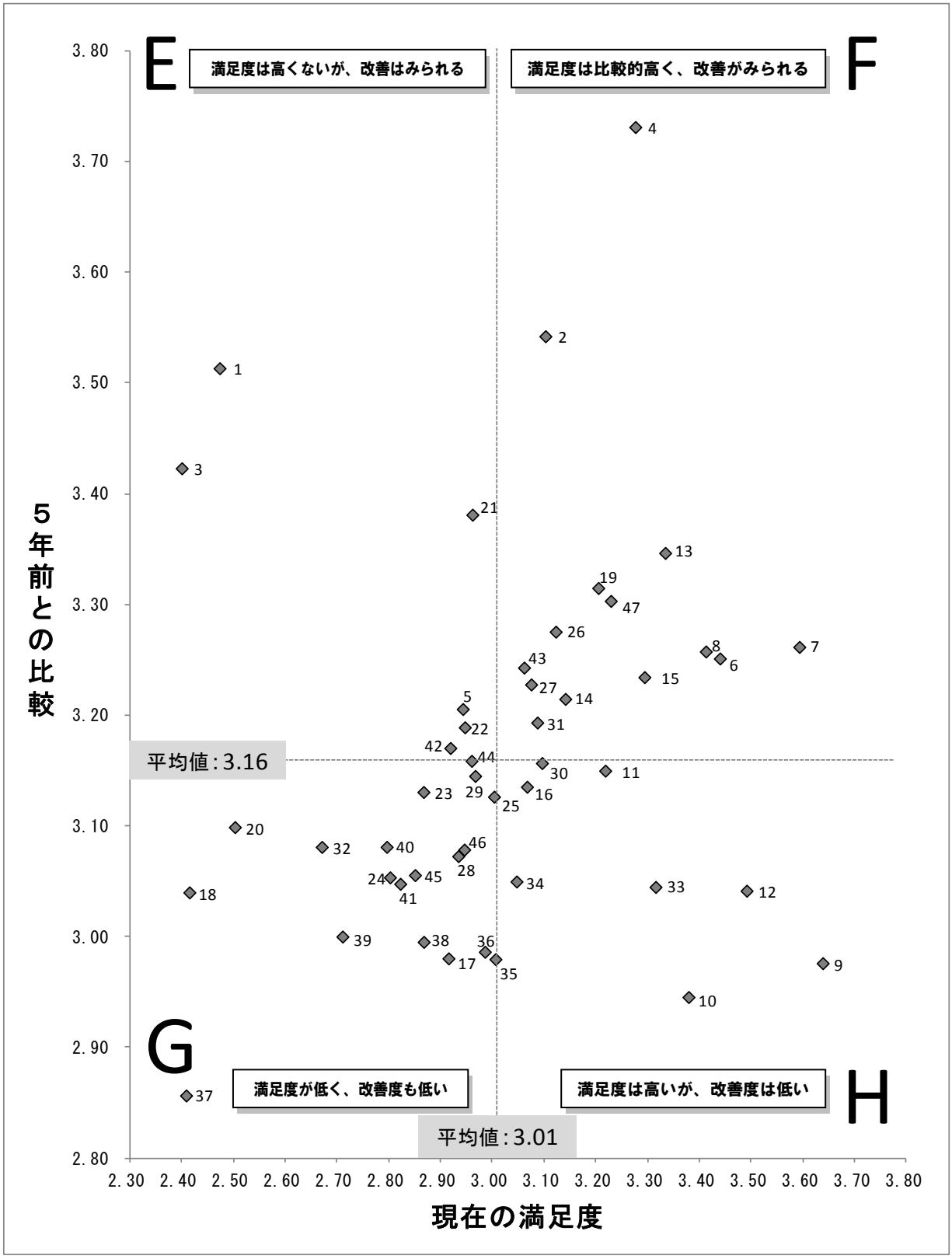
＜散布図内の各エリアの見方＞



＜各エリアに所属する項目一覧＞

エリア	項　　目
E 満足度は高くないが、改善はみられる	１. 通勤・通学の便利さ／３. 電車やバスの便利さ／５. 町役場等の公共的施設の便利さ／21. 高齢者のための福祉施設や支援／22. 障がいのある人のための福祉施設や支援／42. 地域の情報化を進める取り組み／44. まちづくりへの参画と協働の機会
F 満足度は比較的高く、改善がみられる	２. 買い物の便利さ／４. 道路の整備状況／６. 公園、緑地の設置状況／７. 上下水道の整備状況／８. ごみ処理、環境美化、し尿処理／13. 生活道路の整備／14. 交通安全のための取り組み／15. 消防・救急体制／19. 病気の予防、健康診断／26. 学校・園等の施設の整備状況／27. 文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況／30. 公民館等の集会の場／31. 歴史的・文化的雰囲気／43. 町の広報活動や広聴活動／47. 猪名川町全体としては
G 満足度が低く、改善度も低い	17. 防犯対策／18. 救急医療、夜間・休日医療の体制／20. 医療機関／23. 子どもやひとり親家庭のための福祉の支援／24. 所得が少ない人のための福祉の支援／25. 人権をまもるための取り組み／28. 子どもの遊び場／29. スポーツ・レクリエーション活動の場／32. 娯楽施設、レジャー施設／35. 住民がふれあう機会／36. 住民の支えあいや助けあいの取り組み／37. 就労の場／38. 農林業の振興に向けた取り組み／39. 商工業の振興や企業誘致の取り組み／40. 観光・交流の振興に向けた取り組み／41. 国際化などに関する取り組み／45. 行財政改革に向けた取り組み／46. 男女共同参画に関する取り組み
H 満足度は高いが、改善度は低い	９. 川、森、里山などの自然環境／10. 騒音、悪臭などの公害対策／11. 環境問題への取り組み／12. まち全体の景観、雰囲気／16. 地震、洪水等の自然災害からの安全性／33. 隣近所との人間関係／34. 自治会、まちづくり協議会活動

＜「５年前との比較」と「現在の満足度」のクロス分析＞散布図

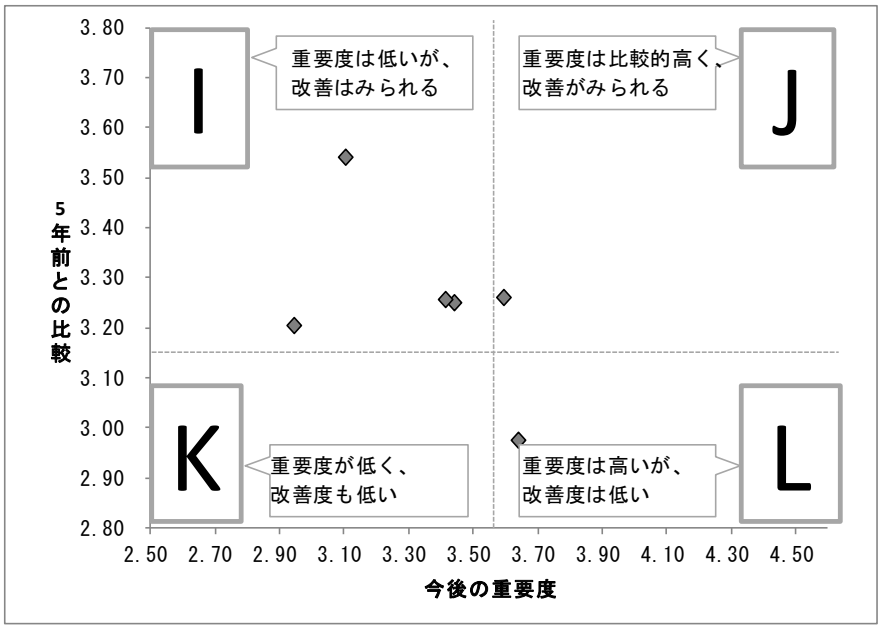


【施策の優先度の参考】

G ➡ E ➡ H ➡ F

＜「５年前との比較」と「今後の重要度」とのクロス分析＞

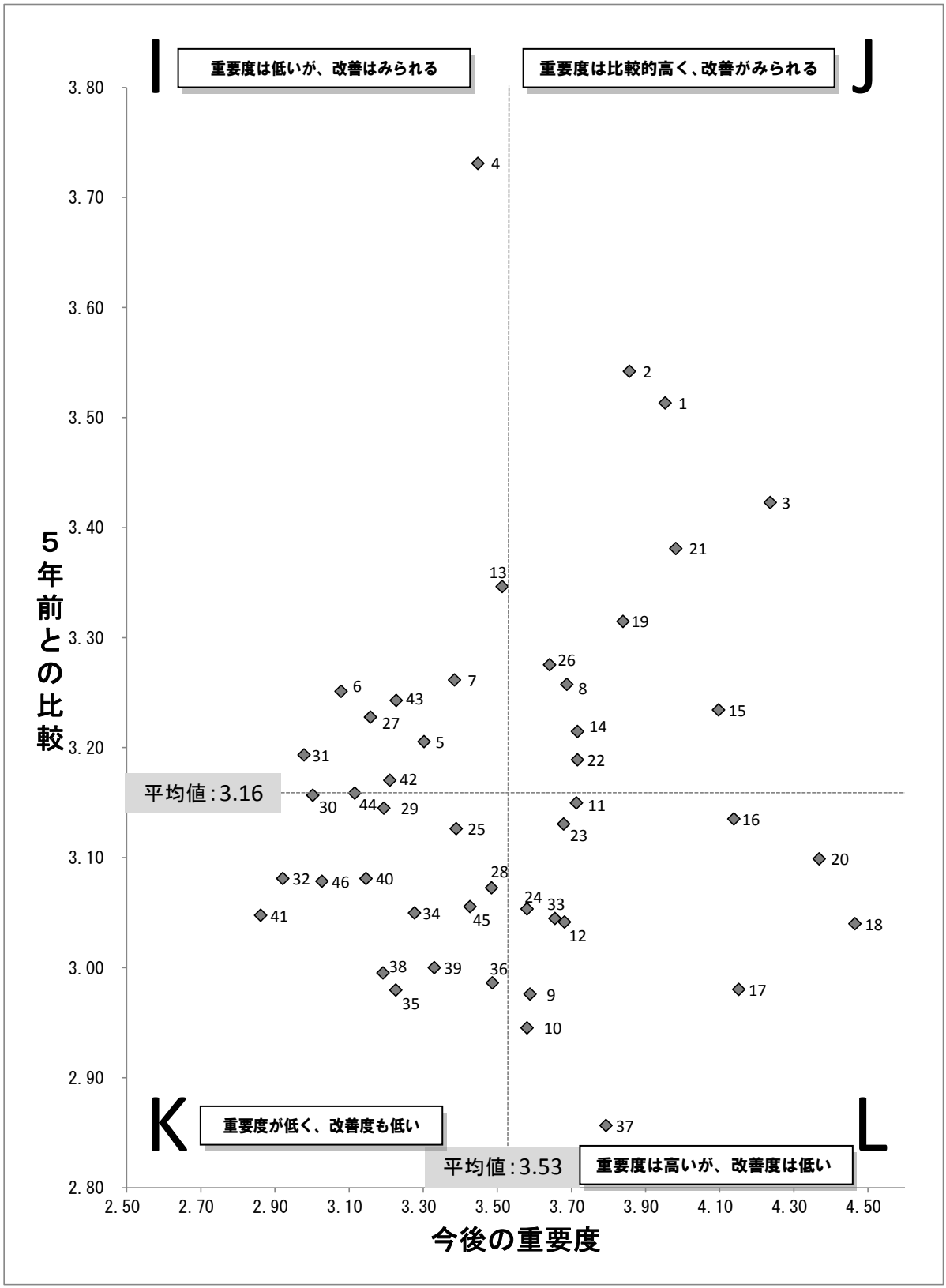
＜散布図内の各エリアの見方＞



＜各エリアに所属する項目一覧＞

エリア	項　目
I 重要度は低いが、改善はみられる	４. 道路の整備状況／５. 町役場等の公共的施設の便利さ／６. 公園、緑地の設置状況／７. 上下水道の整備状況／13. 生活道路の整備／43. 町の広報活動や広聴活動／27. 文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況／30. 公民館等の集会の場／31. 歴史的・文化的雰囲気／42. 地域の情報化を進める取り組み／44. まちづくりへの参画と協働の機会
J 重要度は比較的高く、改善がみられる	１. 通勤・通学の便利さ／２. 買い物の便利さ／３. 電車やバスの便利さ／８. ごみ処理、環境美化、し尿処理／14. 交通安全のための取り組み／15. 消防・救急体制／19. 病気の予防、健康診断／21. 高齢者のための福祉施設や支援／22. 障がいのある人のための福祉施設や支援／26. 学校・園等の施設の整備状況
K 重要度が低く、改善度も低い	25. 人権をまもるための取り組み／28. 子どもの遊び場／29. スポーツ・レクリエーション活動の場／32. 娯楽施設、レジャー施設／34. 自治会、まちづくり協議会活動／35. 住民がふれあう機会／36. 住民の支えあいや助けあいの取り組み／38. 農林業の振興に向けた取り組み／39. 商工業の振興や企業誘致の取り組み／40. 観光・交流の振興に向けた取り組み／41. 国際化などに関する取り組み／45. 行財政改革に向けた取り組み／46. 男女共同参画に関する取り組み
L 重要度は高いが、改善度は低い	９. 川、森、里山などの自然環境／10. 騒音、悪臭などの公害対策 11. 環境問題への取り組み／12. まち全体の景観、雰囲気／16. 地震、洪水等の自然災害からの安全性／17. 防犯対策／18. 救急医療、夜間・休日医療の体制／20. 医療機関／23. 子どもやひとり親家庭のための福祉の支援／24. 所得が少ない人のための福祉の支援／33. 隣近所との人間関係／37. 就労の場

＜「５年前との比較」と「今後の重要度」のクロス分析＞散布図



【施策の優先度の参考】

L ➡ J ➡ K ➡ I

問２-４　回答者の属性別データ

① 満足度×男女別

満足度を男女別でみると、男女とも「景観」や「自然環境」が高くなっています。一方で、「電車・バス」「通勤・通学」などの利便性に関わる項目が、男女ともに下位を占めています。

			１　位	２　位	３　位
現在の満足度（５点満点）	男　性	上位	まち全体の景観、雰囲気（3.68）	川、森、里山などの自然環境（3.58）	猪名川町全体（3.53）
		下位	電車やバスの便利さ（2.05）	通勤・通学の便利さ（2.37）	就労の場（2.66）
	女　性	上位	川、森、里山などの自然環境（3.88）	まち全体の景観、雰囲気（3.70）	公園、緑地の設置状況（3.60）
		下位	電車やバスの便利さ（2.04）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.24）	通勤・通学の便利さ（2.28）
	全　体	上位	川、森、里山などの自然環境（3.64）	上下水道の整備状況（3.59）	まち全体の景観、雰囲気（3.49）
		下位	電車やバスの便利さ（2.40）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.41）	就労の場（2.41）

② 重要度×男女別

重要度を男女別でみると、満足度で下位を占めていた「利便性」よりも男女とも「医療機関」に関する項目が高くなっています。

			１　位	２　位	３　位
今後の重要度（５点満点）	男　性	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.40）	医療機関（4.38）	電車やバスの便利さ（4.08）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.90）	娯楽施設、レジャー施設（2.95）	公民館等の集会の場（2.99）
	女　性	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.51）	医療機関（4.36）	電車やバスの便利さ（4.36）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.81）	娯楽施設、レジャー施設（2.90）	歴史的・文化的雰囲気（2.93）
	全　体	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.47）	医療機関（4.37）	電車やバスの便利さ（4.24）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.86）	娯楽施設、レジャー施設（2.92）	歴史的・文化的雰囲気（2.98）

③ ５年前との比較×男女別

５年前との比較を男女別でみると、上位の項目は男女ともに同様の順位となっていますが、下位の項目では、男性では「防犯対策」が、女性では「公害対策」が２位となっています。

			１　位	２　位	３　位
５年前との比較（５点満点）	男　性	上位	道路の整備状況（3.73）	買い物の便利さ（3.55）	通勤・通学の便利さ（3.49）
		下位	就労の場（2.80）	防犯対策（2.95）	農林業の振興に向けた取り組み（2.95）
	女　性	上位	道路の整備状況（3.73）	買い物の便利さ（3.55）	通勤・通学の便利さ（3.52）
		下位	就労の場（2.91）	騒音、悪臭などの公害対策（2.94）	川、森、里山などの自然環境（2.97）
	全　体	上位	道路の整備状況（3.73）	買い物の便利さ（3.54）	通勤・通学の便利さ（3.51）
		下位	就労の場（2.86）	騒音、悪臭などの公害対策（2.95）	川、森、里山などの自然環境（2.98）

④ 満足度×年代別

満足度を年代別でみると、ほとんどの年代で「自然環境」の満足度が高い傾向にあり、特に若い世代ほど高くなっています。一方、高齢になるほど「上下水道」「ごみ収集・処理」の満足度が高く、生活基盤への評価が高いことがうかがえます。

			１　位	２　位	３　位
現在の満足度（５点満点）	15～19 歳	上位	まち全体の景観、雰囲気（3.68）	川、森、里山などの自然環境（3.58）	猪名川町全体（3.53）
		下位	電車やバスの便利さ（2.05）	通勤・通学の便利さ（2.37）	就労の場（2.66）
	20～29 歳	上位	川、森、里山などの自然環境（3.88）	まち全体の景観、雰囲気（3.70）	公園、緑地の設置状況（3.60）
		下位	電車やバスの便利さ（2.04）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.24）	通勤・通学の便利さ（2.28）
	30～39 歳	上位	川、森、里山などの自然環境（3.70）	上下水道の整備状況（3.50）	まち全体の景観、雰囲気（3.48）
		下位	電車やバスの便利さ（2.00）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.03）	通勤・通学の便利さ（2.20）
	40～49 歳	上位	川、森、里山などの自然環境（3.81）	公園、緑地の設置状況（3.40）	まち全体の景観、雰囲気（3.37）
		下位	電車やバスの便利さ（2.06）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.12）	通勤・通学の便利さ（2.25）
	50～59 歳	上位	上下水道の整備状況（3.61）	川、森、里山などの自然環境（3.56）	公園、緑地の設置状況（3.45）
		下位	医療機関（2.34）	電車やバスの便利さ（2.35）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.35）
	60～64 歳	上位	川、森、里山などの自然環境（3.65）	上下水道の整備状況（3.55）	まち全体の景観、雰囲気（3.46）
		下位	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.45）	就労の場（2.47）	電車やバスの便利さ（2.56）
	65～69 歳	上位	上下水道の整備状況（3.80）	川、森、里山などの自然環境（3.58）	ごみ処理、環境美化、し尿処理（3.53）
		下位	就労の場（2.24）	医療機関（2.49）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.60）
	70～74 歳	上位	上下水道の整備状況（3.68）	ごみ処理、環境美化、し尿処理（3.53）	まち全体の景観、雰囲気（3.51）
		下位	就労の場（2.52）	医療機関（2.64）	電車やバスの便利さ（2.67）
	75 歳以上	上位	上下水道の整備状況（3.78）	消防・救急体制（3.77）	ごみ処理、環境美化、し尿処理（3.53）
		下位	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.55）	就労の場（2.61）	農林業の振興に向けた取り組み（2.75）
	全　体	上位	川、森、里山などの自然環境（3.64）	上下水道の整備状況（3.59）	まち全体の景観、雰囲気（3.49）
		下位	電車やバスの便利さ（2.40）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.41）	就労の場（2.41）

⑤ 重要度×年代別

重要度を年代別でみると、すべての年代で「医療」に関する項目が上位となっています。また、若い世代ほど「通勤・通学」「電車・バス」などの重要度が高くなっています。

			1　位	2　位	3　位
今後の重要度（5点満点）	15～19歳	上位	電車やバスの便利さ（4.21）	通勤・通学の便利さ（4.05）	医療機関（4.00）
		下位	公園、緑地の設置状況（2.63）	公民館等の集会の場（2.68）	道路の整備状況（2.84）
	20～29歳	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.35）	電車やバスの便利さ（4.17）	医療機関（4.10）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.45）	公民館等の集会の場（2.52）	公園、緑地の設置状況（2.55）
	30～39歳	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.48）	電車やバスの便利さ（4.31）	通勤・通学の便利さ（4.27）
		下位	歴史的・文化的雰囲気（2.66）	国際化などに関する取り組み（2.68）	男女共同参画に関する取り組み（2.90）
	40～49歳	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.55）	電車やバスの便利さ（4.44）	医療機関（4.33）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.70）	歴史的・文化的雰囲気（2.78）	公民館等の集会の場（2.90）
	50～59歳	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.46）	医療機関（4.40）	電車やバスの便利さ（4.29）
		下位	娯楽施設、レジャー施設（2.76）	公民館等の集会の場（2.87）	国際化などに関する取り組み（2.88）
	60～64歳	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.58）	医療機関（4.53）	地震、洪水等の自然災害からの安全性（4.29）
		下位	娯楽施設、レジャー施設（2.76）	国際化などに関する取り組み（2.79）	男女共同参画に関する取り組み（2.95）
	65～69歳	上位	医療機関（4.43）	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.43）	防犯対策（4.26）
		下位	娯楽施設、レジャー施設（2.92）	国際化などに関する取り組み（3.12）	男女共同参画に関する取り組み（3.13）
	70～74歳	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.56）	医療機関（4.49）	消防・救急体制（4.20） 地震、洪水等の自然災害からの安全性（4.20）
		下位	娯楽施設、レジャー施設（2.96）	国際化などに関する取り組み（3.00）	文化、芸術活動など生涯学習の場の整備状況（3.27）
	75歳以上	上位	医療機関（4.45）	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.44）	地震、洪水等の自然災害からの安全性（4.37）
		下位	娯楽施設、レジャー施設（2.89）	公園、緑地の設置状況（3.16）	国際化などに関する取り組み（3.18）
	全　体	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.47）	医療機関（4.37）	電車やバスの便利さ（4.24）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.86）	娯楽施設、レジャー施設（2.92）	歴史的・文化的雰囲気（2.98）

⑥ ５年前との比較×年代別

５年前との比較を年代別でみると、65～69 歳以外で「道路」が上位となっています。また、50 代から 60 代では、「就労の場」が下位となっています。

			１　位	２　位	３　位
５年前との比較（５点満点）	15～19 歳	上位	道路の整備状況（4.08）	生活道路の整備（3.81） 病気の予防、健康診断（3.81） 学校・園等の施設の整備状況（3.81）	高齢者のための福祉施設や支援（3.76）
		下位	騒音、悪臭などの公害対策（2.73）	川、森、里山などの自然環境（2.84）	就労の場（3.00） 農林業の振興に向けた取り組み（3.00）
	20～29 歳	上位	道路の整備状況（3.74）	買い物の便利さ（3.68）	通勤・通学の便利さ（3.53）
		下位	子どもの遊び場（2.68）	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.74） 就労の場（2.74） 騒音、悪臭などの公害対策（2.74）	娯楽施設、レジャー施設（2.79）
	30～39 歳	上位	道路の整備状況（3.57）	公園、緑地の設置状況（3.34）	通勤・通学の便利さ（3.32）
		下位	就労の場（2.79） まち全体の景観、雰囲気（2.79）	防犯対策（2.83）	騒音、悪臭などの公害対策（2.87） 商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.87） 住民の支えあいや助けあいの取り組み（2.87）
	40～49 歳	上位	道路の整備状況（3.66）	買い物の便利さ（3.42）	電車やバスの便利さ（3.40）
		下位	川、森、里山などの自然環境（2.76）	騒音、悪臭などの公害対策（2.78）	まち全体の景観、雰囲気（2.80）
	50～59 歳	上位	道路の整備状況（3.74）	買い物の便利さ（3.59）	通勤・通学の便利さ（3.55）
		下位	就労の場（2.78）	川、森、里山などの自然環境（2.85）	騒音、悪臭などの公害対策（2.87）
	60～64 歳	上位	道路の整備状況（3.58）	通勤・通学の便利さ（3.56）	電車やバスの便利さ（3.54）
		下位	就労の場（2.87）	防犯対策（2.89）	住民の支えあいや助けあいの取り組み（2.91）
	65～69 歳	上位	買い物の便利さ（3.75）	道路の整備状況（3.70）	通勤・通学の便利さ（3.57）
		下位	就労の場（2.87）	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.96）	農林業の振興に向けた取り組み（3.00）
	70～74 歳	上位	道路の整備状況（3.97）	通勤・通学の便利さ（3.76）	上下水道の整備状況（3.68）
		下位	住民がふれあう機会（2.98）	防犯対策（3.04）	就労の場（3.05）
	75 歳以上	上位	道路の整備状況（3.83）	電車やバスの便利さ（3.74）	猪名川町全体（3.70） 高齢者のための福祉施設や支援（3.70） 通勤・通学の便利さ（3.70）
		下位	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.96）	就労の場（2.97）	農林業の振興に向けた取り組み（3.07）
	全　体	上位	道路の整備状況（3.73）	買い物の便利さ（3.54）	通勤・通学の便利さ（3.51）
		下位	就労の場（2.86）	騒音、悪臭などの公害対策（2.95）	川、森、里山などの自然環境（2.98）

⑦ 満足度×小学校区別

満足度を小学校区別でみると、いずれの地区においても、「上下水道」が上位の項目となっています。また、松尾台小学校区以外では、「電車・バス」の満足度が低くなっています。

			１　位	２　位	３　位
現在の満足度（5点満点）	猪名川小学校区	上位	川、森、里山などの自然環境（3.63）	公園、緑地の設置状況（3.59）	上下水道の整備状況（3.56）
		下位	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.43）	電車やバスの便利さ（2.46）	通勤・通学の便利さ（2.51） 就労の場（2.51）
	楊津小学校区	上位	上下水道の整備状況（3.66）	まち全体の景観、雰囲気（3.60）	ごみ処理、環境美化、し尿処理（3.55）
		下位	電車やバスの便利さ（1.90）	通勤・通学の便利さ（2.20）	子どもの遊び場（2.41）
	大島小学校区	上位	上下水道の整備状況（3.66）	まち全体の景観、雰囲気（3.48）	ごみ処理、環境美化、し尿処理（3.44）
		下位	電車やバスの便利さ（1.51）	通勤・通学の便利さ（1.76）	買い物の便利さ（2.06）
	松尾台小学校区	上位	川、森、里山などの自然環境（3.70）	まち全体の景観、雰囲気（3.56）	上下水道の整備状況（3.56）
		下位	就労の場（2.40）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.57）	医療機関（2.61）
	白金小学校区	上位	川、森、里山などの自然環境（3.80）	公園、緑地の設置状況（3.67）	上下水道の整備状況（3.63）
		下位	電車やバスの便利さ（2.20）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.25）	通勤・通学の便利さ（2.27）
	つつじが丘小学校区	上位	上下水道の整備状況（3.59）	川、森、里山などの自然環境（3.55）	ごみ処理、環境美化、し尿処理（3.49）
		下位	電車やバスの便利さ（2.33）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.39）	医療機関（2.41）
	全　体	上位	川、森、里山などの自然環境（3.64）	上下水道の整備状況（3.59）	まち全体の景観、雰囲気（3.49）
		下位	電車やバスの便利さ（2.40）	救急医療、夜間・休日医療の体制（2.41）	就労の場（2.41）

⑧ 重要度×小学校区別

重要度を小学校区別でみると、いずれの地区においても「医療関係」が上位となっています。

			１　位	２　位	３　位
今後の重要度（５点満点）	猪名川小学校区	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.13）	医療機関（4.08）	防犯対策（3.94）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.37）	男女共同参画に関する取り組み（2.42）	公民館等の集会の場（2.48）
	楊津小学校区	上位	医療機関（3.87）	救急医療、夜間・休日医療の体制（3.79）	電車やバスの便利さ（3.60）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.32）	公民館等の集会の場（2.37） 娯楽施設、レジャー施設（2.37） 男女共同参画に関する取り組み（2.37）	スポーツ・レクリエーション活動の場（2.38）
	大島小学校区	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（3.89）	電車やバスの便利さ（3.81） 医療機関（3.81）	地震、洪水等の自然災害からの安全性（3.78）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.21）	男女共同参画に関する取り組み（2.35）	まちづくりへの参画と協働の機会（2.36）
	松尾台小学校区	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（3.96）	医療機関（3.89）	消防・救急体制（3.72）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.26）	娯楽施設、レジャー施設（2.28）	男女共同参画に関する取り組み（2.44）
	白金小学校区	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.18）	医療機関（4.15）	電車やバスの便利さ（4.09）
		下位	男女共同参画に関する取り組み（2.64）	国際化などに関する取り組み（2.72）	歴史的・文化的雰囲気（2.74）
	つつじが丘小学校区	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.18）	医療機関（3.96）	防犯対策（3.92）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.40）	男女共同参画に関する取り組み（2.55）	歴史的・文化的雰囲気（2.58）
	全　体	上位	救急医療、夜間・休日医療の体制（4.47）	医療機関（4.37）	電車やバスの便利さ（4.24）
		下位	国際化などに関する取り組み（2.86）	娯楽施設、レジャー施設（2.92）	歴史的・文化的雰囲気（2.98）

⑨ ５年前との比較×小学校区別

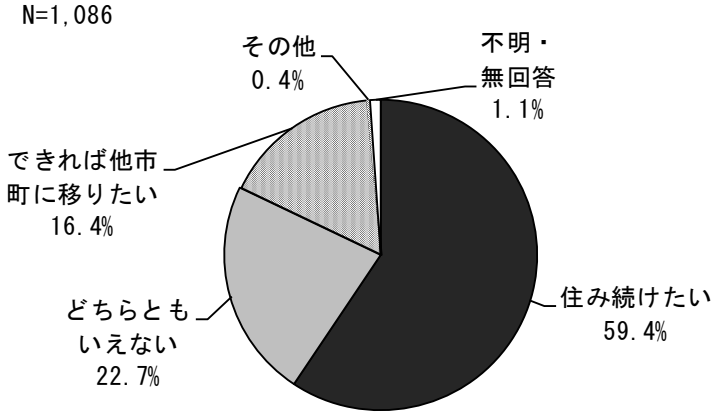
５年前との比較を小学校区別でみると、つつじが丘以外の地区では「道路」が上位となっています。

			１　位	２　位	３　位
５年前との比較（５点満点）	猪名川小学校区	上位	道路の整備状況（3.58）	買い物の便利さ（3.55）	電車やバスの便利さ（3.34）
		下位	農林業の振興に向けた取り組み（2.38）	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.40）	国際化などに関する取り組み（2.41）
	楊津小学校区	上位	道路の整備状況（3.44）	上下水道の整備状況（3.21）	高齢者のための福祉施設や支援（3.18）
		下位	子どもの遊び場（2.23）	電車やバスの便利さ（2.28）	農林業の振興に向けた取り組み（2.30）
	大島小学校区	上位	道路の整備状況（3.44）	高齢者のための福祉施設や支援（3.23）	上下水道の整備状況（3.16）
		下位	就労の場（2.28）	電車やバスの便利さ（2.31）	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.32）
	松尾台小学校区	上位	道路の整備状況（3.41）	電車やバスの便利さ（3.19）	買い物の便利さ（3.16）
		下位	就労の場（2.26）	農林業の振興に向けた取り組み（2.31）	行財政改革に向けた取り組み（2.36）
	白金小学校区	上位	道路の整備状況（3.37）	買い物の便利さ（3.25）	電車やバスの便利さ（3.15）
		下位	就労の場（2.51）	商工業の振興や企業誘致の取り組み（2.65） 所得が少ない人のための福祉の支援（2.65）	子どもの遊び場（2.66）
	つつじが丘小学校区	上位	電車やバスの便利さ（3.72）	買い物の便利さ（3.47）	通勤・通学の便利さ（3.40）
		下位	川、森、里山などの自然環境（2.54）	男女共同参画に関する取り組み（2.55） 就労の場（2.55）	騒音、悪臭などの公害対策（2.58） 防犯対策（2.58） 行財政改革に向けた取り組み（2.58）
	全　体	上位	道路の整備状況（3.73）	買い物の便利さ（3.54）	通勤・通学の便利さ（3.51）
		下位	就労の場（2.86）	騒音、悪臭などの公害対策（2.95）	川、森、里山などの自然環境（2.98）

問３　あなたは、これからも猪名川町に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。（SA）

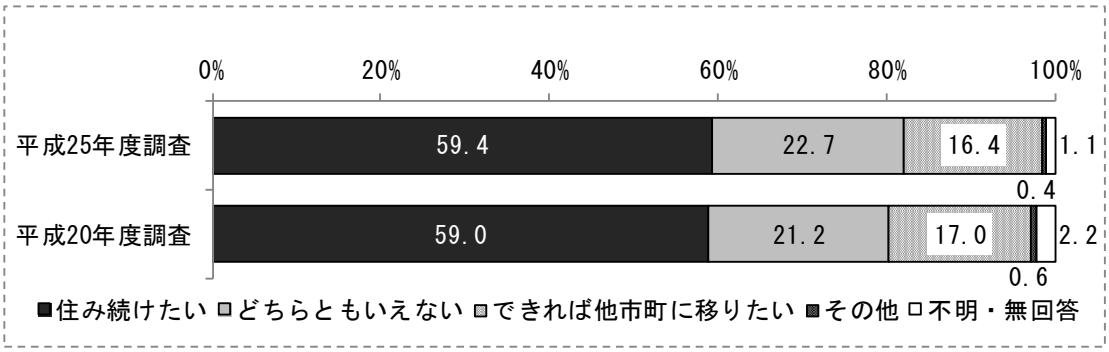
今後も猪名川町に住み続けたいかについてみると、「住み続けたい」が 59.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 22.7%となっています。

性別でみると、「住み続けたい」が「男性」では 68.9%、「女性」では 52.1%となっており、「男性」の方が 16.8 ポイント上回る結果となっています。

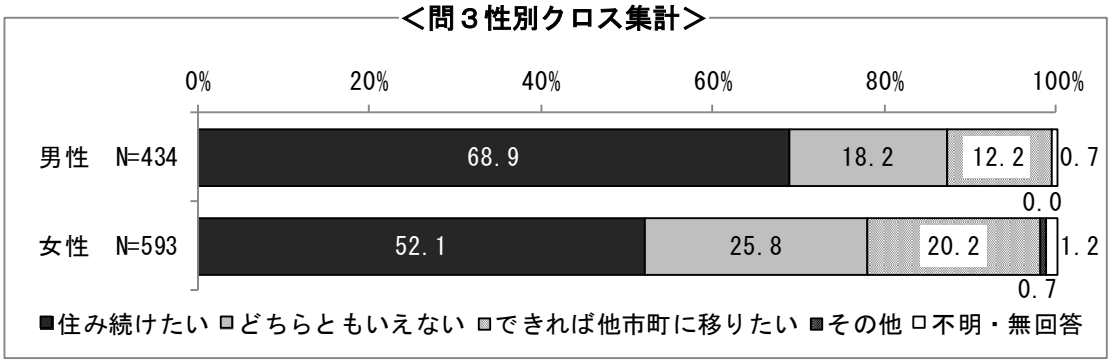


その他回答	類似回答数
仕方がない	1

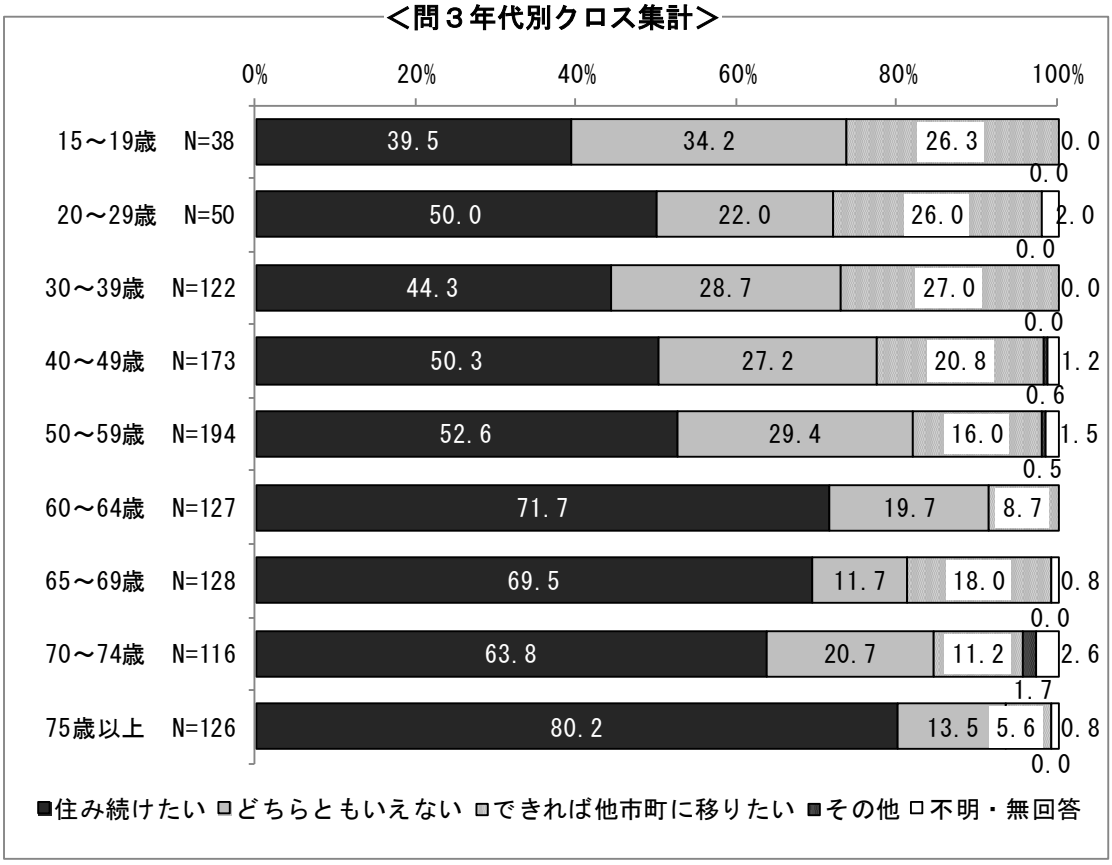
◆前回調査との比較〔問３〕



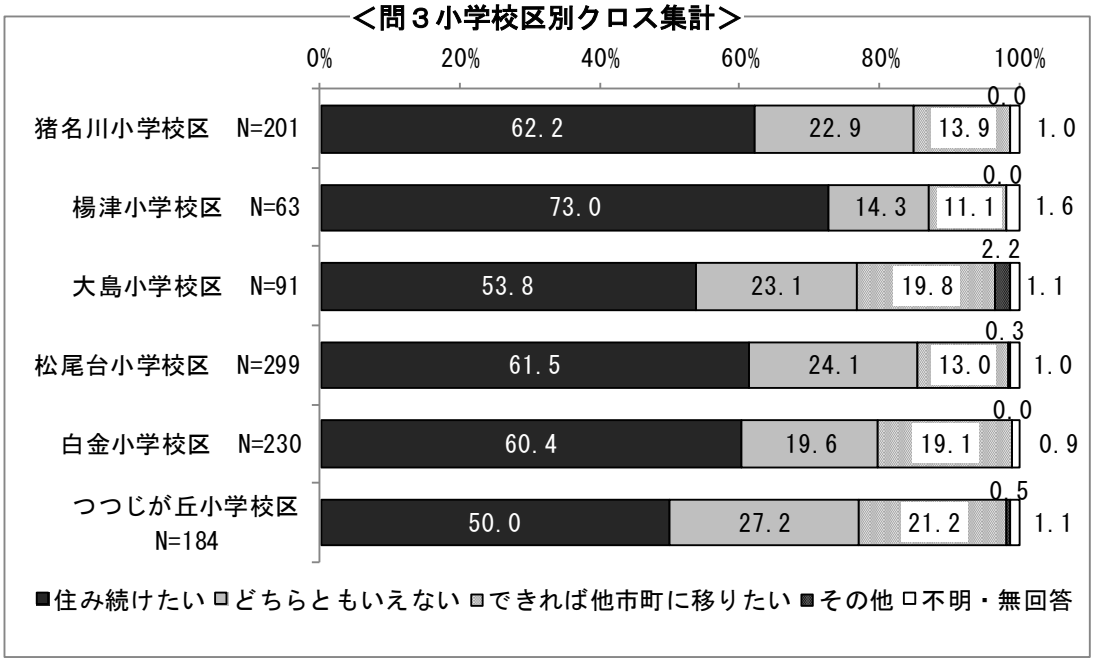
＜問３性別クロス集計＞



年代別でみると、「15～19 歳」「30～39 歳」を除くすべて年代で「住み続けたい」が５割を超えており、特に「75 歳以上」では 80.2%となっています。

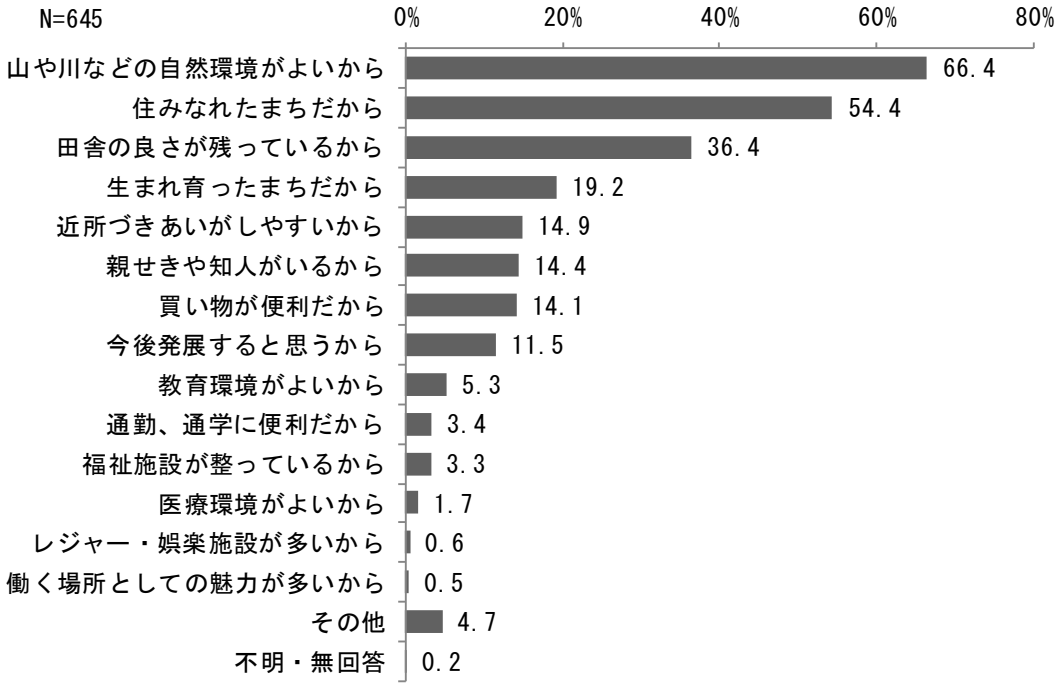


小学校区別でみると、すべての小学校区で「住み続けたい」が５割を超えており、特に「楊津小学校区」では 73.0%と高くなっています。



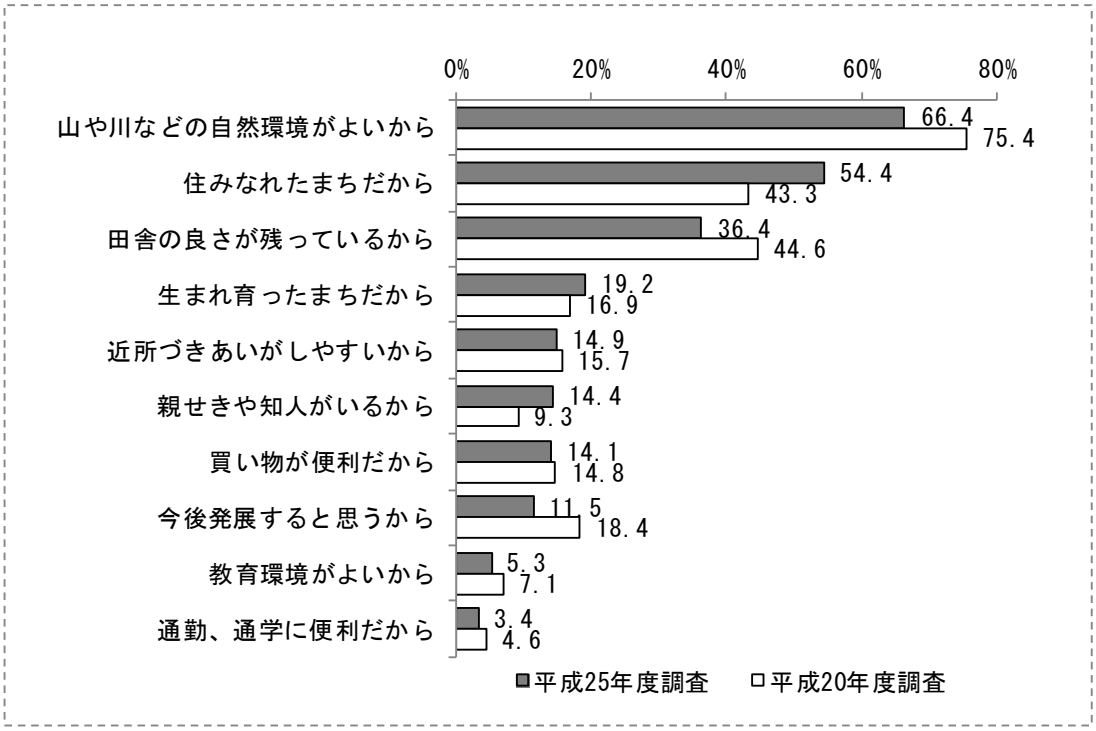
問３-（１）　猪名川町に住み続けたいと思う理由は何ですか。お考えに近いものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

住み続けたいと思う理由についてみると、「山や川などの自然環境がよいから」が 66.4%で最も高く、次いで「住みなれたまちだから」が 54.4%、「田舎の良さが残っているから」が 36.4%となっており、猪名川町の恵まれた自然を含む生活環境を重視していることがうかがえます。

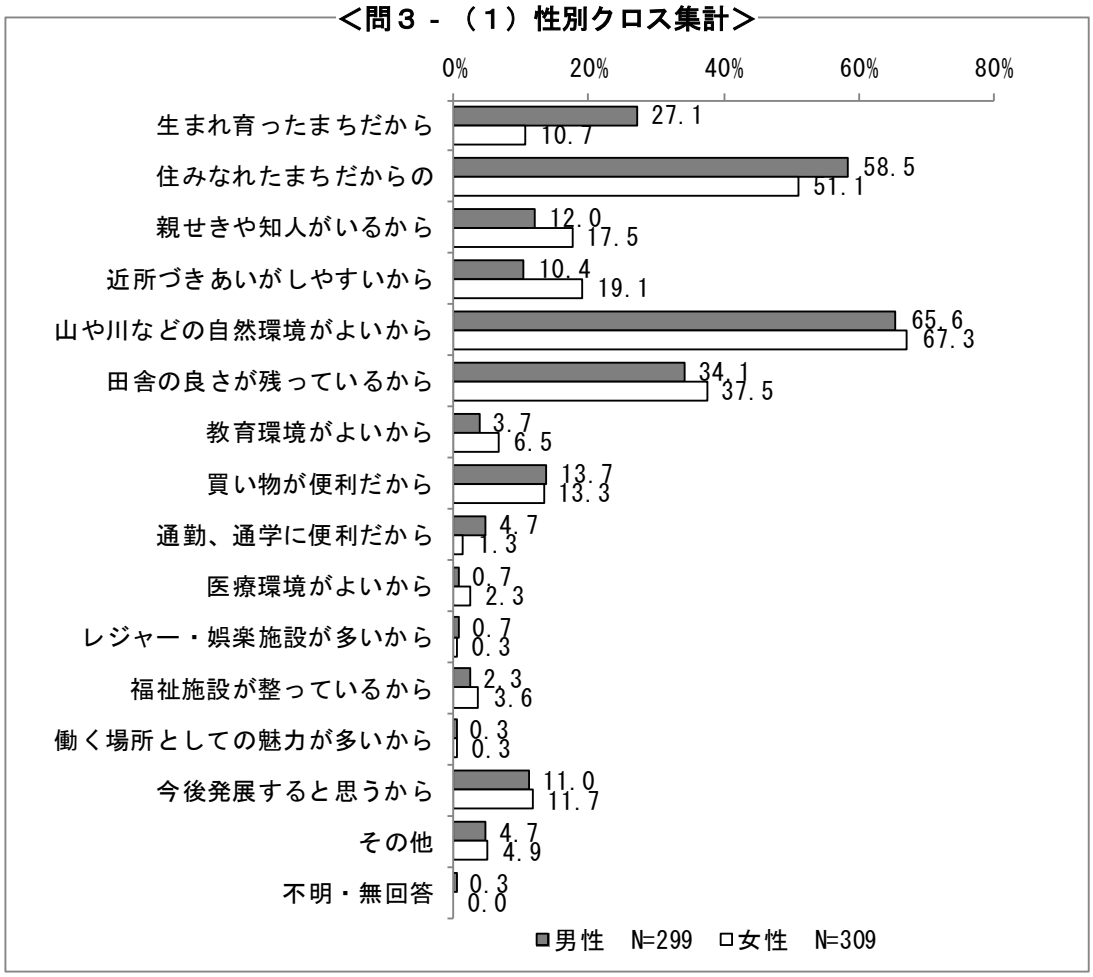


その他回答	類似回答数
家や土地がある	8
住環境、生活環境が良い	4
災害が少ない	3
住まざるを得ない	3
空気がきれい	2
事故・事件などが少ない	1
年金生活者にとって生活しやすい	1
一人当たりのスポーツ施設が充実している	1
畑作業ができる	1
引っ越す資力が無い	1
娘と同居するため	1
道の駅の野菜が新鮮で美味しい	1
動物と一緒の生活に便利	1
大学卒業まではいなければならない	1
墓守のため	1

◆前回調査との比較〔問３-（１）〕



性別でみると、男女ともに、「山や川などの自然環境がよいから」が最も高く、次いで「住みなれたまちだから」となっています。また、「生まれ育ったまちだから」では、「男性」の方が 16.4 ポイント上回る結果となっています。



年代別でみると、「15～19 歳」を除くすべての年代で「山や川などの自然環境がよいから」が最も高く、５割を超えています。

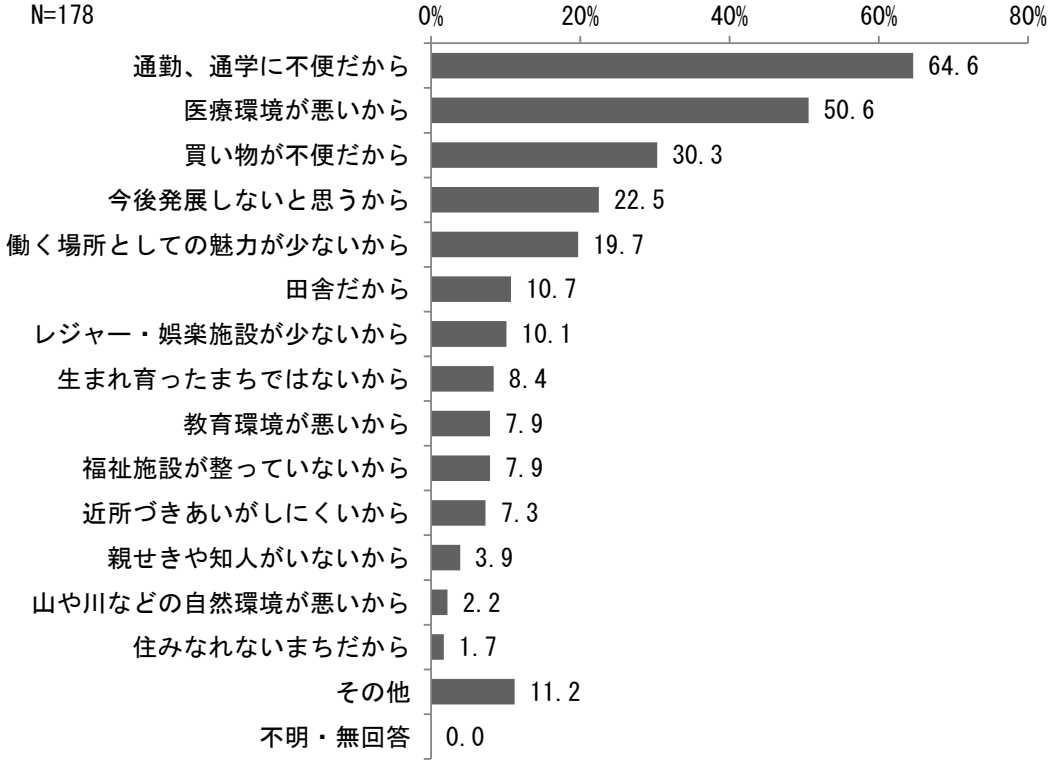
＜問３ - （１）年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：％	回答者数	生まれ育ったまちだから	住みなれたまちだから	親せきや知人がいるから	近所づきあいがしやすいから	山や川などの自然環境がよいから	田舎の良さが残っているから	教育環境がよいから	買い物が便利だから
合計	645 100.0	124 19.2	351 54.4	93 14.4	96 14.9	428 66.4	235 36.4	34 5.3	91 14.1
15～19歳	15 100.0	8 53.3	12 80.0	1 6.7	1 6.7	10 66.7	3 20.0	1 6.7	1 6.7
20～29歳	25 100.0	8 32.0	11 44.0	5 20.0	2 8.0	15 60.0	8 32.0	5 20.0	2 8.0
30～39歳	54 100.0	10 18.5	25 46.3	4 7.4	11 20.4	36 66.7	26 48.1	5 9.3	2 3.7
40～49歳	87 100.0	11 12.6	37 42.5	13 14.9	11 12.6	56 64.4	28 32.2	13 14.9	9 10.3
50～59歳	102 100.0	23 22.5	65 63.7	16 15.7	17 16.7	67 65.7	36 35.3	1 1.0	18 17.6
60～64歳	91 100.0	15 16.5	57 62.6	15 16.5	8 8.8	65 71.4	28 30.8	2 2.2	15 16.5
65～69歳	89 100.0	12 13.5	45 50.6	9 10.1	12 13.5	66 74.2	29 32.6	2 2.2	11 12.4
70～74歳	74 100.0	10 13.5	42 56.8	14 18.9	8 10.8	52 70.3	33 44.6	2 2.7	16 21.6
75歳以上	101 100.0	25 24.8	53 52.5	15 14.9	24 23.8	54 53.5	40 39.6	2 2.0	13 12.9

上段：回答数 下段：％	通勤、通学に便利だから	医療環境がよいから	レジャー・娯楽施設が多いから	福祉施設が整っているから	働く場所としての魅力が多いから	今後発展すると思うから	その他	不明・無回答
合計	22 3.4	11 1.7	4 0.6	21 3.3	3 0.5	74 11.5	30 4.7	1 0.2
15～19歳	3 20.0	- -	- -	- -	- -	1 6.7	1 6.7	- -
20～29歳	2 8.0	- -	1 4.0	- -	- -	3 12.0	1 4.0	- -
30～39歳	2 3.7	- -	- -	1 1.9	- -	7 13.0	4 7.4	- -
40～49歳	3 3.4	- -	1 1.1	1 1.1	- -	9 10.3	8 9.2	1 1.1
50～59歳	4 3.9	- -	- -	3 2.9	1 1.0	8 7.8	3 2.9	- -
60～64歳	3 3.3	1 1.1	1 1.1	3 3.3	- -	7 7.7	4 4.4	- -
65～69歳	2 2.2	2 2.2	- -	7 7.9	- -	12 13.5	3 3.4	- -
70～74歳	- -	4 5.4	- -	3 4.1	- -	9 12.2	2 2.7	- -
75歳以上	1 1.0	3 3.0	- -	2 2.0	1 1.0	16 15.8	4 4.0	- -

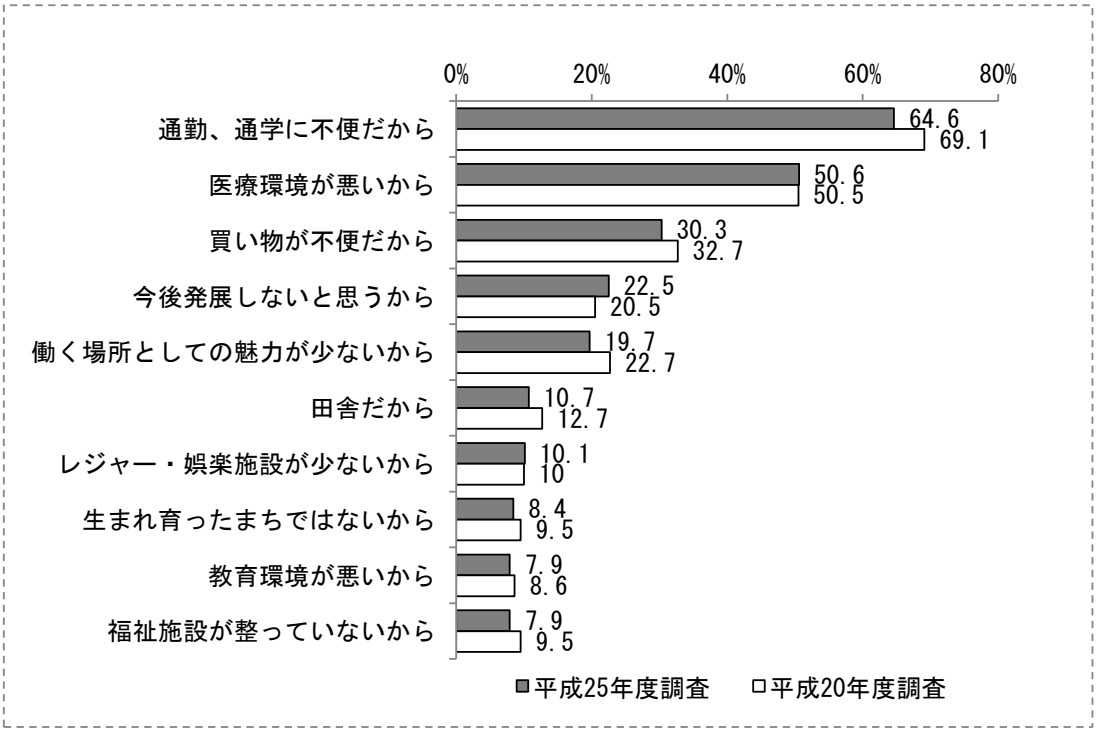
問３-（２）　できれば他市町に移りたいと思う理由は何ですか。
お考えに近い物を３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

他市町に移りたいと思う理由についてみると、「通勤、通学に不便だから」が 64.6%で最も高く、次いで「医療環境が悪いから」が 50.6%、「買い物が不便だから」が 30.3%となっており、生活の利便性について課題があることがうかがえます。



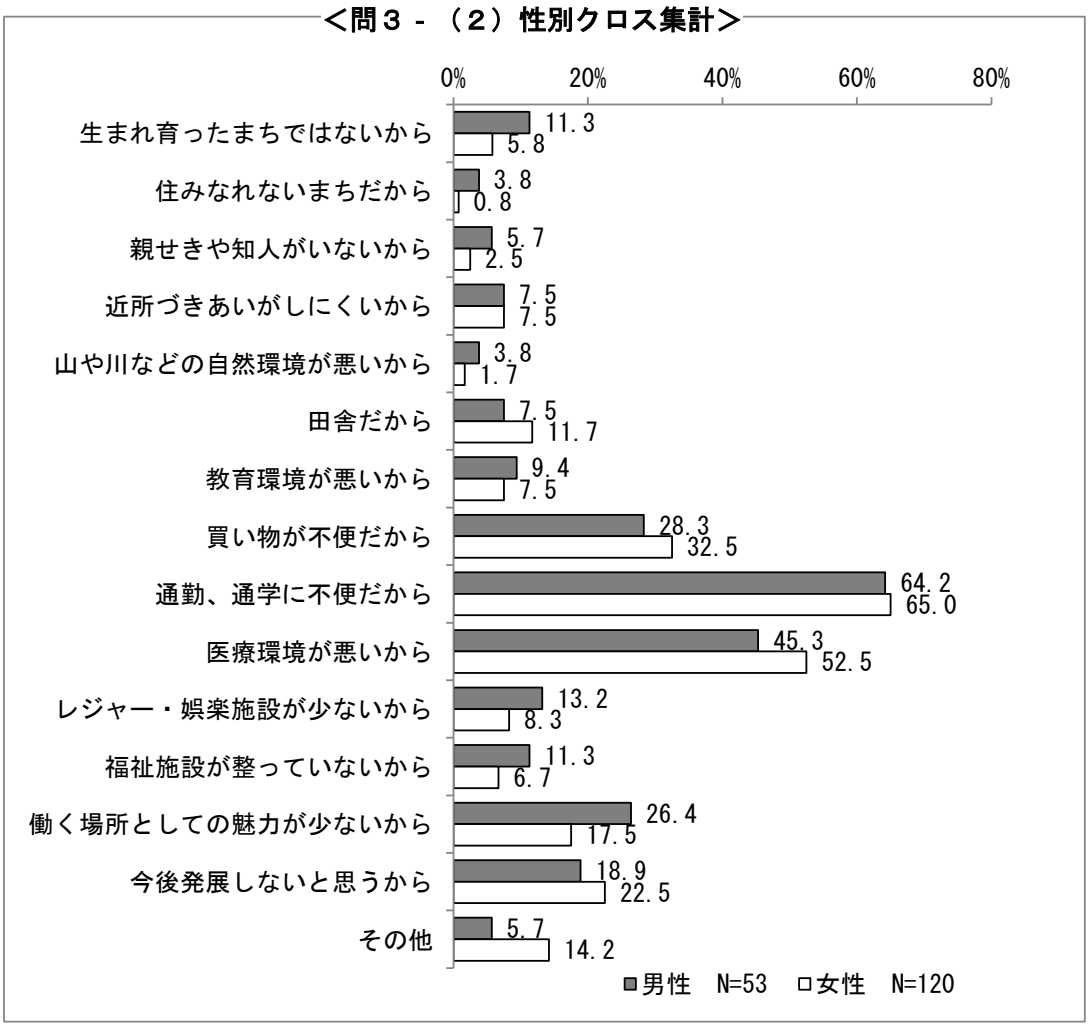
その他回答	類似回答数
交通の便が悪い	3
車が無いと身動きが取れないから	3
交通運賃が高い	2
不便だから	1
高速道路の傍だから	1
メガソーラーがあるから	1
働く会社がない	1
医療・福祉施設がないから	1
ゴミ対策がされず、負担が大きい	1
自然環境が悪くなってきたから	1
知名度と魅力がない	1
行政不信	1
役場は住民への配慮を	1
税金の使途が不明	1

◆前回調査との比較〔問３-（２）〕



性別でみると、男女ともに、「通勤、通学に不便だから」が最も高く、次いで「医療環境が悪いから」となっています。

また、「働く場所としての魅力が少ないから」では、「男性」の方が 8.9 ポイント上回る結果となっています。



年代別でみると、59 歳以下では「通勤、通学に不便だから」の割合が最も高く、60 歳以上では「医療環境が悪いから」の割合が最も高くなっています。

＜問３ - （２）年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	生まれ育ったまちではないから	住みなれないまちだから	親せきや知人がいないから	近所づきあいがしにくいから	山や川などの自然環境が悪いから	田舎だから	教育環境が悪いから	買い物が不便だから
合計	178	15	3	7	13	4	19	14	54
	100.0	8.4	1.7	3.9	7.3	2.2	10.7	7.9	30.3
15～19歳	10	-	1	-	-	-	3	2	3
	100.0	-	10.0	-	-	-	30.0	20.0	30.0
20～29歳	13	2	-	-	-	1	3	-	3
	100.0	15.4	-	-	-	7.7	23.1	-	23.1
30～39歳	33	2	-	-	3	1	2	3	10
	100.0	6.1	-	-	9.1	3.0	6.1	9.1	30.3
40～49歳	36	3	-	-	2	-	4	5	8
	100.0	8.3	-	-	5.6	-	11.1	13.9	22.2
50～59歳	31	1	1	2	2	1	1	1	5
	100.0	3.2	3.2	6.5	6.5	3.2	3.2	3.2	16.1
60～64歳	11	2	-	2	-	-	1	-	3
	100.0	18.2	-	18.2	-	-	9.1	-	27.3
65～69歳	23	1	-	2	4	1	3	-	10
	100.0	4.3	-	8.7	17.4	4.3	13.0	-	43.5
70～74歳	13	2	1	-	2	-	2	2	7
	100.0	15.4	7.7	-	15.4	-	15.4	15.4	53.8
75歳以上	7	1	-	-	-	-	-	1	5
	100.0	14.3	-	-	-	-	-	14.3	71.4

上段:回答数 下段:%	通勤、通学に不便だから	医療環境が悪いから	レジャー・娯楽施設が少ないから	福祉施設が整っていないから	働く場所としての魅力が少ないから	今後発展しないと思うから	その他	不明・無回答
合計	115	90	18	14	35	40	20	-
	64.6	50.6	10.1	7.9	19.7	22.5	11.2	-
15～19歳	9	1	2	-	3	1	1	-
	90.0	10.0	20.0	-	30.0	10.0	10.0	-
20～29歳	11	3	2	-	5	3	-	-
	84.6	23.1	15.4	-	38.5	23.1	-	-
30～39歳	22	16	3	-	7	9	6	-
	66.7	48.5	9.1	-	21.2	27.3	18.2	-
40～49歳	31	16	7	1	10	8	3	-
	86.1	44.4	19.4	2.8	27.8	22.2	8.3	-
50～59歳	22	16	1	5	2	4	5	-
	71.0	51.6	3.2	16.1	6.5	12.9	16.1	-
60～64歳	5	9	1	1	2	5	1	-
	45.5	81.8	9.1	9.1	18.2	45.5	9.1	-
65～69歳	10	12	2	2	3	8	3	-
	43.5	52.2	8.7	8.7	13.0	34.8	13.0	-
70～74歳	4	11	-	1	2	1	1	-
	30.8	84.6	-	7.7	15.4	7.7	7.7	-
75歳以上	1	6	-	4	1	-	-	-
	14.3	85.7	-	57.1	14.3	-	-	-

小学校区別でみると、「楊津小学校区」を除く、すべての小学校区で「通勤、通学に不便だから」の割合が最も高く、５割を超えています。

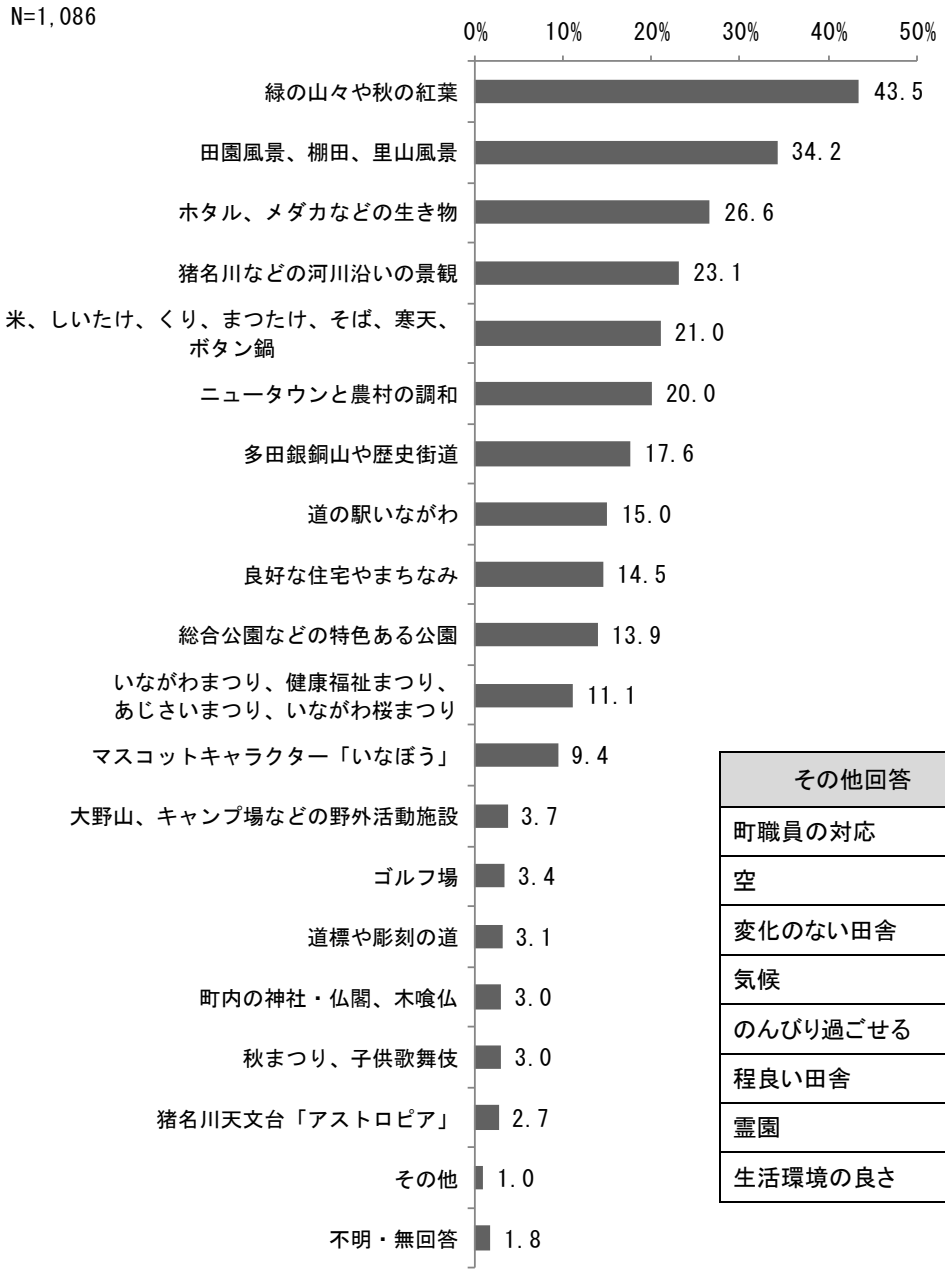
＜問３ - （２）小学校区別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	生まれ育ったまちではないから	住みなれないまちだから	親せきや知人がいないから	近所づきあいがしにくいから	山や川などの自然環境が悪いから	田舎だから	教育環境が悪いから	買い物が不便だから
合計	178 100.0	15 8.4	3 1.7	7 3.9	13 7.3	4 2.2	19 10.7	14 7.9	54 30.3
猪名川小学校区	28 100.0	3 10.7	1 3.6	1 3.6	3 10.7	1 3.6	1 3.6	2 7.1	7 25.0
楊津小学校区	7 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	5 71.4
大島小学校区	18 100.0	- -	- -	1 5.6	1 5.6	- -	3 16.7	- -	8 44.4
松尾台小学校区	39 100.0	4 10.3	1 2.6	3 7.7	3 7.7	1 2.6	4 10.3	4 10.3	13 33.3
白金小学校区	44 100.0	4 9.1	- -	- -	1 2.3	1 2.3	5 11.4	3 6.8	8 18.2
つつじが丘小学校区	39 100.0	3 7.7	1 2.6	1 2.6	5 12.8	1 2.6	5 12.8	4 10.3	13 33.3

上段：回答数 下段：%	通勤、通学に不便だから	医療環境が悪いから	レジャー・娯楽施設が少ないから	福祉施設が整っていないから	働く場所としての魅力が少ないから	今後発展しないと思うから	その他	不明・無回答
合計	115 64.6	90 50.6	18 10.1	14 7.9	35 19.7	40 22.5	20 11.2	- -
猪名川小学校区	17 60.7	15 53.6	5 17.9	3 10.7	3 10.7	5 17.9	4 14.3	- -
楊津小学校区	2 28.6	4 57.1	- -	1 14.3	1 14.3	- -	2 28.6	- -
大島小学校区	14 77.8	7 38.9	2 11.1	- -	3 16.7	7 38.9	1 5.6	- -
松尾台小学校区	21 53.8	20 51.3	2 5.1	6 15.4	7 17.9	11 28.2	3 7.7	- -
白金小学校区	36 81.8	24 54.5	6 13.6	1 2.3	14 31.8	7 15.9	3 6.8	- -
つつじが丘小学校区	24 61.5	18 46.2	2 5.1	3 7.7	6 15.4	9 23.1	7 17.9	- -

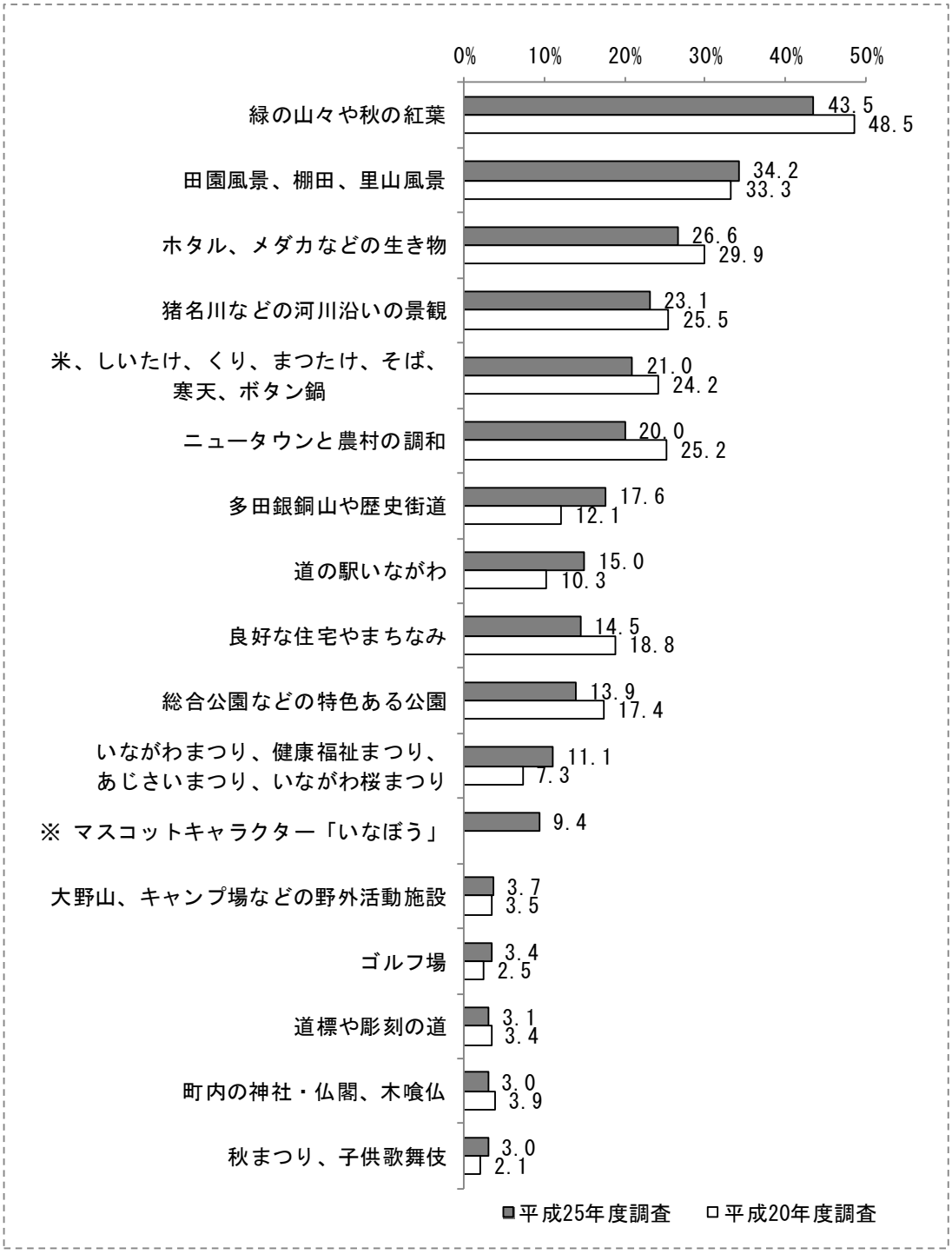
問４　あなたが“猪名川町らしさ”と感じるものは何ですか。
お考えに近いものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

“猪名川町らしさ”と感じるものについてみると、「緑の山々や秋の紅葉」が 43.5%で最も高く、次いで「田園風景、棚田、里山風景」が 34.2%、「ホタル、メダカなどの生き物」が 26.6%となっており、「猪名川町＝自然環境」というイメージを持たれる方の多いことがうかがえます。



その他回答	類似回答数
町職員の対応	1
空	1
変化のない田舎	1
気候	1
のんびり過ごせる	1
程良い田舎	1
霊園	1
生活環境の良さ	1

◆前回調査との比較〔問４〕

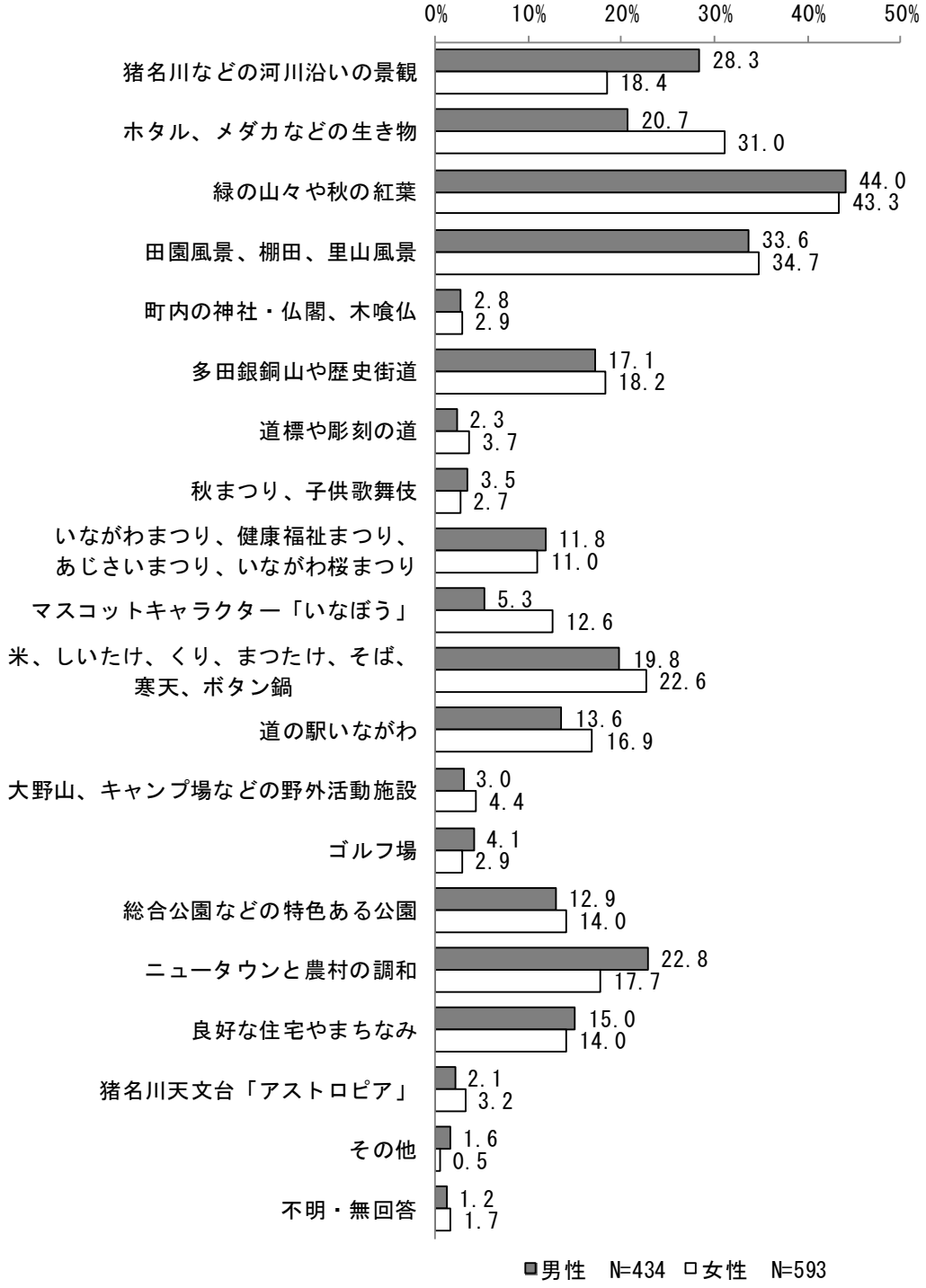


※ 平成 25 年度調査のみの選択肢

平成20年度調査の選択肢
ホタルなどの生き物
米、しいたけ、くり、まつたけ、地酒、寒天、ボタン鍋
いながわまつり、健康福祉まつり、あじさいまつり

性別でみると、男女ともに、「緑の山々や秋の紅葉」がそれぞれ 44.0%、43.3%で最も高くなっています。次いで「男性」では「田園風景、棚田、里山風景」が 33.6%、「女性」では「ホタル、メダカなどの生き物」が 31.0%となっています。

＜問４性別クロス集計＞



小学校区別でみると、「つつじが丘小学校区」を除くすべての小学校区で「緑の山々や秋の紅葉」の割合が最も高くなっています。

＜問４小学校区別クロス集計＞

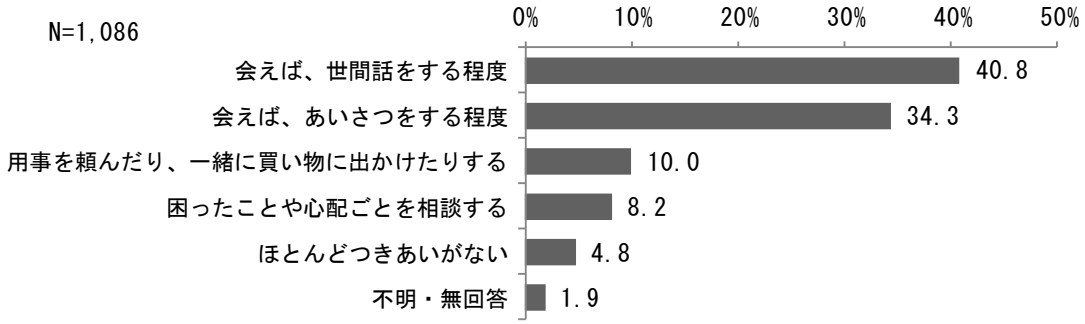
上段：回答数 下段：%	回答者数	猪名川などの河川沿いの景観	ホタル、メダカなどの生き物	緑の山々や秋の紅葉	田園風景、棚田、里山風景	町内の神社・仏閣、木喰仏	多田銀銅山や歴史街道	道標や彫刻の道	秋まつり、子供歌舞伎	いながわまつり、健康福祉まつり、あじさいまつり、いながわ桜まつり	マスコットキャラクター「いなぼう」
合計	1086	251	289	472	371	33	191	34	33	121	102
	100.0	23.1	26.6	43.5	34.2	3.0	17.6	3.1	3.0	11.1	9.4
猪名川小学校区	201	31	51	92	70	6	36	6	12	21	19
	100.0	15.4	25.4	45.8	34.8	3.0	17.9	3.0	6.0	10.4	9.5
楊津小学校区	63	20	25	35	22	1	7	-	2	8	4
	100.0	31.7	39.7	55.6	34.9	1.6	11.1	-	3.2	12.7	6.3
大島小学校区	91	30	33	47	36	2	8	1	8	9	6
	100.0	33.0	36.3	51.6	39.6	2.2	8.8	1.1	8.8	9.9	6.6
松尾台小学校区	299	69	66	142	111	10	39	17	2	27	19
	100.0	23.1	22.1	47.5	37.1	3.3	13.0	5.7	0.7	9.0	6.4
白金小学校区	230	56	51	78	54	6	62	7	6	37	25
	100.0	24.3	22.2	33.9	23.5	2.6	27.0	3.0	2.6	16.1	10.9
つつじが丘小学校区	184	40	58	70	74	6	36	2	3	17	28
	100.0	21.7	31.5	38.0	40.2	3.3	19.6	1.1	1.6	9.2	15.2

上段：回答数 下段：%	米、しいたけ、くり、まつたけ、そば、寒天、ボタン鍋	道の駅いながわ	大野山、キャンプ場などの野外活動施設	ゴルフ場	総合公園などの特色ある公園	ニュータウンと農村の調和	良好な住宅やまちなみ	猪名川天文台「アストロピア」	その他	不明・無回答
合計	228	163	40	37	151	217	158	29	11	20
	21.0	15.0	3.7	3.4	13.9	20.0	14.5	2.7	1.0	1.8
猪名川小学校区	50	27	10	6	31	39	24	2	1	5
	24.9	13.4	5.0	3.0	15.4	19.4	11.9	1.0	0.5	2.5
楊津小学校区	20	16	1	2	1	5	3	-	-	1
	31.7	25.4	1.6	3.2	1.6	7.9	4.8	-	-	1.6
大島小学校区	25	24	6	3	4	10	1	9	-	2
	27.5	26.4	6.6	3.3	4.4	11.0	1.1	9.9	-	2.2
松尾台小学校区	59	27	9	11	23	80	61	6	3	7
	19.7	9.0	3.0	3.7	7.7	26.8	20.4	2.0	1.0	2.3
白金小学校区	39	31	6	9	65	47	44	4	2	2
	17.0	13.5	2.6	3.9	28.3	20.4	19.1	1.7	0.9	0.9
つつじが丘小学校区	31	36	6	4	25	32	22	7	4	2
	16.8	19.6	3.3	2.2	13.6	17.4	12.0	3.8	2.2	1.1

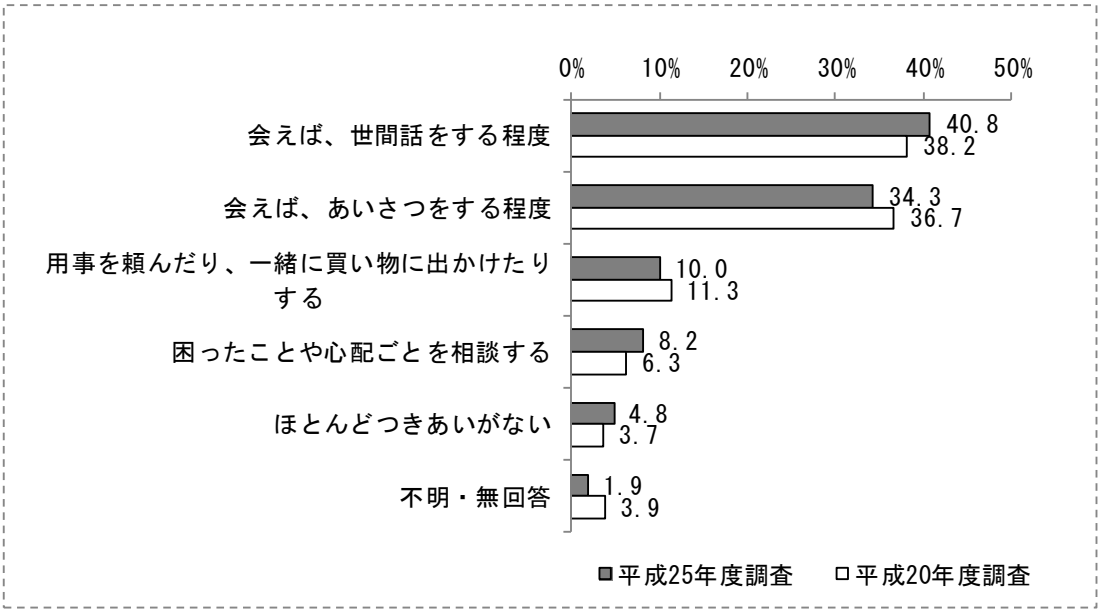
地域との関わりや地域活動について

問５　あなたは、近所の人とどの程度のつきあいがありますか。
あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。（SA）

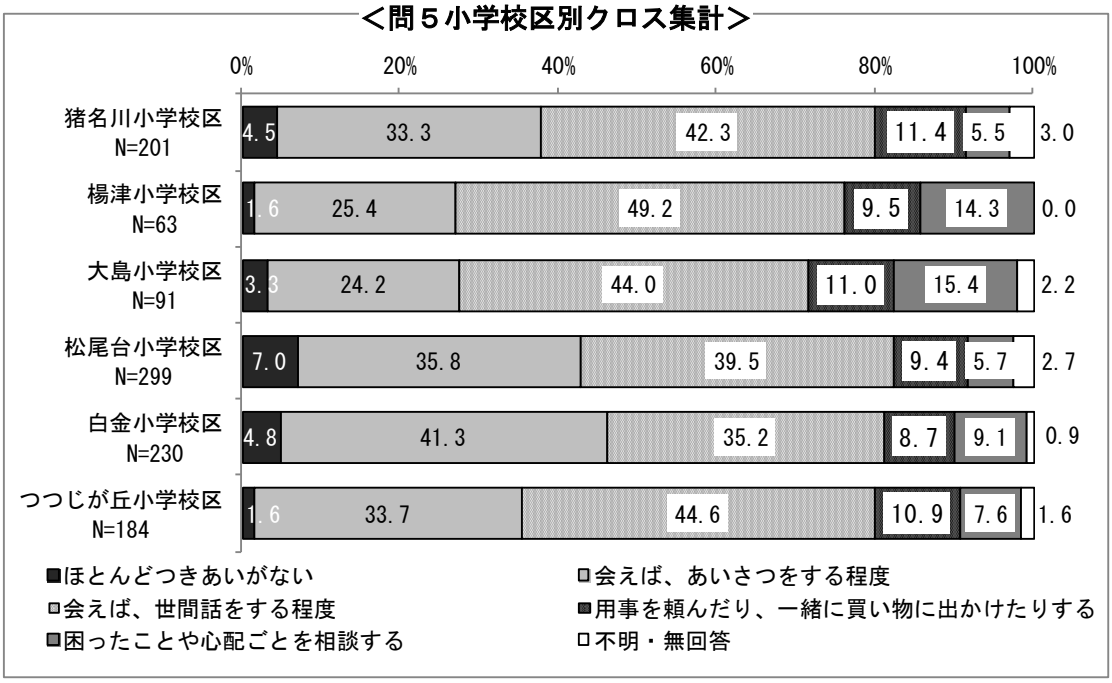
近所の人とのつきあいについてみると、「会えば、世間話をする程度」が 40.8%で最も高く、次いで「会えば、あいさつをする程度」が 34.3%となっています。



◆前回調査との比較〔問５〕

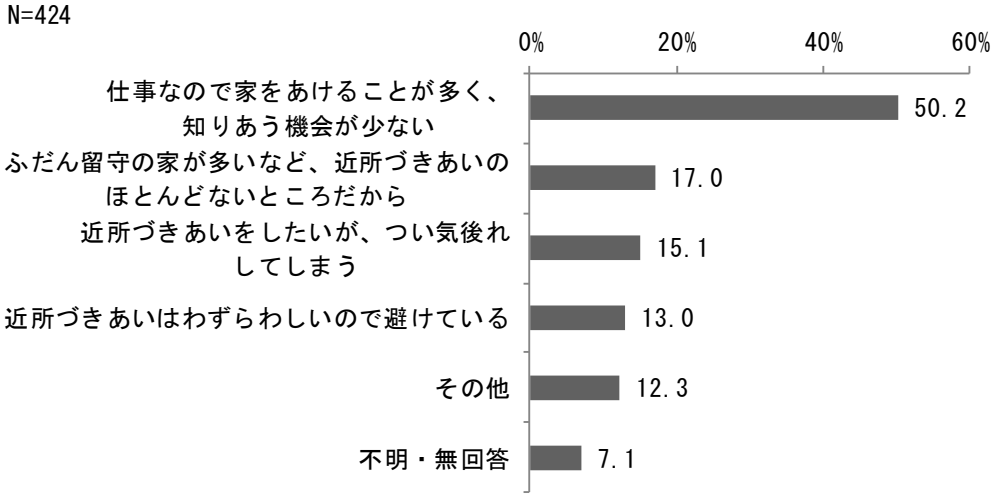


小学校区別にみると、「白金小学校区」を除くすべての小学校区で「会えば、世間話をする程度」が最も高くなっています。



問５-（１）　あまり近所づきあいをしていない理由は何ですか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

あまり近所づきあいをしていない理由についてみると、「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会が少ない」が 50.2%で最も高くなっています。



その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
引っ越してきたため	5	人見知りだから	1
世代の違い	4	人間的に合わない	1
きっかけ、機会が無い	3	住人が少ない	1
必要性がない	3	交流の場がない	1
外出しないから	3	賃貸なのでいつかは出て行くから	1
学生だから	2	外出が多いため	1
高齢のため	2	深入りしないほうがベスト	1
付き合いたくない	2	住民の質が変化している	1
若い人ばかりだから	2	互いに挨拶を交わさない	1
仕事があるため	2	健康上の問題	1
同年代が少ない	2	嫌がらせを受けている	1
冠婚葬祭以外はしていない	1	共通の話題がない	1
外にいる人がいないため話さない	1	通学のため他市に住んでいる	1
近所に子育て世代が少ない	1		

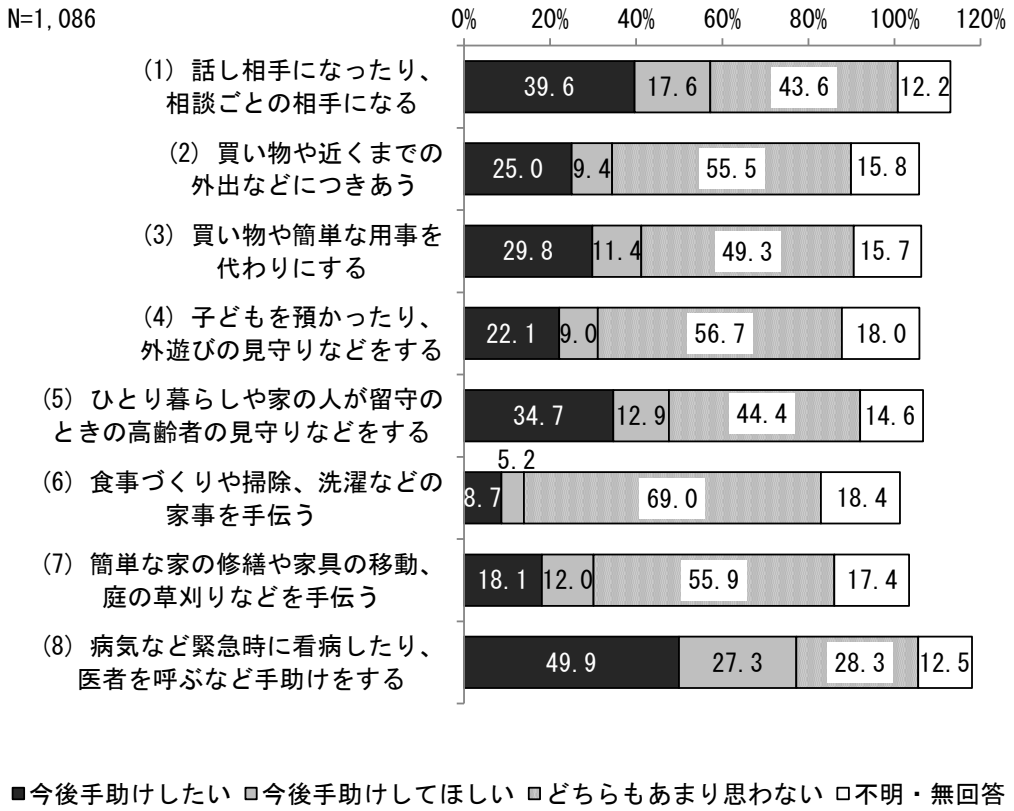
年代別にみると、「70～74 歳」を除くすべての年代で、「仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会が少ない」が最も高くなっています。

＜問５ - （１）年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：％	回答者数	仕事なので家をあけることが多く、知り合う機会が少ない	近所づきあいはわずらわしいので避けている	近所づきあいをしたいが、つい気後れしてしまう	ふだん留守の家が多いなど、近所づきあいのほとんどないところだから	その他	不明・無回答
合計	424 100.0	213 50.2	55 13.0	64 15.1	72 17.0	52 12.3	30 7.1
15～19歳	28 100.0	12 42.9	3 10.7	8 28.6	2 7.1	3 10.7	3 10.7
20～29歳	38 100.0	28 73.7	2 5.3	6 15.8	2 5.3	2 5.3	2 5.3
30～39歳	51 100.0	32 62.7	7 13.7	6 11.8	6 11.8	8 15.7	3 5.9
40～49歳	62 100.0	38 61.3	6 9.7	7 11.3	11 17.7	8 12.9	1 1.6
50～59歳	67 100.0	39 58.2	10 14.9	10 14.9	13 19.4	2 3.0	2 3.0
60～64歳	55 100.0	35 63.6	4 7.3	7 12.7	12 21.8	5 9.1	2 3.6
65～69歳	49 100.0	14 28.6	9 18.4	8 16.3	11 22.4	12 24.5	4 8.2
70～74歳	33 100.0	6 18.2	6 18.2	6 18.2	10 30.3	6 18.2	3 9.1
75歳以上	36 100.0	7 19.4	6 16.7	6 16.7	5 13.9	6 16.7	9 25.0

問６　ご近所とのおつきあいの中で、あなたが今後、周りの方などに手助けをしてもよい、または逆に手助けをしてほしいと思うことがありますか。
(1)から(8)のそれぞれについて、あてはまるものを選んで（複数回答可）番号に○をつけてください。（MA）

ご近所とのつきあいの中で、手助けしたいと思うこと、してほしいと思うことについてみると、『(8)病気など緊急時に看病したり、医者を呼ぶなど手助けをする』の項目では、「今後手助けしたい」「今後手助けしたい」の割合が、ほかの項目と比較すると高くなっています。



年代別にみると、『(1)話し相手になったり、相談ごとの相手になる』の項目では、「40～49歳」「65～69 歳」「70～74 歳」で「今後手助けしたい」の割合が高くなっています。

また、『(4)子どもを預かったり、外遊びの見守りなどをする』の項目では、「30～39 歳」で「今後手助けしてほしい」の割合が３割となっており、ほかの年代と比較しても高くなっています。

＜問６年代別クロス集計＞

(1)話し相手になったり、相談事の相手になる

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	430 39.6	191 17.6	473 43.6	132 12.2
15～19歳	38 100.0	10 26.3	6 15.8	26 68.4	- -
20～29歳	50 100.0	20 40.0	8 16.0	27 54.0	- -
30～39歳	122 100.0	59 48.4	33 27.0	59 48.4	1 0.8
40～49歳	173 100.0	79 45.7	31 17.9	76 43.9	13 7.5
50～59歳	194 100.0	77 39.7	31 16.0	94 48.5	17 8.8
60～64歳	127 100.0	47 37.0	22 17.3	59 46.5	16 12.6
65～69歳	128 100.0	52 40.6	21 16.4	50 39.1	17 13.3
70～74歳	116 100.0	48 41.4	21 18.1	44 37.9	15 12.9
75歳以上	126 100.0	32 25.4	16 12.7	34 27.0	51 40.5

(2)買い物や近くまでの外出につきあう

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	271 25.0	102 9.4	603 55.5	172 15.8
15～19歳	38 100.0	8 21.1	2 5.3	30 78.9	- -
20～29歳	50 100.0	12 24.0	5 10.0	36 72.0	- -
30～39歳	122 100.0	33 27.0	15 12.3	83 68.0	3 2.5
40～49歳	173 100.0	58 33.5	12 6.9	102 59.0	14 8.1
50～59歳	194 100.0	55 28.4	20 10.3	114 58.8	19 9.8
60～64歳	127 100.0	29 22.8	11 8.7	73 57.5	21 16.5
65～69歳	128 100.0	30 23.4	11 8.6	68 53.1	22 17.2
70～74歳	116 100.0	27 23.3	13 11.2	54 46.6	27 23.3
75歳以上	126 100.0	18 14.3	12 9.5	37 29.4	62 49.2

(3)買い物や簡単な用事を代わりにする

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	324 29.8	124 11.4	535 49.3	170 15.7
15～19歳	38 100.0	10 26.3	2 5.3	26 68.4	- -
20～29歳	50 100.0	12 24.0	6 12.0	34 68.0	- -
30～39歳	122 100.0	40 32.8	18 14.8	76 62.3	3 2.5
40～49歳	173 100.0	68 39.3	12 6.9	91 52.6	12 6.9
50～59歳	194 100.0	60 30.9	22 11.3	104 53.6	21 10.8
60～64歳	127 100.0	44 34.6	16 12.6	60 47.2	19 15.0
65～69歳	128 100.0	37 28.9	18 14.1	58 45.3	23 18.0
70～74歳	116 100.0	32 27.6	13 11.2	48 41.4	26 22.4
75歳以上	126 100.0	17 13.5	14 11.1	34 27.0	64 50.8

(4)子どもを預かったり、外遊びの見守りなどをする

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	240 22.1	98 9.0	616 56.7	196 18.0
15～19歳	38 100.0	19 50.0	7 18.4	19 50.0	- -
20～29歳	50 100.0	16 32.0	12 24.0	28 56.0	1 2.0
30～39歳	122 100.0	45 36.9	39 32.0	64 52.5	3 2.5
40～49歳	173 100.0	46 26.6	19 11.0	106 61.3	10 5.8
50～59歳	194 100.0	36 18.6	6 3.1	135 69.6	21 10.8
60～64歳	127 100.0	22 17.3	3 2.4	81 63.8	24 18.9
65～69歳	128 100.0	23 18.0	5 3.9	75 58.6	27 21.1
70～74歳	116 100.0	20 17.2	4 3.4	59 50.9	36 31.0
75歳以上	126 100.0	11 8.7	3 2.4	44 34.9	69 54.8

(5) ひとり暮らしの家の人が留守のときの高齢者の見守りなどをする

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	377 34.7	140 12.9	482 44.4	159 14.6
15～19歳	38 100.0	16 42.1	4 10.5	19 50.0	- -
20～29歳	50 100.0	14 28.0	8 16.0	31 62.0	- -
30～39歳	122 100.0	47 38.5	8 6.6	71 58.2	2 1.6
40～49歳	173 100.0	66 38.2	19 11.0	85 49.1	12 6.9
50～59歳	194 100.0	67 34.5	30 15.5	94 48.5	17 8.8
60～64歳	127 100.0	47 37.0	21 16.5	53 41.7	20 15.7
65～69歳	128 100.0	50 39.1	18 14.1	50 39.1	21 16.4
70～74歳	116 100.0	43 37.1	13 11.2	45 38.8	22 19.0
75歳以上	126 100.0	21 16.7	18 14.3	31 24.6	63 50.0

(6) 食事づくりや掃除、洗濯などの家事を手伝う

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	94 8.7	56 5.2	749 69.0	200 18.4
15～19歳	38 100.0	6 15.8	3 7.9	31 81.6	- -
20～29歳	50 100.0	5 10.0	4 8.0	41 82.0	- -
30～39歳	122 100.0	8 6.6	5 4.1	107 87.7	3 2.5
40～49歳	173 100.0	15 8.7	6 3.5	139 80.3	14 8.1
50～59歳	194 100.0	18 9.3	9 4.6	146 75.3	24 12.4
60～64歳	127 100.0	13 10.2	6 4.7	87 68.5	24 18.9
65～69歳	128 100.0	14 10.9	7 5.5	79 61.7	29 22.7
70～74歳	116 100.0	9 7.8	5 4.3	69 59.5	34 29.3
75歳以上	126 100.0	5 4.0	10 7.9	44 34.9	68 54.0

(7)簡単な家の修繕や家具の移動、庭の草刈などを手伝う

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	197 18.1	130 12.0	607 55.9	189 17.4
15～19歳	38 100.0	16 42.1	2 5.3	22 57.9	- -
20～29歳	50 100.0	13 26.0	9 18.0	31 62.0	- -
30～39歳	122 100.0	17 13.9	13 10.7	92 75.4	3 2.5
40～49歳	173 100.0	31 17.9	17 9.8	117 67.6	13 7.5
50～59歳	194 100.0	31 16.0	24 12.4	124 63.9	23 11.9
60～64歳	127 100.0	28 22.0	11 8.7	72 56.7	21 16.5
65～69歳	128 100.0	29 22.7	17 13.3	61 47.7	26 20.3
70～74歳	116 100.0	18 15.5	17 14.7	51 44.0	32 27.6
75歳以上	126 100.0	13 10.3	17 13.5	32 25.4	68 54.0

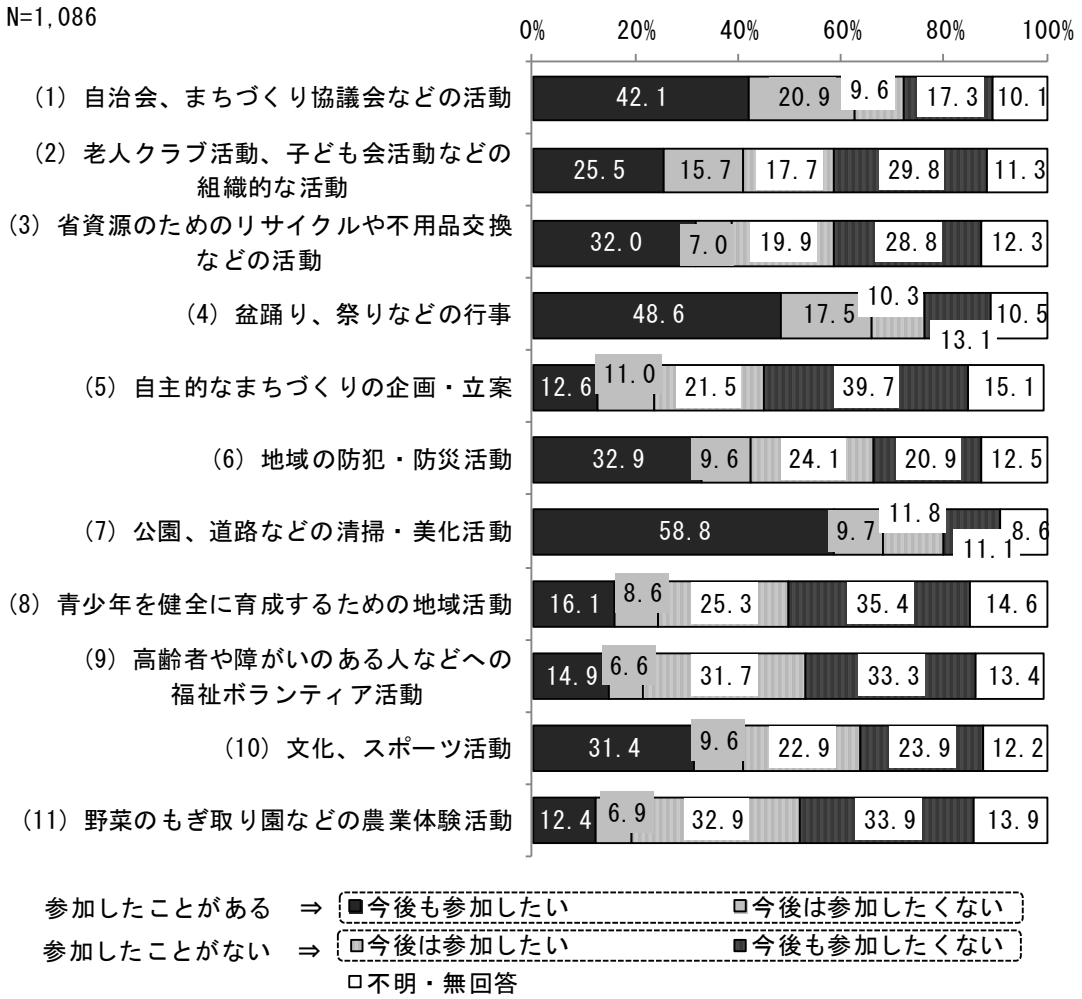
(8)病気などの緊急時に看病したり、医者を呼ぶなど手助けをする

上段:回答数 下段:%	回答者数	今後手助けしたい	今後手助けしてほしい	どちらもあまり思わない	不明・無回答
合計	1086 100.0	542 49.9	297 27.3	307 28.3	136 12.5
15～19歳	38 100.0	25 65.8	12 31.6	13 34.2	- -
20～29歳	50 100.0	24 48.0	15 30.0	20 40.0	- -
30～39歳	122 100.0	74 60.7	40 32.8	41 33.6	1 0.8
40～49歳	173 100.0	102 59.0	41 23.7	54 31.2	10 5.8
50～59歳	194 100.0	94 48.5	56 28.9	63 32.5	18 9.3
60～64歳	127 100.0	74 58.3	32 25.2	33 26.0	14 11.0
65～69歳	128 100.0	64 50.0	36 28.1	28 21.9	20 15.6
70～74歳	116 100.0	46 39.7	33 28.4	32 27.6	18 15.5
75歳以上	126 100.0	36 28.6	28 22.2	19 15.1	53 42.1

問７　地域の活動や行事などへの参加について、あなたは次のようなことに参加したことがありますか。また、今後参加しようと思いますか。
(1)から(11)のそれぞれについて、あてはまるものを１つずつ選んで番号に○をつけてください。（SA）

地域の活動や行事などへの参加について、「公園、道路などの清掃・美化活動」「盆踊り、祭りなどの行事」「自治会、まちづくり協議会などの活動」では、「今後も参加したい」割合が高くなっています。

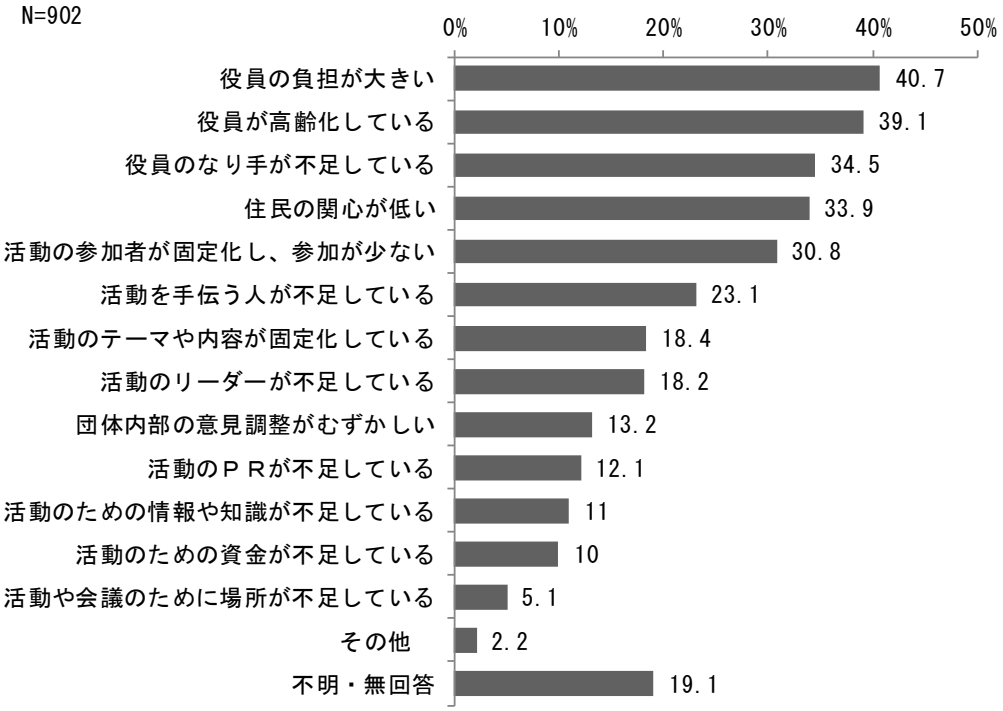
また、「今後は参加したい」で３割を超えているのは、「野菜のもぎ取り園などの農業体験活動」「高齢者や障がいのある人などへの福祉ボランティア活動」となっています。



地域の活動や行事などに参加したことがある方におたずねします。

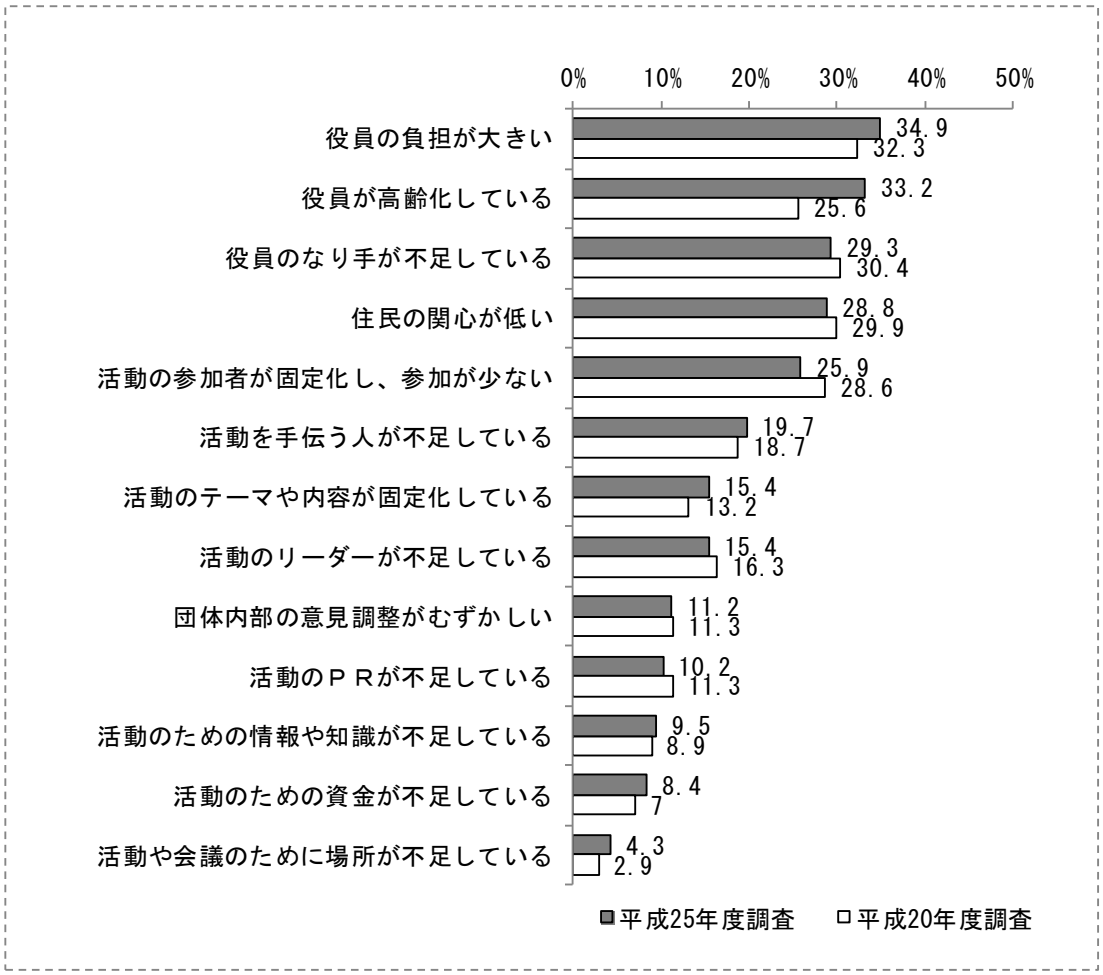
問７-（１）　あなたが参加されている地域の団体・グループなどの課題はどんなことですか。特に課題となっていることをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

参加している地域の団体・グループなどの課題についてみると、「役員の負担が大きい」が40.7%と最も高く、次いで「役員が高齢化している」が 39.1%、「役員のなり手が不足している」が34.5%となっています。



その他回答	類似回答数
高齢化	2
効率が悪い	1
利用料が高い	1
メンタルブロック	1
同一人物が複数の役員を兼ねている	1
草刈が多すぎる	1
役員の人材不足	1
新・旧の付き合いがしにくい	1
人数が多すぎる	1
若い人の退会が多い	1
ソフトテニス部のコートの増設	1
一部の利権で動いている	1
高齢者が仕切っている	1
町の関与が分からない	1

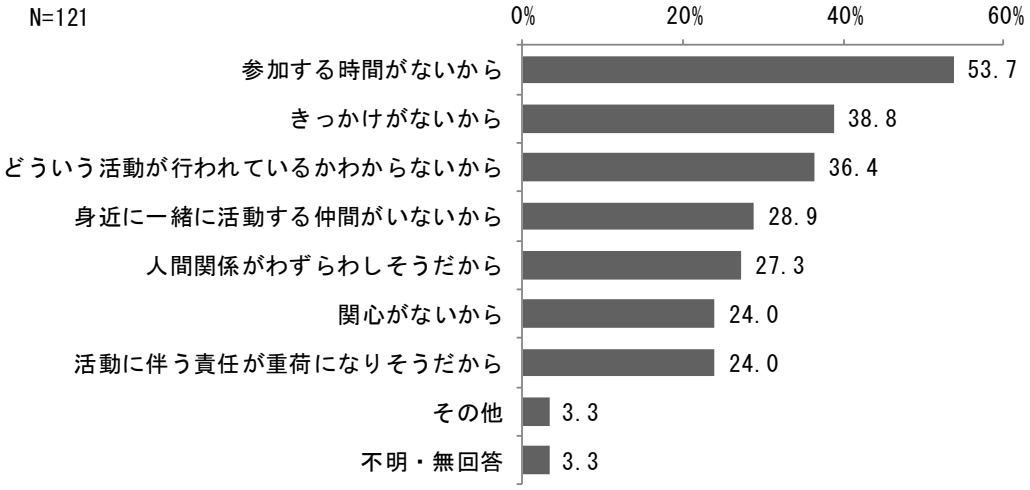
◆前回調査との比較〔問７-（１）〕



地域の活動や行事などに参加したことがない方におたずねします。

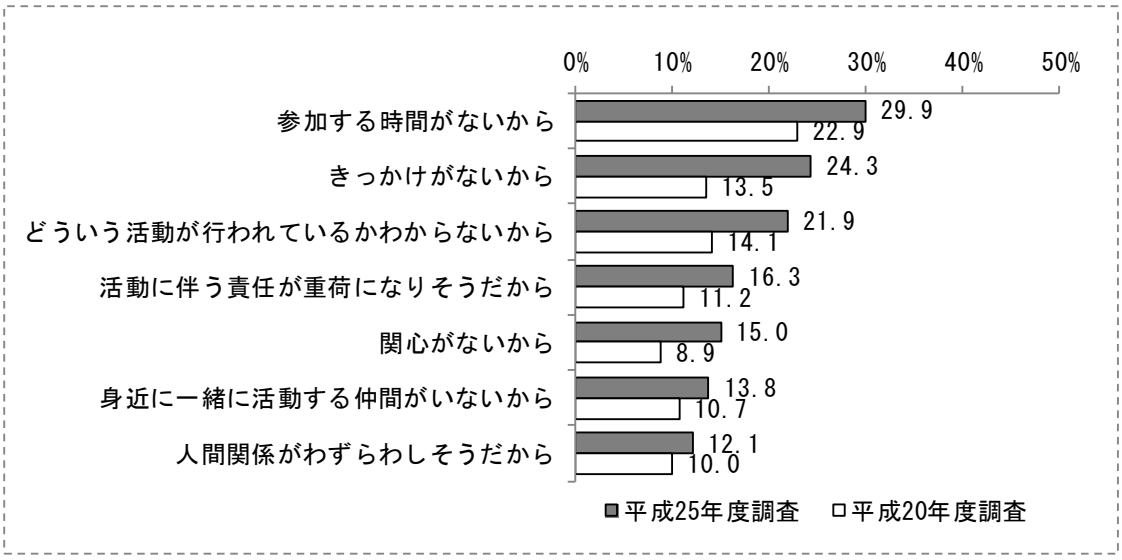
問７-（２）　これまで参加したことがない理由は何ですか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

地域の活動や行事などに参加したことがない理由についてみると、「参加する時間がないから」が 53.7%と最も高く、次いで「きっかけがないから」が 38.8%、「どういう活動が行われているかわからない」が 36.4%となっています。



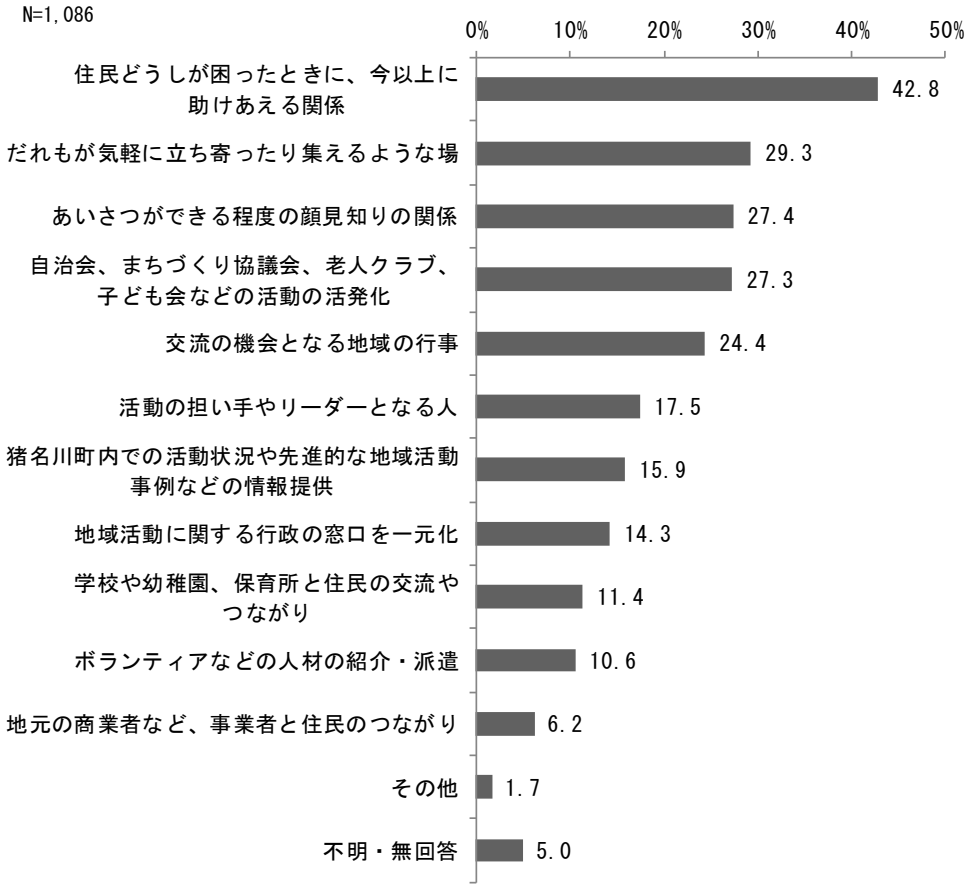
その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
体調不良	7	活動に偏りがある	2
高齢のため	7	役員の固定化や派閥により常にもめている	1
身体的に難しい	3	進歩が無い	1
情報不足	2	運転免許がない	1
体力的に難しい	2	引越しして間もないから	1
育児で時間がない	2		

◆前回調査との比較〔問７-（２）〕



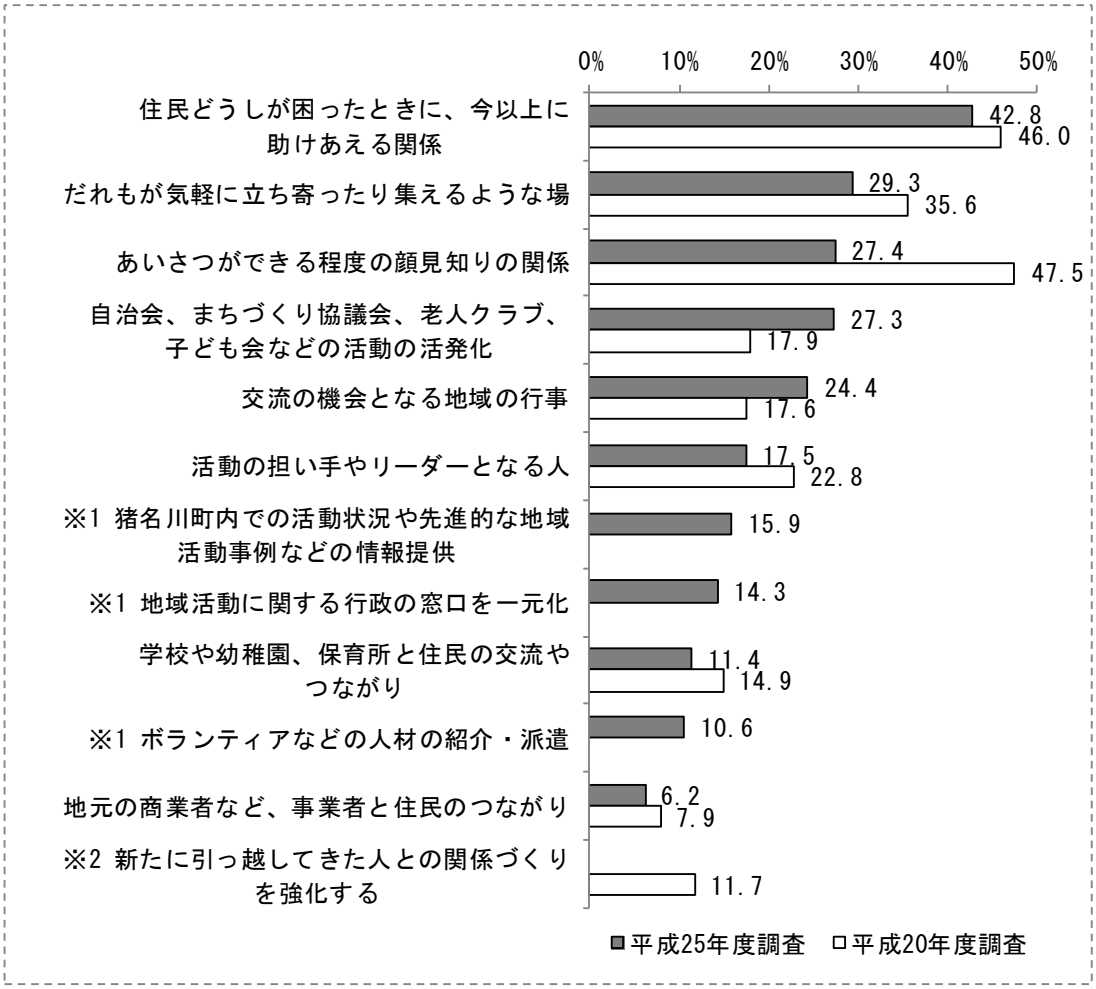
問８　住民の皆さんが、いきいきと地域の活動に取り組んでいただけるようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。お考えに近いものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

住民がいきいきと地域活動に取り組むために、大切だと思うことについてみると、「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係」が 42.8%と最も高く、次いで「だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場」が 29.3%となっています。



その他回答	類似回答数
多くの住民に広く役割を分担する	2
医療機関の充実	1
広報活動の促進	1
若年層と高齢者が気軽に会話できる環境提供	1
防犯・治安への取り組み実施	1
ネットの活用	1
意識の向上と参加しやすい雰囲気作り	1
まちづくり協議会の役員のマンネリ化	1
送迎車	1
現役世代に道を譲る	1
野外活動施設の充実	1
コミュニティビジネスの概念も含めた多世代が参加する仕組みつくり	1
活動の中心になる人はボランティアではなく手当てを支給する	1
行政の支援体制が必要	1
民生委員の知識レベルが低く、個人情報保護に縛られ、助け合いを阻害している	1

◆前回調査との比較〔問８〕



※1 平成 25 年度調査のみの選択肢
※2 平成 20 年度調査のみの選択肢

平成20年度調査の選択肢
住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係をつくる
だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場を用意する
あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げる
自治会、街づくり協議会、老人クラブ、子ども会などの活動の活発化
交流の機会となる地域の行事をもっと増やす
活動の担い手やリーダーとなる人を育てる
学校や幼稚園、保育所と住民の交流やつながりを深める
地元の商業者など、事業者と住民のつながりをもっと深める

年代別にみると、「15～19 歳」を除くすべての年代で、「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係」が最も高くなっています。

＜問８年代別クロス集計＞

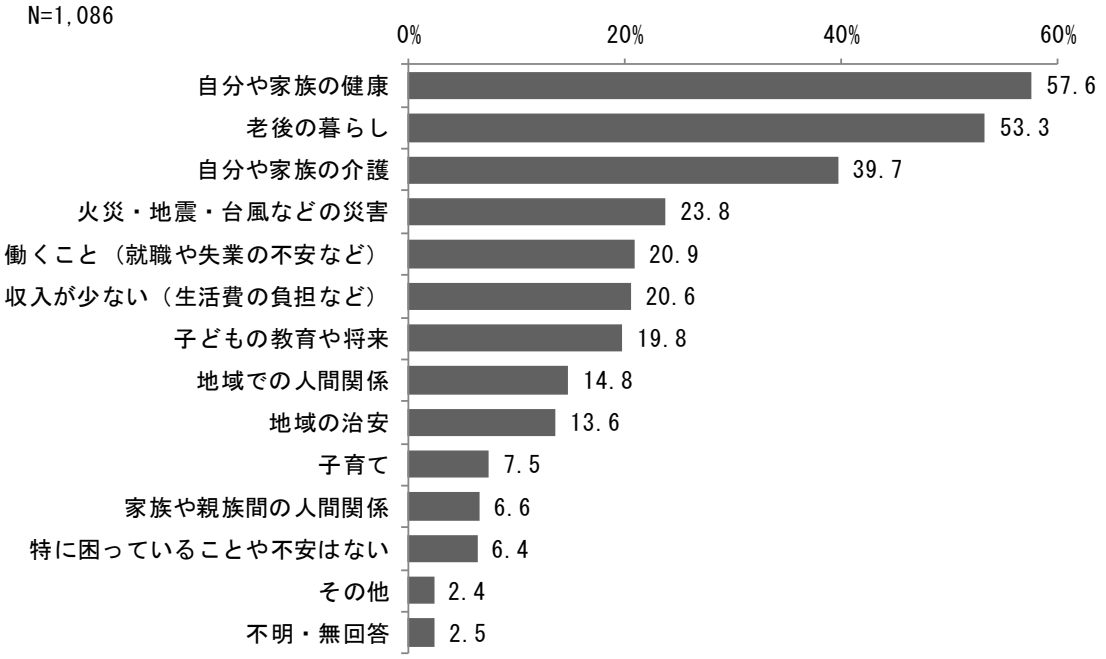
上段:回答数 下段:%	回答者数	住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係	あいさつができる程度の顔見知りの関係	自治会、街づくり協議会、老人クラブ、子ども会などの活動の活発化	学校や幼稚園、保育所と住民の交流やつながり	地元の商業者など、事業者と住民のつながり	交流の機会となる地域の行事
合計	1086 100.0	465 42.8	298 27.4	297 27.3	124 11.4	67 6.2	265 24.4
15～19歳	38 100.0	13 34.2	13 34.2	9 23.7	9 23.7	2 5.3	13 34.2
20～29歳	50 100.0	26 52.0	16 32.0	11 22.0	9 18.0	6 12.0	12 24.0
30～39歳	122 100.0	53 43.4	39 32.0	32 26.2	36 29.5	11 9.0	28 23.0
40～49歳	173 100.0	77 44.5	46 26.6	40 23.1	30 17.3	10 5.8	56 32.4
50～59歳	194 100.0	83 42.8	48 24.7	40 20.6	19 9.8	15 7.7	42 21.6
60～64歳	127 100.0	57 44.9	29 22.8	33 26.0	7 5.5	4 3.1	30 23.6
65～69歳	128 100.0	52 40.6	38 29.7	45 35.2	5 3.9	6 4.7	40 31.3
70～74歳	116 100.0	50 43.1	25 21.6	38 32.8	5 4.3	6 5.2	26 22.4
75歳以上	126 100.0	51 40.5	40 31.7	43 34.1	3 2.4	4 3.2	16 12.7

上段:回答数 下段:%	活動の担い手やリーダーとなる人	だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場	猪名川町内での活動状況や先進的な地域活動事例などの情報提供	ボランティアなどの人材の紹介・派遣	地域活動に関する行政の窓口を一元化	その他	不明・無回答
合計	190 17.5	318 29.3	173 15.9	115 10.6	155 14.3	19 1.7	54 5.0
15～19歳	2 5.3	19 50.0	7 18.4	3 7.9	- -	- -	1 2.6
20～29歳	5 10.0	15 30.0	9 18.0	4 8.0	6 12.0	- -	1 2.0
30～39歳	19 15.6	29 23.8	12 9.8	14 11.5	7 5.7	3 2.5	1 0.8
40～49歳	42 24.3	47 27.2	31 17.9	15 8.7	24 13.9	3 1.7	2 1.2
50～59歳	38 19.6	53 27.3	30 15.5	20 10.3	35 18.0	4 2.1	9 4.6
60～64歳	27 21.3	36 28.3	20 15.7	22 17.3	23 18.1	1 0.8	5 3.9
65～69歳	22 17.2	35 27.3	23 18.0	11 8.6	19 14.8	2 1.6	7 5.5
70～74歳	17 14.7	40 34.5	26 22.4	13 11.2	20 17.2	3 2.6	7 6.0
75歳以上	14 11.1	38 30.2	13 10.3	9 7.1	19 15.1	3 2.4	21 16.7

社会や地域における課題について

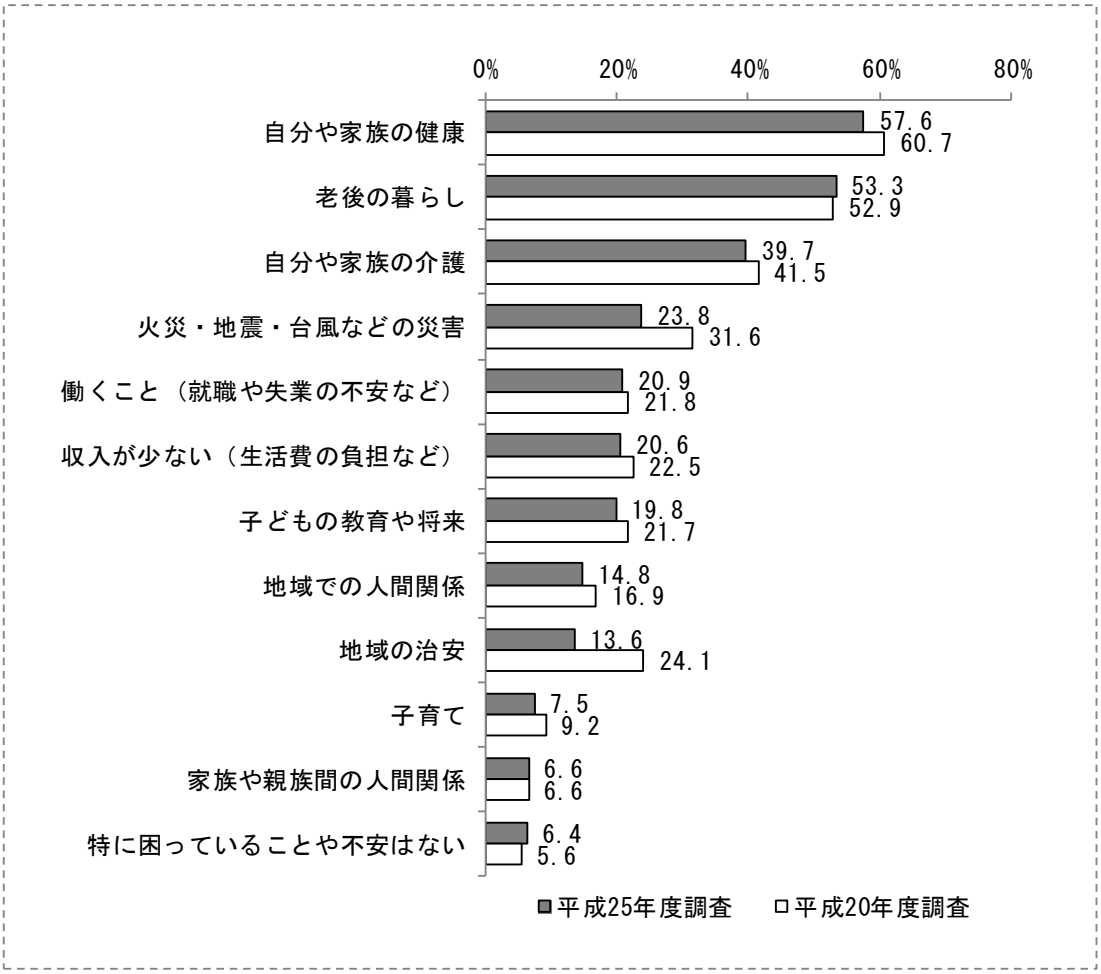
問９　あなたは、日頃生活する中で悩んだり、将来に不安を感じることがありますか。お考えに近いものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

日頃の生活の中で、悩みや不安を感じることについてみると、「自分や家族の健康」が 57.6%で最も高く、次いで「老後の暮らし」が 53.3%、「自分や家族の介護」が 39.7%となっています。



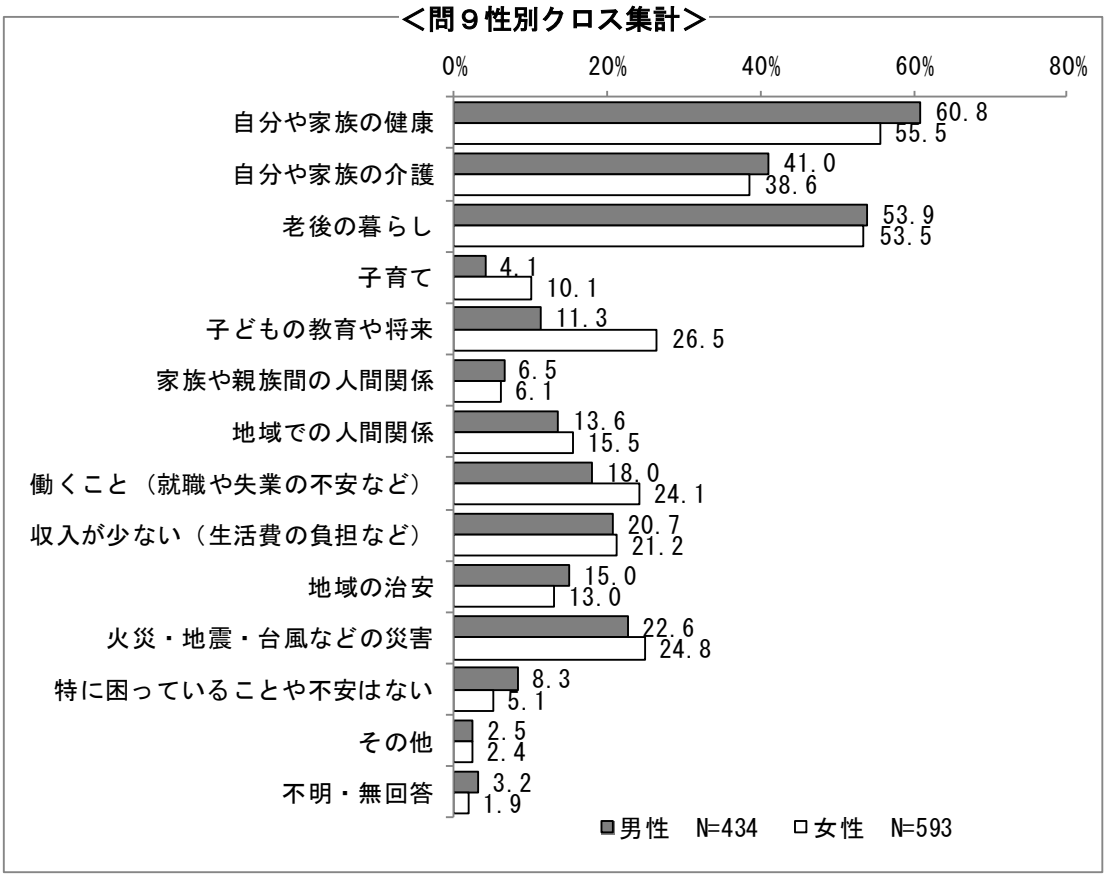
その他回答	類似回答数
病院が無い	3
町内の少子高齢化	2
車がなければ生活できない環境	2
年金	2
買い物の不安	1
近隣商店の顧客の路上駐車	1
再就職の見込みが無い	1
学校生活	1
社会資源の少なさ	1
学校までの通学時間と交通費と学費	1
自分の老化	1
自然環境の悪化	1
進路	1
ゴミ問題	1
夜外が暗い	1
高額な健康保険料	1
事故や犯罪	1

◆前回調査との比較〔問９〕



平成20年度調査の選択肢
地震や火事などの災害

性別にみると、男女ともに、「自分や家族の健康」が最も高く、次いで「老後の暮らし」となっています。また、「子どもの教育や将来」では、「女性」が 15.2 ポイント上回っています。



年代別にみると、「15～19 歳」「20～29 歳」では「働くこと（就職や失業の不安など）」、「40～49 歳」「50～59 歳」「60～64 歳」では「老後の暮らし」が最も高く、５割を超えています。

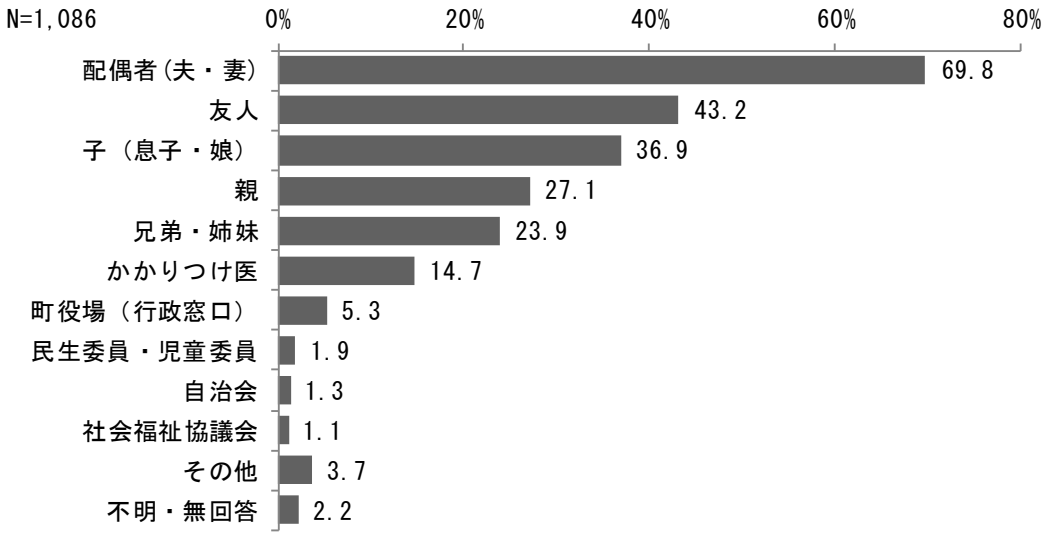
＜問９年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	自分や家族の健康	自分や家族の介護	老後の暮らし	子育て	子どもの教育や将来	家族や親族間の人間関係	地域での人間関係
合計	1086	626	431	579	81	215	72	161
	100.0	57.6	39.7	53.3	7.5	19.8	6.6	14.8
15～19歳	38	9	7	5	3	5	3	3
	100.0	23.7	18.4	13.2	7.9	13.2	7.9	7.9
20～29歳	50	28	16	11	11	11	8	6
	100.0	56.0	32.0	22.0	22.0	22.0	16.0	12.0
30～39歳	122	59	35	54	31	64	5	17
	100.0	48.4	28.7	44.3	25.4	52.5	4.1	13.9
40～49歳	173	84	63	96	27	83	10	29
	100.0	48.6	36.4	55.5	15.6	48.0	5.8	16.8
50～59歳	194	112	78	125	5	27	11	31
	100.0	57.7	40.2	64.4	2.6	13.9	5.7	16.0
60～64歳	127	78	63	82	1	5	8	27
	100.0	61.4	49.6	64.6	0.8	3.9	6.3	21.3
65～69歳	128	89	50	66	1	7	10	19
	100.0	69.5	39.1	51.6	0.8	5.5	7.8	14.8
70～74歳	116	81	57	74	-	5	5	11
	100.0	69.8	49.1	63.8	-	4.3	4.3	9.5
75歳以上	126	80	57	57	1	6	9	15
	100.0	63.5	45.2	45.2	0.8	4.8	7.1	11.9

上段：回答数 下段：%	働くこと（就職や失業の不安など）	収入が少ない（生活費の負担など）	地域の治安	火災・地震・台風などの災害	特に困っていることや不安はない	その他	不明・無回答
合計	227	224	148	259	70	26	27
	20.9	20.6	13.6	23.8	6.4	2.4	2.5
15～19歳	21	5	3	11	5	3	-
	55.3	13.2	7.9	28.9	13.2	7.9	-
20～29歳	31	21	5	14	8	-	-
	62.0	42.0	10.0	28.0	16.0	-	-
30～39歳	50	30	23	29	6	4	-
	41.0	24.6	18.9	23.8	4.9	3.3	-
40～49歳	64	49	21	28	6	3	5
	37.0	28.3	12.1	16.2	3.5	1.7	2.9
50～59歳	41	43	25	50	11	5	4
	21.1	22.2	12.9	25.8	5.7	2.6	2.1
60～64歳	9	21	26	31	7	3	3
	7.1	16.5	20.5	24.4	5.5	2.4	2.4
65～69歳	3	20	16	31	9	3	6
	2.3	15.6	12.5	24.2	7.0	2.3	4.7
70～74歳	4	16	13	29	6	2	2
	3.4	13.8	11.2	25.0	5.2	1.7	1.7
75歳以上	3	16	15	33	11	3	7
	2.4	12.7	11.9	26.2	8.7	2.4	5.6

問 10　不安や悩みごとを相談する相手はだれですか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

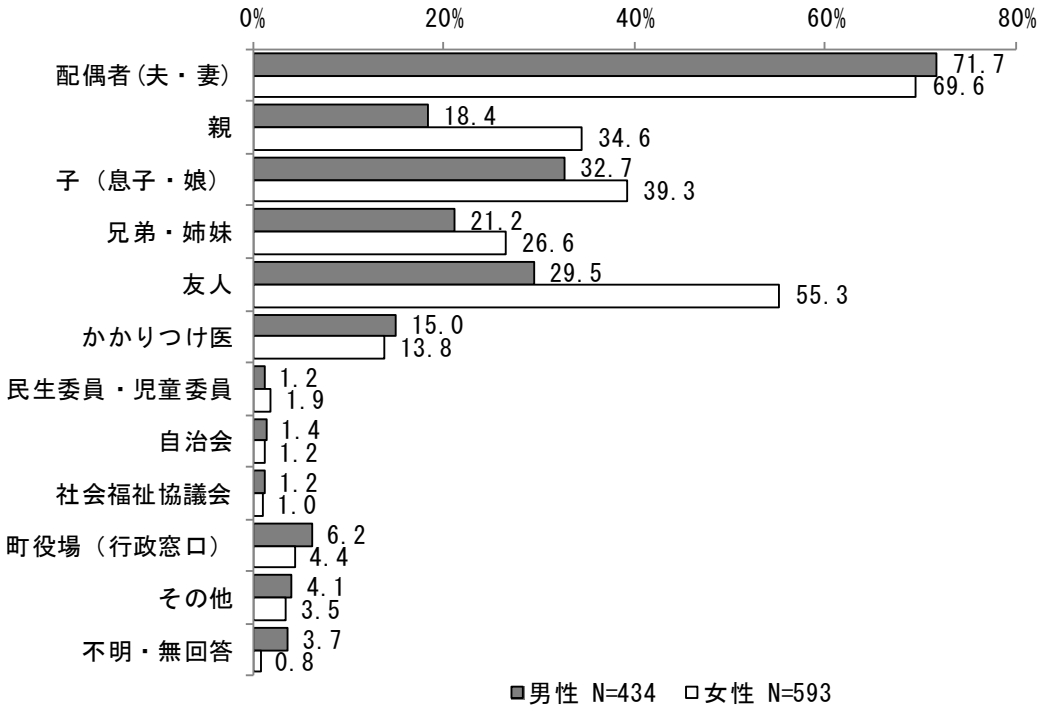
不安や悩みを相談する相手についてみると、「配偶者（夫・妻)」が 69.8%で最も多く、次いで、「友人」が 43.2%、「子（息子・娘)」が 36.9%となっています。



その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
特にいない	8	教育研究所	1
相談しない	6	先生	1
職場の同僚	5	非営利法人	1
近所の人	3	祖父祖母	1
民間	1	自分で解決	1
親戚	1	保健室の先生	1
場合による	1		

性別にみると、男女ともに、「配偶者（夫・妻)」が最も高く、次いで「男性」では「子（息子・娘)」が 32.7%、「女性」では「友人」が 55.3%となっています。また、「友人」では 25.8 ポイント、「親」が 16.2 ポイントと、それぞれ「女性」が上回っています。

＜問 10 性別クロス集計＞



年代別にみると、「15～19 歳」では「友人」、「20～29 歳」では「親」、「75 歳以上」では「子（息子・娘）」が最も高く、それぞれ７割を超えています。

＜問 10 年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	配偶者（夫・妻）	親	子（息子・娘）	兄弟・姉妹	友人	かかりつけ医
合計	1086 100.0	758 69.8	294 27.1	401 36.9	260 23.9	469 43.2	160 14.7
15～19歳	38 100.0	2 5.3	23 60.5	- -	7 18.4	27 71.1	2 5.3
20～29歳	50 100.0	8 16.0	39 78.0	- -	15 30.0	36 72.0	2 4.0
30～39歳	122 100.0	82 67.2	79 64.8	7 5.7	23 18.9	75 61.5	9 7.4
40～49歳	173 100.0	128 74.0	88 50.9	36 20.8	33 19.1	102 59.0	9 5.2
50～59歳	194 100.0	157 80.9	47 24.2	72 37.1	51 26.3	82 42.3	21 10.8
60～64歳	127 100.0	104 81.9	10 7.9	54 42.5	39 30.7	51 40.2	17 13.4
65～69歳	128 100.0	100 78.1	7 5.5	63 49.2	35 27.3	41 32.0	20 15.6
70～74歳	116 100.0	87 75.0	1 0.9	69 59.5	31 26.7	35 30.2	29 25.0
75歳以上	126 100.0	80 63.5	- -	93 73.8	23 18.3	17 13.5	48 38.1

上段：回答数 下段：%	民生委員・児童委員	自治会	社会福祉協議会	町役場（行政窓口）	その他	不明・無回答
合計	21 1.9	14 1.3	12 1.1	58 5.3	40 3.7	24 2.2
15～19歳	- -	- -	1 2.6	2 5.3	5 13.2	1 2.6
20～29歳	- -	1 2.0	- -	3 6.0	3 6.0	- -
30～39歳	2 1.6	1 0.8	- -	2 1.6	4 3.3	- -
40～49歳	- -	2 1.2	1 0.6	2 1.2	10 5.8	1 0.6
50～59歳	- -	- -	1 0.5	9 4.6	7 3.6	6 3.1
60～64歳	2 1.6	1 0.8	1 0.8	8 6.3	1 0.8	5 3.9
65～69歳	4 3.1	2 1.6	3 2.3	4 3.1	3 2.3	4 3.1
70～74歳	2 1.7	4 3.4	3 2.6	12 10.3	3 2.6	4 3.4
75歳以上	10 7.9	2 1.6	1 0.8	14 11.1	4 3.2	3 2.4

小学校区別にみると、すべての小学校区で「配偶者（夫・妻)」が最も高く、６割を超えています。

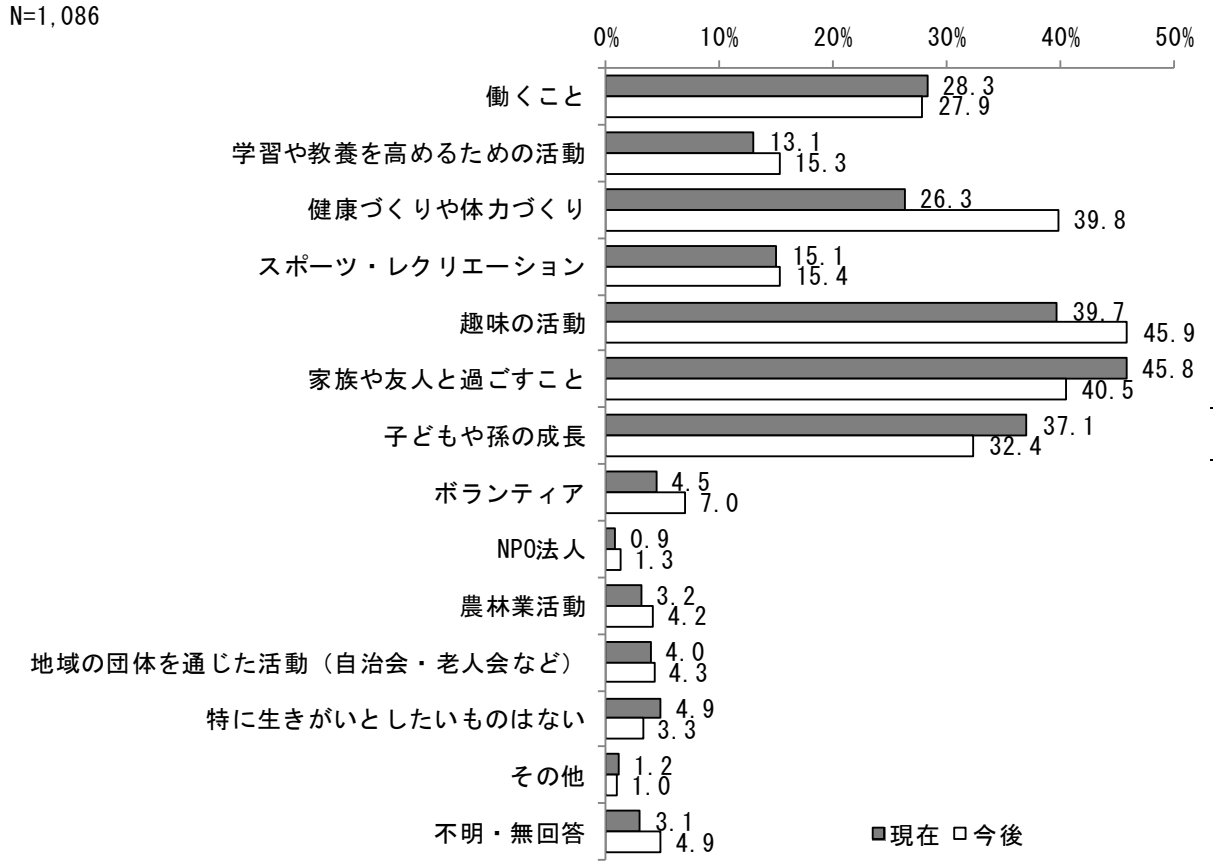
＜問 10 小学校区別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	配偶者 （夫・妻）	親	子 （息子・娘）	兄弟・姉妹	友人	かかりつけ医
合計	1086 100.0	758 69.8	294 27.1	401 36.9	260 23.9	469 43.2	160 14.7
猪名川小学校区	201 100.0	137 68.2	55 27.4	86 42.8	45 22.4	81 40.3	48 23.9
楊津小学校区	63 100.0	39 61.9	13 20.6	26 41.3	20 31.7	35 55.6	8 12.7
大島小学校区	91 100.0	55 60.4	29 31.9	39 42.9	31 34.1	40 44.0	10 11.0
松尾台小学校区	299 100.0	201 67.2	50 16.7	122 40.8	69 23.1	126 42.1	50 16.7
白金小学校区	230 100.0	168 73.0	80 34.8	64 27.8	49 21.3	99 43.0	22 9.6
つつじが丘小学校区	184 100.0	144 78.3	66 35.9	53 28.8	42 22.8	85 46.2	19 10.3

上段:回答数 下段:%	民生委員・ 児童委員	自治会	社会福祉協議会	町役場 （行政窓口）	その他	不明・無回答
合計	21 1.9	14 1.3	12 1.1	58 5.3	40 3.7	24 2.2
猪名川小学校区	5 2.5	1 0.5	- -	10 5.0	6 3.0	3 1.5
楊津小学校区	1 1.6	1 1.6	1 1.6	1 1.6	3 4.8	1 1.6
大島小学校区	4 4.4	1 1.1	2 2.2	5 5.5	4 4.4	2 2.2
松尾台小学校区	8 2.7	7 2.3	3 1.0	21 7.0	11 3.7	9 3.0
白金小学校区	1 0.4	2 0.9	2 0.9	11 4.8	9 3.9	4 1.7
つつじが丘小学校区	1 0.5	2 1.1	4 2.2	8 4.3	7 3.8	5 2.7

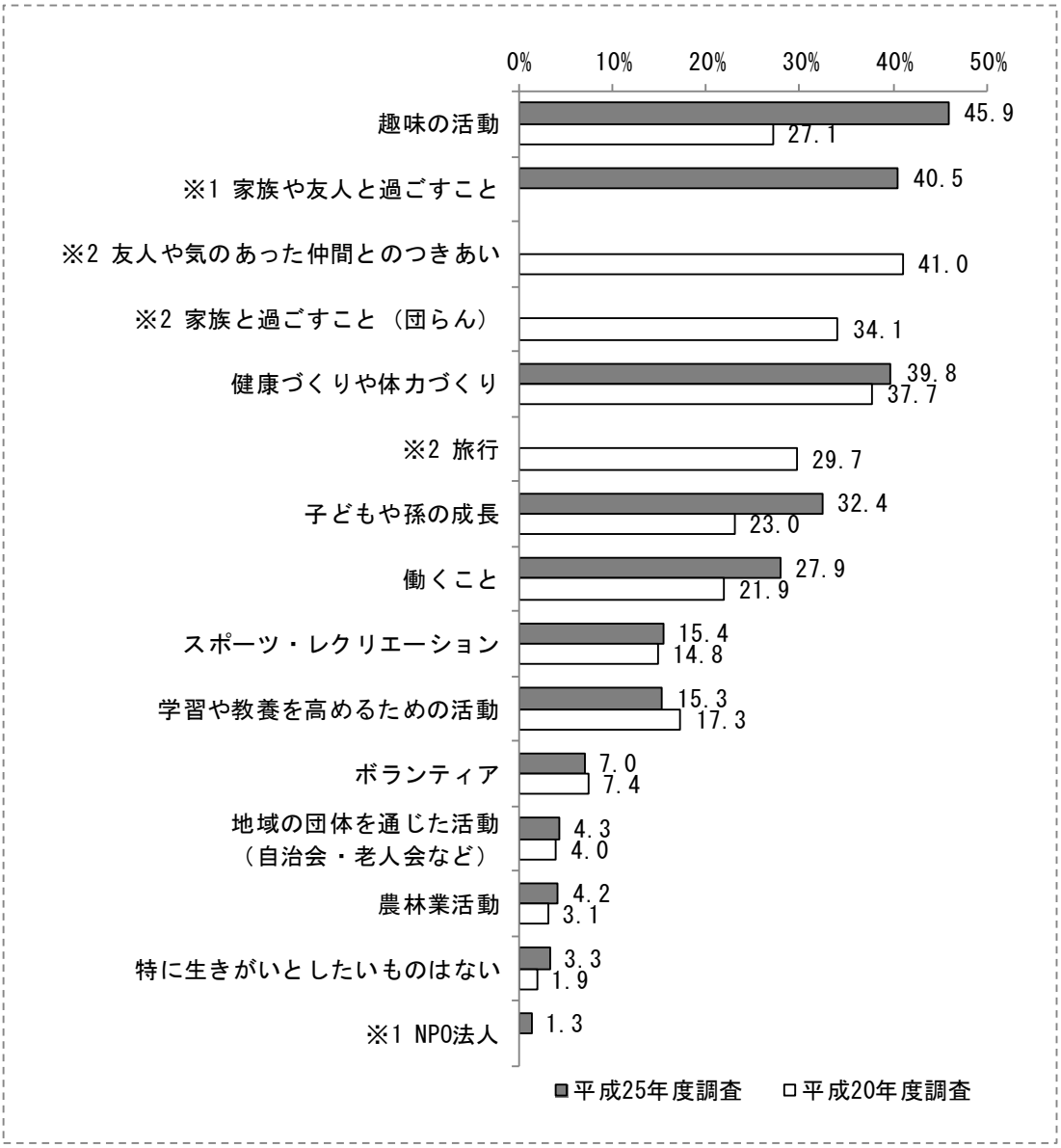
問 11　あなたは、現在、どのようなことを生きがいにしていますか。また、今後、どのようなことを生きがいにしようと思いますか。あてはまるものをそれぞれ３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

生きがいについてみると、＜現在＞では「家族や友人と過ごすこと」が 45.8％で最も高く、次いで「趣味の活動」が 39.7％となっていますが、＜今後＞では「趣味の活動」が 45.9％で最も高く、次いで「家族や友人と過ごすこと」が 40.5％となっています。



【現在】その他回答	類似回答数	【今後】その他回答	類似回答数
家庭菜園や庭仕事	2	家庭菜園や庭仕事	2
パソコン	2	パソコン	2
ラジオ体操	1	労組	1
自然に毎日を過ごすこと	1	普通に自分で生活ができること	1
手芸	1	ゆうあいセンターでの歓談	1
ゆうあいセンターでの歓談	1	創作	1
文学研究、創作	1	町民活動	1
ペットとの生活	1	教会へ行くこと	1
PTA や子ども社会体育等でつながる関係	1		
教会へ行くこと	1		

◆前回調査との比較〔問 11　今後のみ〕

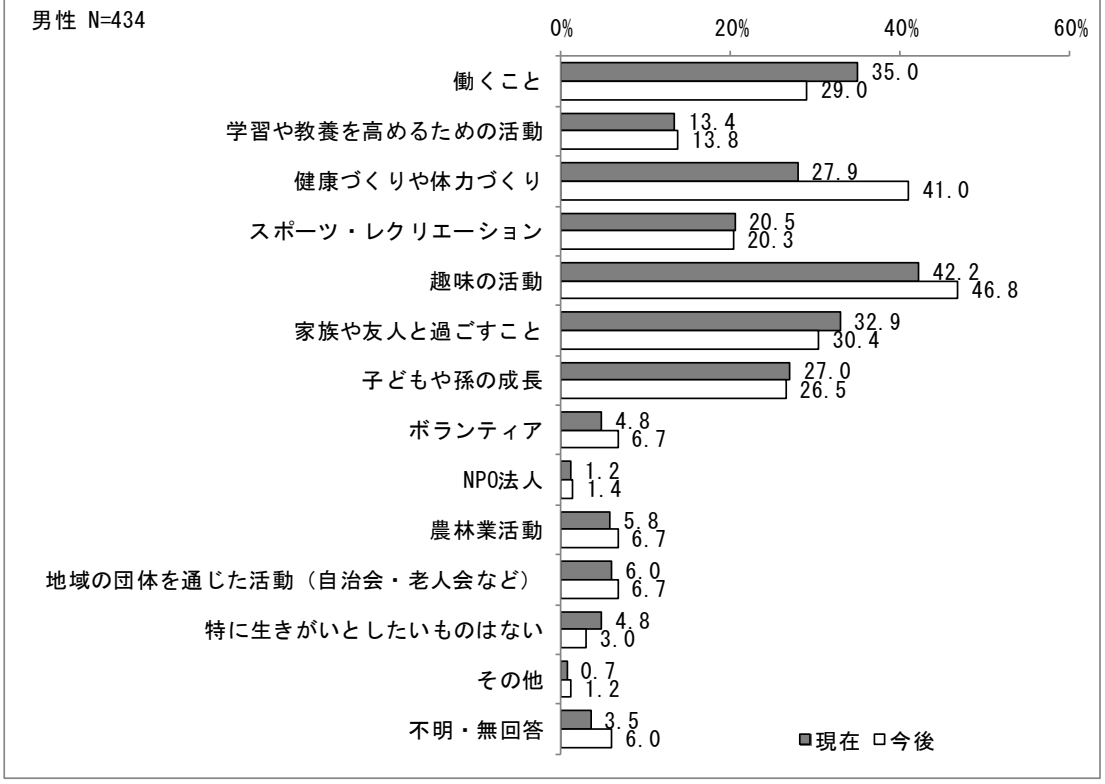


※1 平成 25 年度調査のみの選択肢
※2 平成 20 年度調査のみの選択肢

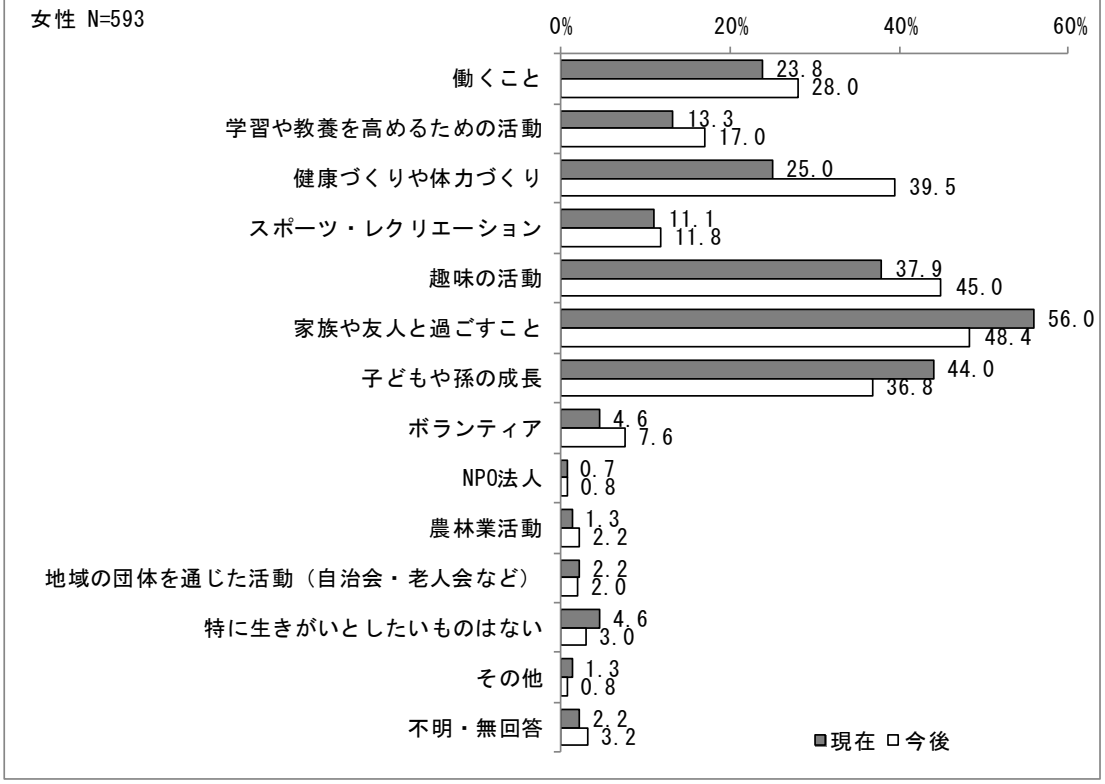
平成20年度調査の選択肢
文化活動や趣味の活動
社会奉仕活動（ボランティア）
地域の団体を通じた活動

性別にみると、「男性」では＜現在＞＜今後＞ともに、「趣味の活動」が最も高くなっています。一方、「女性」では＜現在＞＜今後＞ともに、「家族や友人と過ごすこと」が最も高くなっています。

＜問 11 性別クロス集計[男性]＞



＜問 11 性別クロス集計[女性]＞



年代別にみると、＜現在＞で「65～69 歳」では「趣味の活動」、70 歳以上では「健康づくりや体力づくり」が最も高くなっています。

＜問 11【現在】年代別クロス集計＞

〈現在〉

上段:回答数 下段:%	回答者数	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりや体力づくり	スポーツ・レクリエーション	趣味の活動	家族や友人と過ごすこと	子どもや孫の成長
合計	1086	307	142	286	164	431	497	403
	100.0	28.3	13.1	26.3	15.1	39.7	45.8	37.1
15～19歳	38	4	20	3	10	24	24	1
	100.0	10.5	52.6	7.9	26.3	63.2	63.2	2.6
20～29歳	50	13	10	9	7	22	32	8
	100.0	26.0	20.0	18.0	14.0	44.0	64.0	16.0
30～39歳	122	36	13	11	9	40	80	61
	100.0	29.5	10.7	9.0	7.4	32.8	65.6	50.0
40～49歳	173	73	21	21	33	51	97	94
	100.0	42.2	12.1	12.1	19.1	29.5	56.1	54.3
50～59歳	194	83	17	42	26	74	95	70
	100.0	42.8	8.8	21.6	13.4	38.1	49.0	36.1
60～64歳	127	38	15	41	29	54	53	41
	100.0	29.9	11.8	32.3	22.8	42.5	41.7	32.3
65～69歳	128	25	16	46	20	61	40	52
	100.0	19.5	12.5	35.9	15.6	47.7	31.3	40.6
70～74歳	116	22	23	55	15	53	38	33
	100.0	19.0	19.8	47.4	12.9	45.7	32.8	28.4
75歳以上	126	11	6	53	14	48	33	38
	100.0	8.7	4.8	42.1	11.1	38.1	26.2	30.2

上段:回答数 下段:%	ボランティア	NPO法人	農林業活動	地域の団体を通じた活動（自治会・老人会など）	特に生きがいとしたいものはない	その他	不明・無回答
合計	49	10	35	43	53	13	34
	4.5	0.9	3.2	4.0	4.9	1.2	3.1
15～19歳	2	-	-	-	-	1	-
	5.3	-	-	-	-	2.6	-
20～29歳	1	-	-	-	5	1	1
	2.0	-	-	-	10.0	2.0	2.0
30～39歳	2	-	3	2	10	-	-
	1.6	-	2.5	1.6	8.2	-	-
40～49歳	1	1	2	2	4	1	3
	0.6	0.6	1.2	1.2	2.3	0.6	1.7
50～59歳	11	2	5	7	6	2	5
	5.7	1.0	2.6	3.6	3.1	1.0	2.6
60～64歳	7	-	4	4	6	-	3
	5.5	-	3.1	3.1	4.7	-	2.4
65～69歳	5	2	7	8	6	-	3
	3.9	1.6	5.5	6.3	4.7	-	2.3
70～74歳	12	2	8	8	6	3	4
	10.3	1.7	6.9	6.9	5.2	2.6	3.4
75歳以上	7	2	5	11	8	4	14
	5.6	1.6	4.0	8.7	6.3	3.2	11.1

年代別にみると、＜今後＞で「15～19 歳」「20～29 歳」では「働くこと」、「30～39 歳」「40～49 歳」では「家族や友人と過ごすこと」、「50～59 歳」「60～69 歳」では「趣味の活動」、「70 歳以上」では「健康づくりや体力づくり」が最も高くなっています。

＜問 11【今後】年代別クロス集計＞

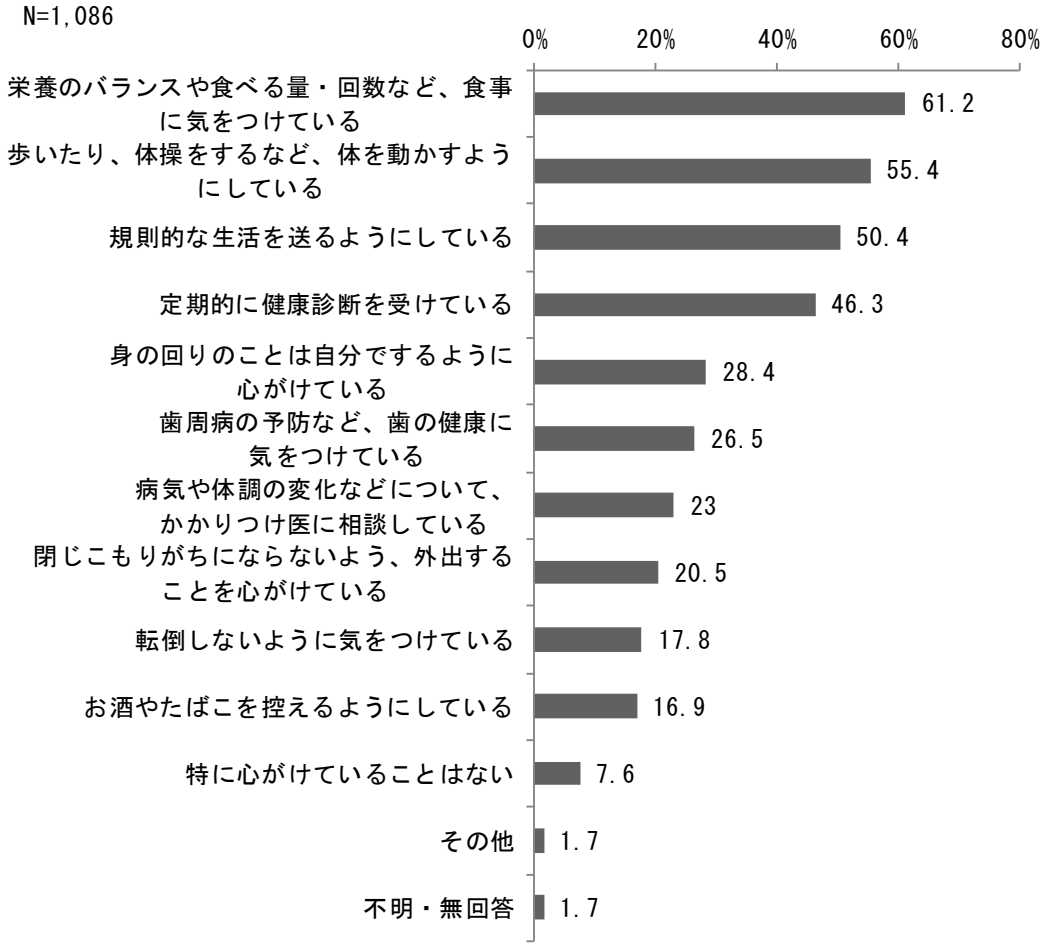
＜今後＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	働くこと	学習や教養を高めるための活動	健康づくりや体力づくり	スポーツ・レクリエーション	趣味の活動	家族や友人と過ごすこと	子どもや孫の成長
合計	1086	303	166	432	167	499	440	352
	100.0	27.9	15.3	39.8	15.4	45.9	40.5	32.4
15～19歳	38	21	12	5	6	19	20	1
	100.0	55.3	31.6	13.2	15.8	50.0	52.6	2.6
20～29歳	50	27	12	19	8	21	25	11
	100.0	54.0	24.0	38.0	16.0	42.0	50.0	22.0
30～39歳	122	56	19	28	13	54	67	49
	100.0	45.9	15.6	23.0	10.7	44.3	54.9	40.2
40～49歳	173	74	21	54	34	76	95	76
	100.0	42.8	12.1	31.2	19.7	43.9	54.9	43.9
50～59歳	194	58	27	69	27	100	85	67
	100.0	29.9	13.9	35.6	13.9	51.5	43.8	34.5
60～64歳	127	23	18	58	26	61	49	39
	100.0	18.1	14.2	45.7	20.5	48.0	38.6	30.7
65～69歳	128	14	22	69	21	63	36	44
	100.0	10.9	17.2	53.9	16.4	49.2	28.1	34.4
70～74歳	116	16	26	67	16	51	28	30
	100.0	13.8	22.4	57.8	13.8	44.0	24.1	25.9
75歳以上	126	11	8	60	15	50	30	31
	100.0	8.7	6.3	47.6	11.9	39.7	23.8	24.6

上段：回答数 下段：%	ボランティア	NPO法人	農林業活動	地域の団体を通じた活動（自治会・老人会など）	特に生きがいとしたいものはない	その他	不明・無回答
合計	76	14	46	47	36	11	53
	7.0	1.3	4.2	4.3	3.3	1.0	4.9
15～19歳	6	1	-	2	-	1	1
	15.8	2.6	-	5.3	-	2.6	2.6
20～29歳	2	-	1	2	1	2	-
	4.0	-	2.0	4.0	2.0	4.0	-
30～39歳	7	-	2	1	3	1	3
	5.7	-	1.6	0.8	2.5	0.8	2.5
40～49歳	6	-	5	3	3	1	1
	3.5	-	2.9	1.7	1.7	0.6	0.6
50～59歳	17	3	11	7	5	1	6
	8.8	1.5	5.7	3.6	2.6	0.5	3.1
60～64歳	12	-	7	7	5	-	3
	9.4	-	5.5	5.5	3.9	-	2.4
65～69歳	8	6	7	7	6	-	9
	6.3	4.7	5.5	5.5	4.7	-	7.0
70～74歳	11	2	7	6	5	2	9
	9.5	1.7	6.0	5.2	4.3	1.7	7.8
75歳以上	6	1	5	11	7	3	18
	4.8	0.8	4.0	8.7	5.6	2.4	14.3

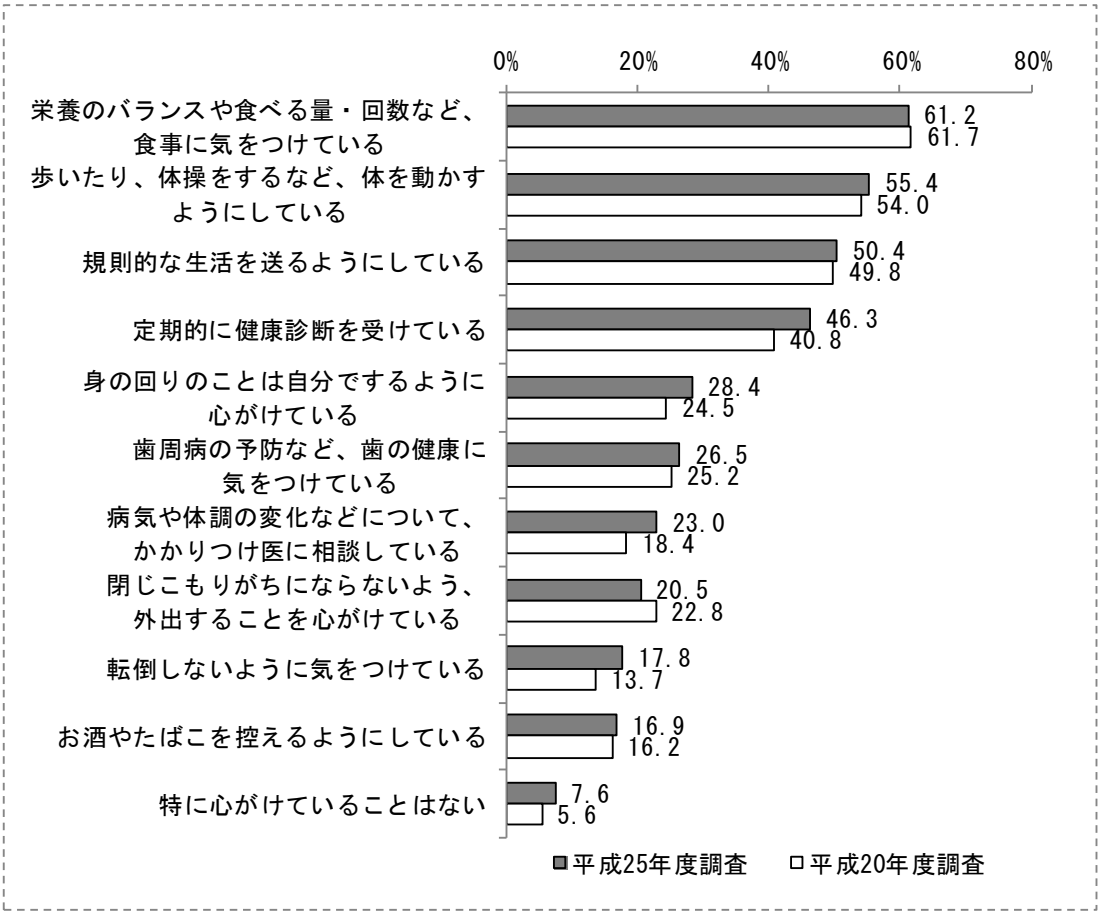
問 12　こころとからだの健康のために日頃心がけていることがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

こころとからだの健康のために、日頃心がけていることについてみると、「栄養のバランスや食べる量・回数など、食事に気をつけている」が 61.2%で最も高く、次いで「歩いたり、体操をするなど、体を動かすようにしている」が 55.4%、「規則的な生活を送るようにしている」50.4%となっています。また、「定期的に健康診断を受けている」が 46.3%となっており、約半数の方が健康に対して気をつけていることがうかがえます。



その他回答	類似回答数
ストレスをためない	3
家族とのコミュニケーション	2
人との会話	2
昼寝をする	1
日記をつけている	1
芸事への取り組み	1
毎日体組成計で測定している	1
体調ノートをつけている	1
周囲の人と仲良く付き合うようにしている	1
畑仕事	1
睡眠	1

◆前回調査との比較〔問 12〕



年代別にみると、「15～19 歳」「60～64 歳」「65～69 歳」では、「歩いたり、体操をするなど、体を動かすようにしている」が最も高くなっています。

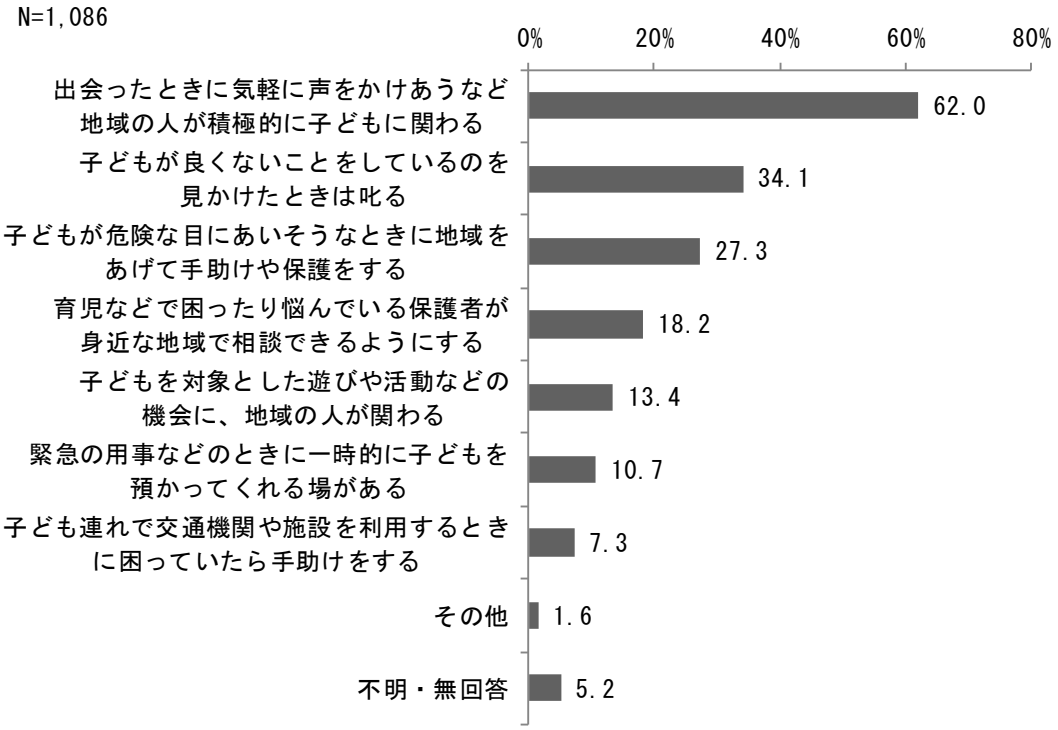
＜問 12 年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	栄養のバランスや食べる量・回数など、食事に気をつけている	歩いたり、体操をするなど、体を動かすようにしている	規則的な生活を送るようにしている	お酒やたばこを控えるようにしている	定期的に健康診断を受けている	病気や体調の変化などについて、かかりつけ医に相談している
合計	1086	665	602	547	184	503	250
	100.0	61.2	55.4	50.4	16.9	46.3	23.0
15～19歳	38	13	17	12	1	1	1
	100.0	34.2	44.7	31.6	2.6	2.6	2.6
20～29歳	50	25	19	25	9	4	2
	100.0	50.0	38.0	50.0	18.0	8.0	4.0
30～39歳	122	71	48	64	22	29	7
	100.0	58.2	39.3	52.5	18.0	23.8	5.7
40～49歳	173	92	74	72	27	69	17
	100.0	53.2	42.8	41.6	15.6	39.9	9.8
50～59歳	194	119	96	92	29	101	28
	100.0	61.3	49.5	47.4	14.9	52.1	14.4
60～64歳	127	79	81	71	24	70	32
	100.0	62.2	63.8	55.9	18.9	55.1	25.2
65～69歳	128	81	97	68	22	70	40
	100.0	63.3	75.8	53.1	17.2	54.7	31.3
70～74歳	116	88	80	64	17	75	48
	100.0	75.9	69.0	55.2	14.7	64.7	41.4
75歳以上	126	90	84	74	29	79	71
	100.0	71.4	66.7	58.7	23.0	62.7	56.3

上段：回答数 下段：%	閉じこもりがちにならないよう、外出することを心がけている	転倒しないように気をつけている	身の回りのことは自分でするように心がけている	歯周病の予防など、歯の健康に気をつけている	特に心がけていることはない	その他	不明・無回答
合計	223	193	308	288	83	18	19
	20.5	17.8	28.4	26.5	7.6	1.7	1.7
15～19歳	1	3	8	6	10	2	-
	2.6	7.9	21.1	15.8	26.3	5.3	-
20～29歳	9	-	6	5	11	-	-
	18.0	-	12.0	10.0	22.0	-	-
30～39歳	19	1	14	26	12	6	-
	15.6	0.8	11.5	21.3	9.8	4.9	-
40～49歳	29	8	24	36	21	1	4
	16.8	4.6	13.9	20.8	12.1	0.6	2.3
50～59歳	28	15	29	39	14	2	4
	14.4	7.7	14.9	20.1	7.2	1.0	2.1
60～64歳	20	21	30	36	6	1	2
	15.7	16.5	23.6	28.3	4.7	0.8	1.6
65～69歳	36	30	47	50	3	1	-
	28.1	23.4	36.7	39.1	2.3	0.8	-
70～74歳	35	42	62	42	2	3	1
	30.2	36.2	53.4	36.2	1.7	2.6	0.9
75歳以上	41	68	84	45	3	1	7
	32.5	54.0	66.7	35.7	2.4	0.8	5.6

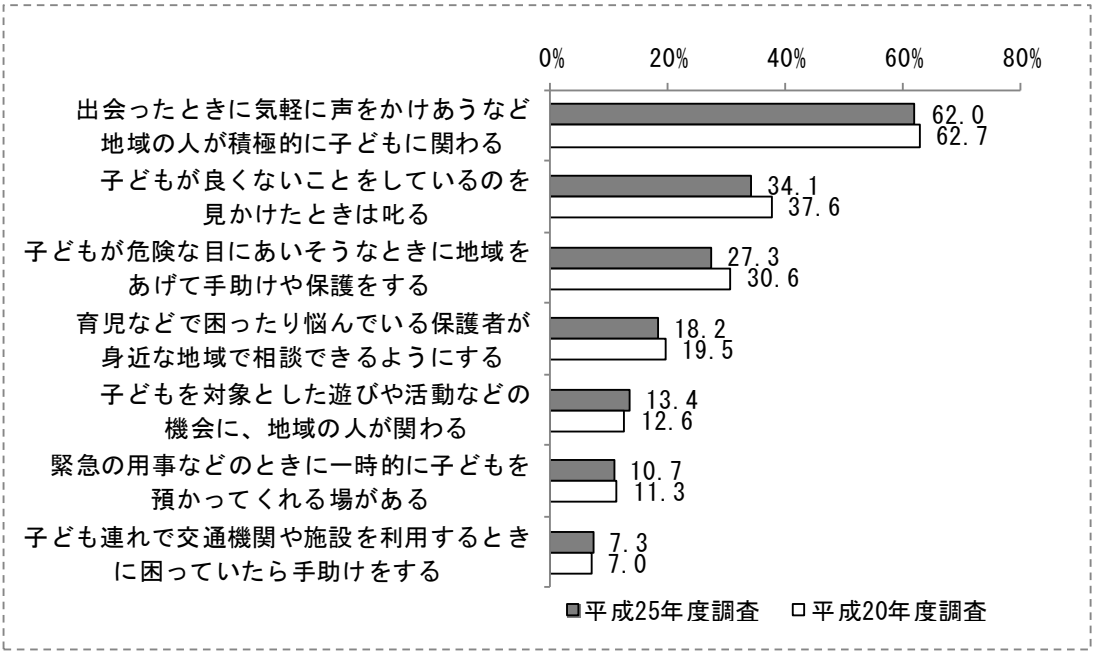
問 13　子どもたちが健やかにのびのびと育つまちとなるために、どのようなことが必要だと思いますか。お考えに近いものを２つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

子どもたちが健やかにのびのびと育つまちとなるために、必要だと思うことについてみると、「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、地域の人が子どもに関わる」が 62.0%で最も高く、次いで「子どもが良くないことをしているのを見かけたときは叱る」が 34.1%、「子どもが危険な目にあいそうなときに地域をあげて手助けや保護をする」が 27.3%となっています。



その他回答	類似回答数
すべてが必要	2
家庭での教育、しつけ	2
子どもに気楽に声をかける	1
先進で国際的な文化に接して行動できる環境づくり	1
親自身の教育	1
いじめ問題など地域を挙げての取り組み	1
子どもに対する町全体の理解	1
子ども向け映画などの開催	1
子どもの遊ぶ場所	1
球技制限がない公園の設置	1
子どもの楽しみであるプールの存続	1
野外で自然と触れ合う活動をする	1

◆前回調査との比較〔問 13〕



平成20年度調査の選択肢
子どもが良くないことをしているのを見かけたときは、積極的に叱る
子どもを対象とした遊びや活動などの機会に、地域の人が積極的に関わる

年代別にみると、すべての年代で「出会ったときに気軽に声をかけあうなど、地域の人が子どもに関わる」が最も高くなっています。

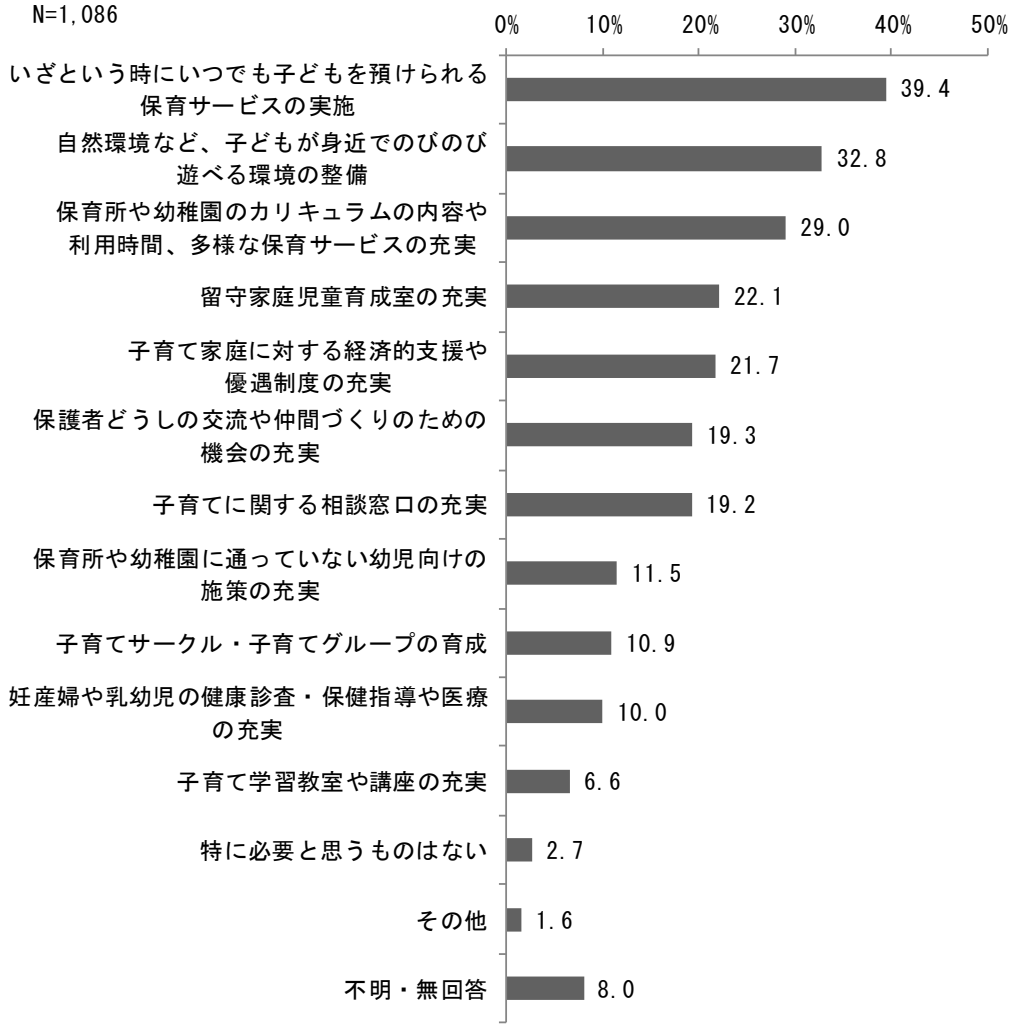
＜問 13 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	出会ったときに気軽に声をかけあうなど、地域の人が積極的に子どもに関わる	子どもが良くないことをしているのを見かけたときは叱る	子どもを対象とした遊びや活動などの機会に、地域の人が関わる	育児などで困ったり悩んでいる保護者が身近な地域で相談できるようにする
合計	1086 100.0	673 62.0	370 34.1	145 13.4	198 18.2
15～19歳	38 100.0	18 47.4	14 36.8	5 13.2	10 26.3
20～29歳	50 100.0	29 58.0	18 36.0	12 24.0	5 10.0
30～39歳	122 100.0	75 61.5	39 32.0	21 17.2	23 18.9
40～49歳	173 100.0	108 62.4	59 34.1	22 12.7	34 19.7
50～59歳	194 100.0	111 57.2	66 34.0	21 10.8	49 25.3
60～64歳	127 100.0	82 64.6	34 26.8	21 16.5	29 22.8
65～69歳	128 100.0	88 68.8	42 32.8	13 10.2	24 18.8
70～74歳	116 100.0	81 69.8	50 43.1	14 12.1	13 11.2
75歳以上	126 100.0	75 59.5	44 34.9	14 11.1	9 7.1

上段:回答数 下段:%	子どもが危険な目にあいそうなときに地域をあげて手助けや保護をする	緊急の用事などのときに一時的に子どもを預かってくれる場がある	子ども連れで交通機関や施設を利用するときに困っていたら手助けをする	その他	不明・無回答
合計	296 27.3	116 10.7	79 7.3	17 1.6	57 5.2
15～19歳	7 18.4	4 10.5	4 10.5	1 2.6	1 2.6
20～29歳	12 24.0	8 16.0	2 4.0	1 2.0	- -
30～39歳	36 29.5	16 13.1	11 9.0	2 1.6	2 1.6
40～49歳	62 35.8	19 11.0	6 3.5	3 1.7	5 2.9
50～59歳	50 25.8	18 9.3	17 8.8	3 1.5	8 4.1
60～64歳	32 25.2	16 12.6	10 7.9	2 1.6	6 4.7
65～69歳	37 28.9	10 7.8	7 5.5	1 0.8	5 3.9
70～74歳	31 26.7	13 11.2	9 7.8	2 1.7	7 6.0
75歳以上	27 21.4	10 7.9	11 8.7	1 0.8	21 16.7

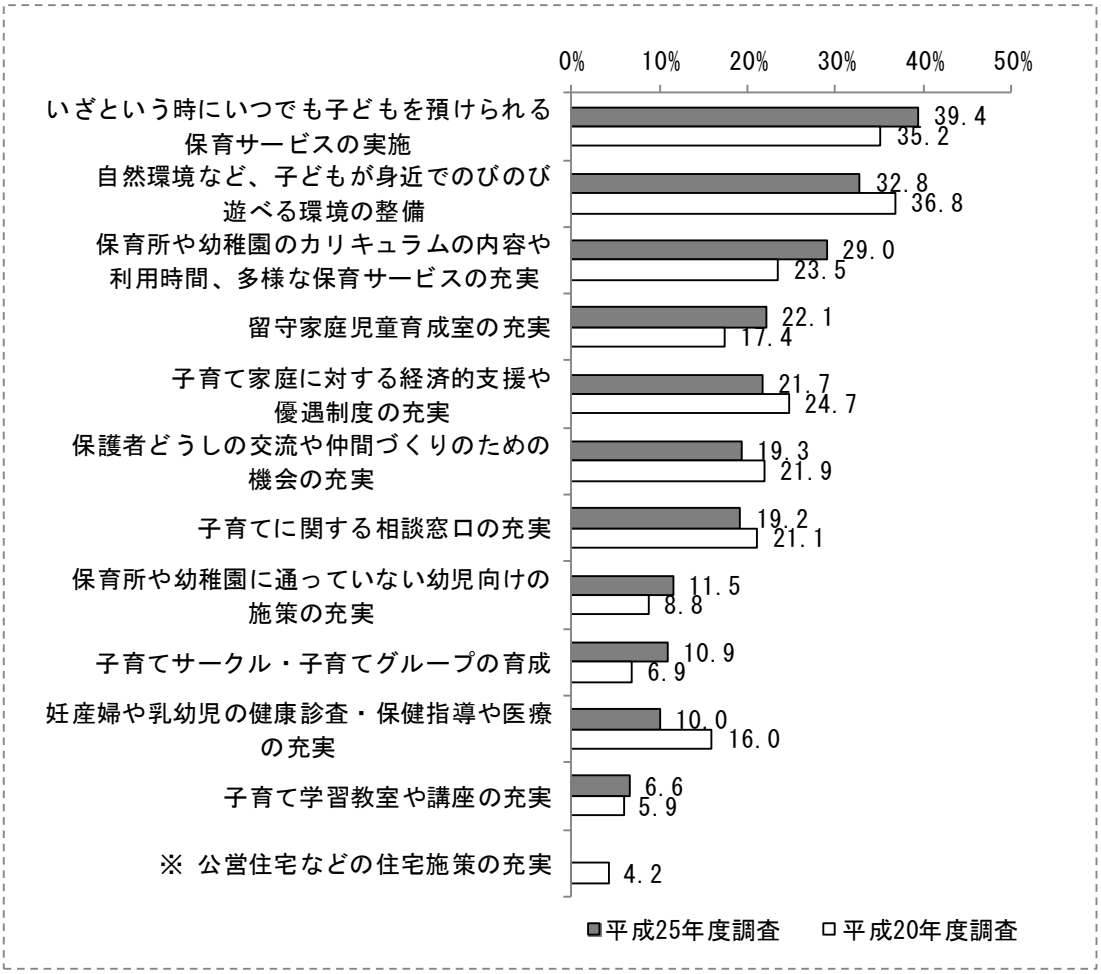
問 14　子育てを支援するために、今後どのようなことが必要だと思いますか。お考えに近いものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

子育て支援で、今後必要だと思うことについてみると、「いざという時にいつでも子どもを預けられる保育サービスの実施」が 39.4%で最も高く、次いで「自然環境など、子どもが身近でのびのび遊べる環境の整備」が 32.8%、「保育所や幼稚園のカリキュラムの内容や利用時間、多様な保育サービスの充実」が 29.0%となっています。



その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
保育園や幼稚園の拡充と経済支援	2	小･中･高校生の子どもを持つ家庭への支援の充実	1
親への教育	2	病児保育	1
子どもが安全に遊べる環境	1	医療費や子ども手当ての支援	1
子育て指導の強化	1	支援という考え方を改める	1
福祉に携われる教育	1	蜂や毒蜘蛛の駆除	1
情報提供	1	町の各種相談窓口の連携と学童保育も含めた子どもの居場所の創設	1
教育者への権限強化とバックアップ体制	1		

◆前回調査との比較〔問 14〕



※ 平成 20 年度調査のみの選択肢

平成20年度調査の選択肢
小学校の留守家庭児童育成クラブの充実

年代別にみると、「30～39 歳」では、「保育所や幼稚園のカリキュラムの内容や利用時間、多様な保育サービスの充実」、「70～74 歳」では、「自然環境など、子どもが身近でのびのび遊べる環境の整備」が最も高くなっています。

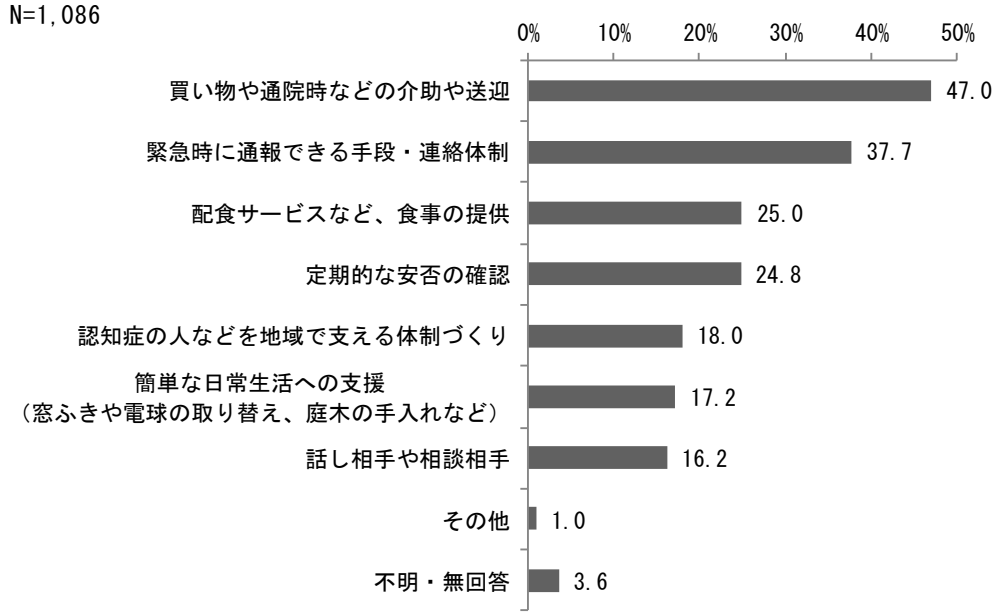
＜問 14 年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	保育所や幼稚園のカリキュラムの内容や利用時間、多様な保育サービスの充実	留守家庭児童育成室の充実	保育所や幼稚園に通っていない幼児向けの施策の充実	いざという時にいつでも子どもを預けられる保育サービスの実施	保護者どうしの交流や仲間づくりのための機会の充実	子育て学習教室や講座の充実	子育てサークル・子育てグループの育成
合計	1086	315	240	125	428	210	72	118
	100.0	29.0	22.1	11.5	39.4	19.3	6.6	10.9
15～19歳	38	11	2	6	14	10	4	5
	100.0	28.9	5.3	15.8	36.8	26.3	10.5	13.2
20～29歳	50	18	10	7	21	9	9	8
	100.0	36.0	20.0	14.0	42.0	18.0	18.0	16.0
30～39歳	122	56	24	18	43	22	10	11
	100.0	45.9	19.7	14.8	35.2	18.0	8.2	9.0
40～49歳	173	44	45	12	75	34	12	22
	100.0	25.4	26.0	6.9	43.4	19.7	6.9	12.7
50～59歳	194	56	54	14	85	36	7	29
	100.0	28.9	27.8	7.2	43.8	18.6	3.6	14.9
60～64歳	127	45	24	20	47	26	7	15
	100.0	35.4	18.9	15.7	37.0	20.5	5.5	11.8
65～69歳	128	32	25	22	51	29	4	13
	100.0	25.0	19.5	17.2	39.8	22.7	3.1	10.2
70～74歳	116	30	31	9	46	22	7	6
	100.0	25.9	26.7	7.8	39.7	19.0	6.0	5.2
75歳以上	126	18	22	12	40	21	11	8
	100.0	14.3	17.5	9.5	31.7	16.7	8.7	6.3

上段：回答数 下段：%	子育てに関する相談窓口の充実	妊産婦や乳幼児の健康診査・保健指導や医療の充実	自然環境など、子どもが身近でのびのび遊べる環境の整備	子育て家庭に対する経済的支援や優遇制度の充実	特に必要と思うものはない	その他	不明・無回答
合計	209	109	356	236	29	17	87
	19.2	10.0	32.8	21.7	2.7	1.6	8.0
15～19歳	10	5	13	8	2	-	1
	26.3	13.2	34.2	21.1	5.3	-	2.6
20～29歳	6	13	16	9	3	1	-
	12.0	26.0	32.0	18.0	6.0	2.0	-
30～39歳	15	16	40	45	3	2	2
	12.3	13.1	32.8	36.9	2.5	1.6	1.6
40～49歳	20	16	61	61	5	4	4
	11.6	9.2	35.3	35.3	2.9	2.3	2.3
50～59歳	44	19	51	35	3	-	12
	22.7	9.8	26.3	18.0	1.5	-	6.2
60～64歳	33	14	39	21	5	1	6
	26.0	11.0	30.7	16.5	3.9	0.8	4.7
65～69歳	33	8	43	23	4	2	10
	25.8	6.3	33.6	18.0	3.1	1.6	7.8
70～74歳	20	10	50	15	2	3	17
	17.2	8.6	43.1	12.9	1.7	2.6	14.7
75歳以上	25	7	40	18	1	3	33
	19.8	5.6	31.7	14.3	0.8	2.4	26.2

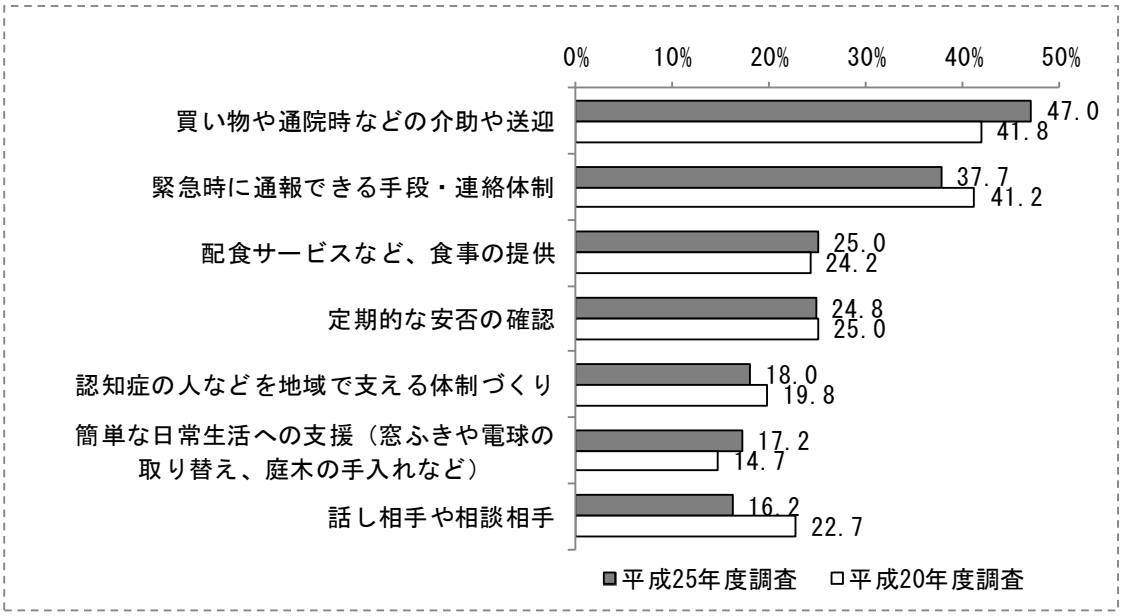
問 15　高齢化が全国的に進みつつありますが、今後どのような高齢者に対する支援があれば、身近な地域や自宅での生活を続けていくことができると思いますか。お考えに近いものを２つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

今後の高齢者支援についてみると、「買い物や通院時などの介助や送迎」が 47.0%で最も高く、次いで「緊急時に通報できる手段・連絡体制」が 37.7%となっています。



その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
総合病院の新設	2	家での閉じこもり対策	1
医療体制の充実	1	交流機会の充実	1
全て必要	1	高齢者のための個別ゴミ収集	1
費用の安い施設やショートステイの充実	1	グループホームやシェアハウスの設立	1

◆前回調査との比較〔問 15〕



年代別にみると、「15～19 歳」「70～74 歳」「75 歳以上」では「緊急時に通報できる手段・連絡体制」が最も高くなっています。「60～64 歳」では、「買い物や通院時などの介助や送迎」と「緊急時に通報できる手段・連絡体制」が最も高くなっています。

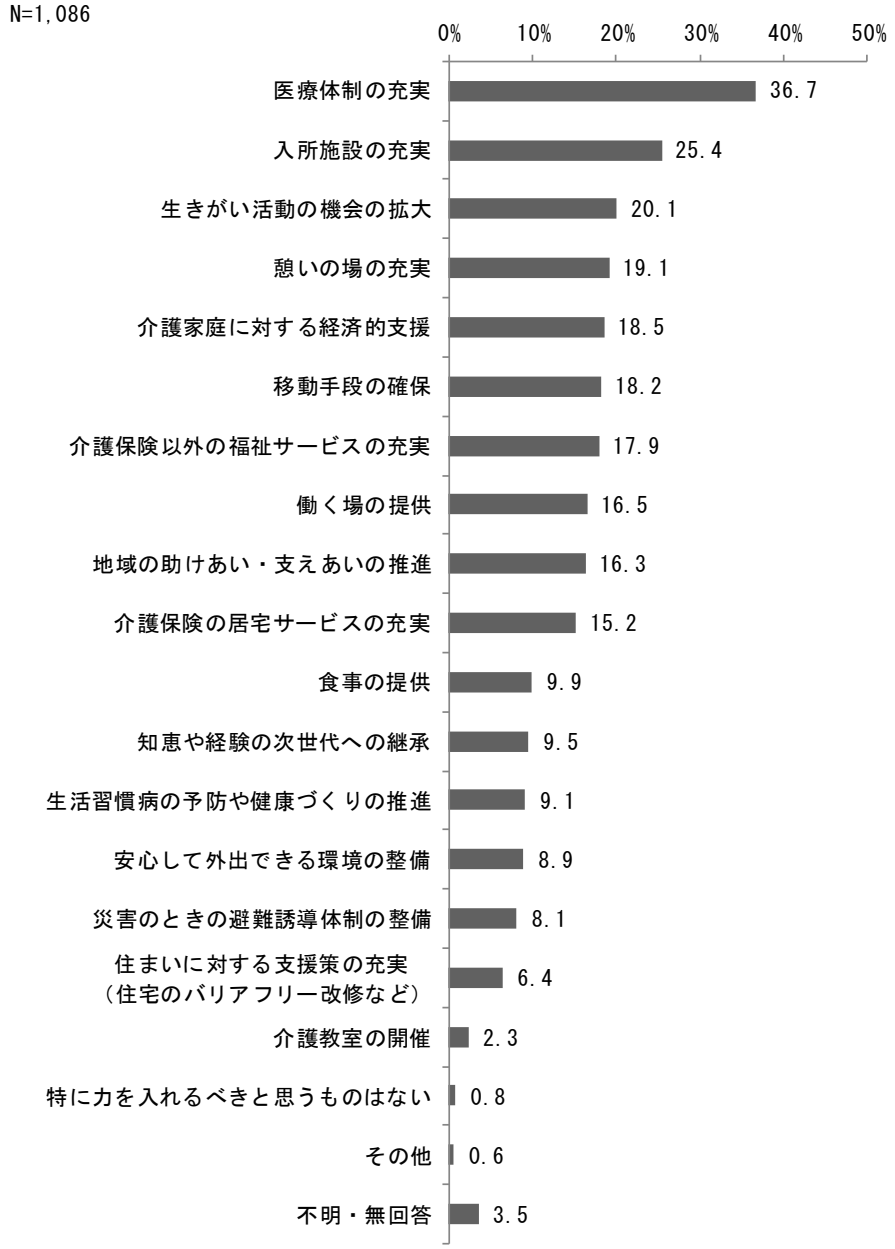
＜問 15 年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	買い物や通院時などの介助や送迎	配食サービスなど、食事の提供	定期的な安否の確認	認知症の人などを地域で支える体制づくり
合計	1086 100.0	510 47.0	272 25.0	269 24.8	195 18.0
15～19歳	38 100.0	14 36.8	10 26.3	10 26.3	4 10.5
20～29歳	50 100.0	29 58.0	9 18.0	14 28.0	6 12.0
30～39歳	122 100.0	66 54.1	36 29.5	33 27.0	15 12.3
40～49歳	173 100.0	79 45.7	40 23.1	38 22.0	38 22.0
50～59歳	194 100.0	101 52.1	52 26.8	33 17.0	38 19.6
60～64歳	127 100.0	58 45.7	30 23.6	32 25.2	27 21.3
65～69歳	128 100.0	63 49.2	45 35.2	31 24.2	20 15.6
70～74歳	116 100.0	44 37.9	23 19.8	40 34.5	19 16.4
75歳以上	126 100.0	53 42.1	23 18.3	33 26.2	24 19.0

上段：回答数 下段：%	緊急時に通報できる手段・連絡体制	簡単な日常生活への支援（窓ふきや電球の取り替え、庭木の手入れなど）	話し相手や相談相手	その他	不明・無回答
合計	409 37.7	187 17.2	176 16.2	11 1.0	39 3.6
15～19歳	16 42.1	5 13.2	14 36.8	- -	1 2.6
20～29歳	20 40.0	6 12.0	11 22.0	1 2.0	- -
30～39歳	40 32.8	17 13.9	25 20.5	2 1.6	2 1.6
40～49歳	57 32.9	34 19.7	37 21.4	2 1.2	4 2.3
50～59歳	61 31.4	36 18.6	32 16.5	2 1.0	6 3.1
60～64歳	58 45.7	18 14.2	17 13.4	1 0.8	3 2.4
65～69歳	45 35.2	29 22.7	15 11.7	1 0.8	3 2.3
70～74歳	51 44.0	23 19.8	14 12.1	2 1.7	7 6.0
75歳以上	55 43.7	17 13.5	10 7.9	- -	12 9.5

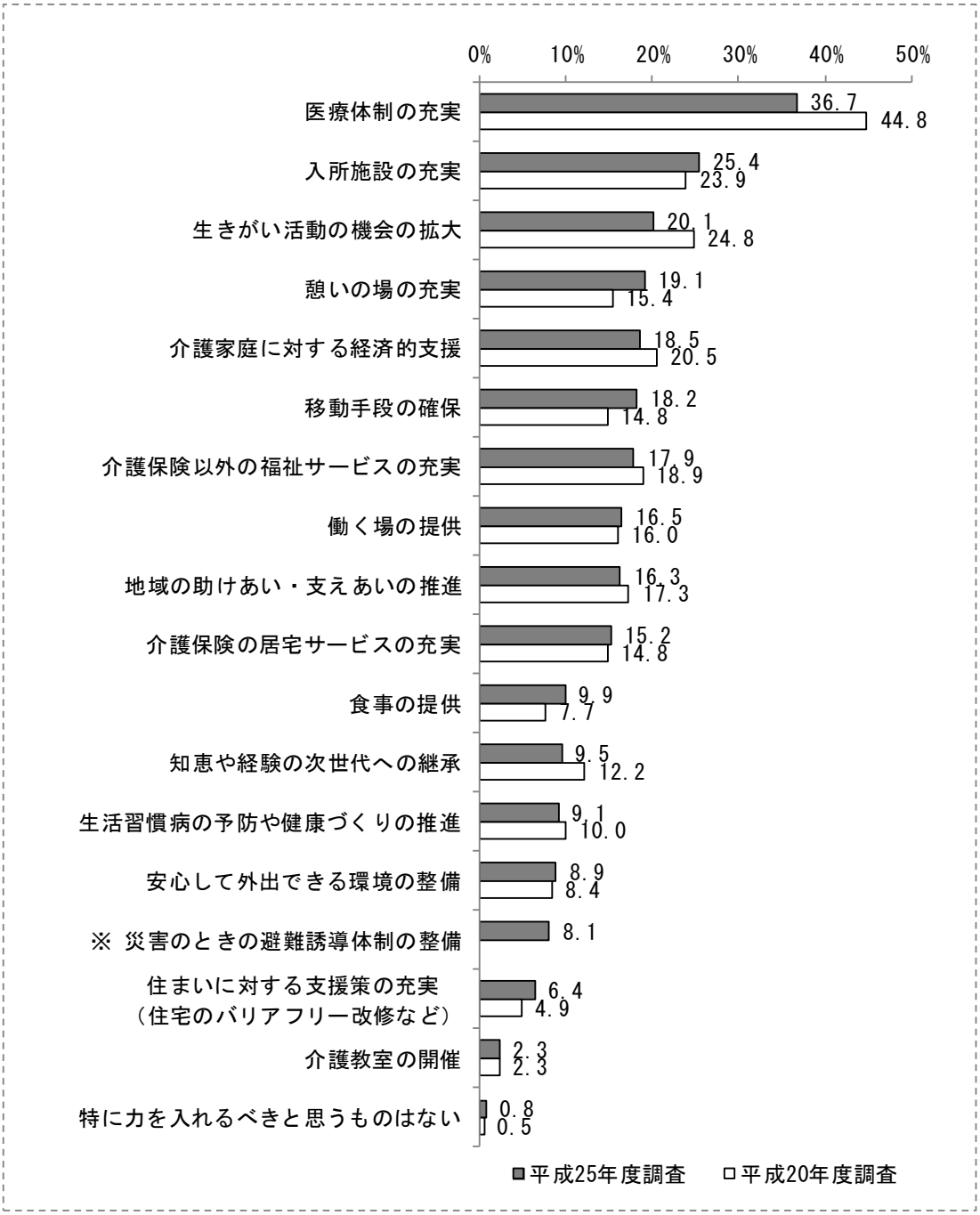
問 16　高齢者に関わる施策のうち、今後特に力を入れるべきだと思うものは何ですか。お考えに近いものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

高齢者に関わる施策で、今後特に力を入れるべきだと思うことについてみると、「医療体制の充実」が 36.7％で最も高く、次いで「入所施設の充実」が 25.4％となっています。



その他回答	類似回答数
老老介護の日常支援	1
在宅医療の充実･支援	1
認知症対策	1
介護する者同士が集える場をつくる	1
電車やバス等の交通機関	1
身体が不自由になった際のゴミ当番	1
単純な避難訓練ではなく、ワークショップ型の訓練	1
ボランティア活動の紹介	1

◆前回調査との比較〔問 16〕



※ 平成 25 年度調査のみの選択肢

平成20年度調査の選択肢	
憩いの場の確保	生活習慣病予防や健康づくりの推進
働く場の確保	住まいに対する支援策の充実
食事の確保	

年代別にみると、「15～19 歳」を除くすべての年代で、「医療体制の充実」が最も高くなっています。

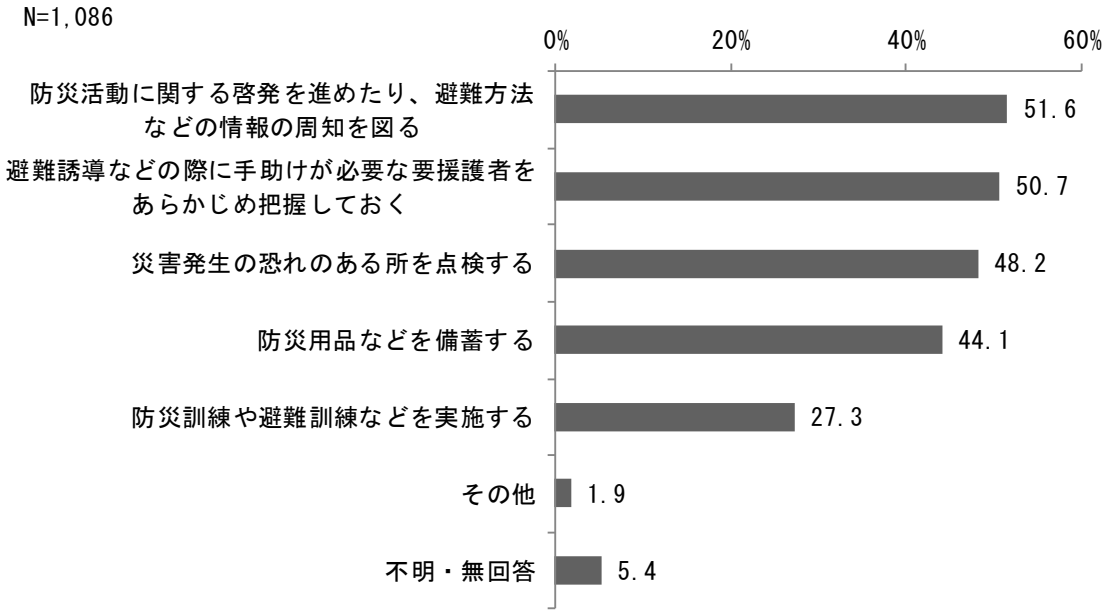
＜問 16 年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	働く場の提供	憩いの場の充実	知恵や経験の次世代への継承	生きがい活動の機会の拡大	地域の助けあい・支えあいの推進	生活習慣病の予防や健康づくりの推進	介護家庭に対する経済的支援	介護教室の開催	介護保険の居宅サービスの充実	入所施設の充実
合計	1086	179	207	103	218	177	99	201	25	165	276
	100.0	16.5	19.1	9.5	20.1	16.3	9.1	18.5	2.3	15.2	25.4
15～19歳	38	8	13	7	6	9	2	6	1	2	4
	100.0	21.1	34.2	18.4	15.8	23.7	5.3	15.8	2.6	5.3	10.5
20～29歳	50	8	10	10	7	6	2	7	3	6	11
	100.0	16.0	20.0	20.0	14.0	12.0	4.0	14.0	6.0	12.0	22.0
30～39歳	122	27	17	11	31	14	7	27	3	9	30
	100.0	22.1	13.9	9.0	25.4	11.5	5.7	22.1	2.5	7.4	24.6
40～49歳	173	45	36	16	33	26	7	54	6	28	42
	100.0	26.0	20.8	9.2	19.1	15.0	4.0	31.2	3.5	16.2	24.3
50～59歳	194	40	31	17	53	25	19	34	2	22	53
	100.0	20.6	16.0	8.8	27.3	12.9	9.8	17.5	1.0	11.3	27.3
60～64歳	127	15	20	14	31	19	15	16	2	24	40
	100.0	11.8	15.7	11.0	24.4	15.0	11.8	12.6	1.6	18.9	31.5
65～69歳	128	16	28	7	24	33	10	20	1	19	36
	100.0	12.5	21.9	5.5	18.8	25.8	7.8	15.6	0.8	14.8	28.1
70～74歳	116	11	21	10	18	19	18	18	2	32	28
	100.0	9.5	18.1	8.6	15.5	16.4	15.5	15.5	1.7	27.6	24.1
75歳以上	126	6	26	9	11	23	18	17	4	21	29
	100.0	4.8	20.6	7.1	8.7	18.3	14.3	13.5	3.2	16.7	23.0

上段：回答数 下段：%	介護保険以外の福祉サービスの充実	医療体制の充実	安心して外出できる環境の整備	移動手段の確保	食事の確保	住まいに対する支援策の充実（住宅のバリアフリー改修など）	災害のときの避難誘導体制の整備	特に力を入れるべきと思うものはない	その他	不明・無回答
合計	194	399	97	198	108	69	88	9	7	38
	17.9	36.7	8.9	18.2	9.9	6.4	8.1	0.8	0.6	3.5
15～19歳	8	12	8	7	4	4	2	1	-	1
	21.1	31.6	21.1	18.4	10.5	10.5	5.3	2.6	-	2.6
20～29歳	10	16	3	15	4	5	4	2	-	-
	20.0	32.0	6.0	30.0	8.0	10.0	8.0	4.0	-	-
30～39歳	18	45	14	30	11	7	13	-	1	2
	14.8	36.9	11.5	24.6	9.0	5.7	10.7	-	0.8	1.6
40～49歳	28	57	8	39	18	8	12	2	-	4
	16.2	32.9	4.6	22.5	10.4	4.6	6.9	1.2	-	2.3
50～59歳	34	70	17	40	24	16	11	1	2	5
	17.5	36.1	8.8	20.6	12.4	8.2	5.7	0.5	1.0	2.6
60～64歳	29	57	13	13	8	4	7	-	-	3
	22.8	44.9	10.2	10.2	6.3	3.1	5.5	-	-	2.4
65～69歳	24	52	9	21	18	6	10	1	-	2
	18.8	40.6	7.0	16.4	14.1	4.7	7.8	0.8	-	1.6
70～74歳	19	45	13	18	13	7	9	1	2	4
	16.4	38.8	11.2	15.5	11.2	6.0	7.8	0.9	1.7	3.4
75歳以上	20	42	10	12	6	10	19	-	2	15
	15.9	33.3	7.9	9.5	4.8	7.9	15.1	-	1.6	11.9

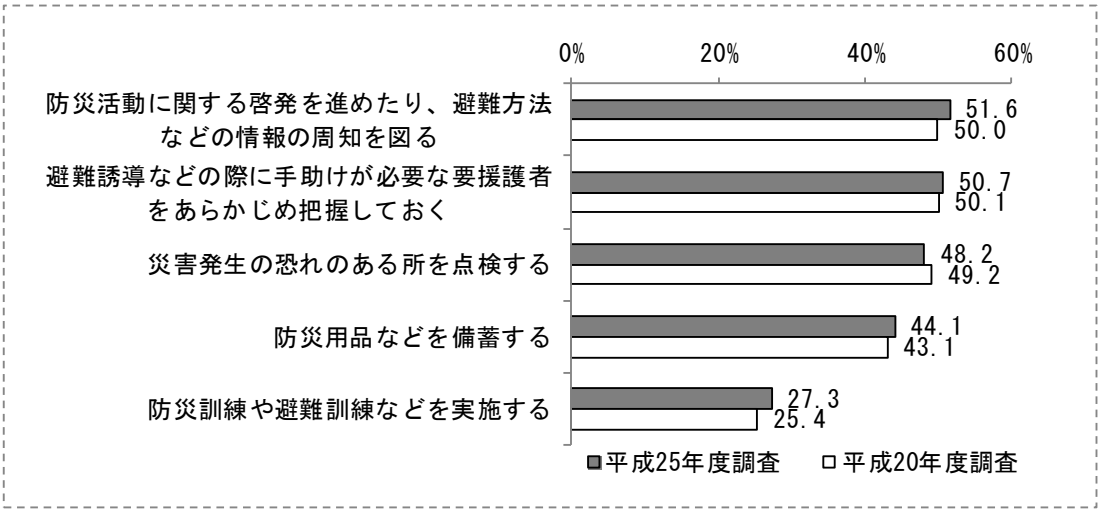
問 17　お住まいの地域で力を入れるべき防災活動は何ですか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

居住地域で力を入れるべき防災活動についてみると、「防災活動に関する啓発を進めたり、避難方法などの情報の周知を図る」が 51.6%で最も高く、次いで「避難誘導などの際に手助けが必要な要援護者をあらかじめ把握しておく」が 50.7%、「災害発生の恐れのある所を点検する」が 48.2%となっています。



その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
防犯灯等の設備の充実	2	有事のために日頃訓練をしておく	1
雷の避難対策についてのパンフレット配布	1	孤立化した家屋への道路整備	1
各家庭での備蓄品を広報する	1	団結すること	1
行政における「災害の少ない町」に対する意識改革	1	バス停に外灯と椅子の設置	1
近所の方々を知ること	1	応急処置の講習などの開催	1
防災マニュアル	1	水や食料の配給	1
自治会の中で確認しあう	1	被介護者に対する防災・避難の個別指導	1

◆前回調査との比較〔問 17〕



年代別にみると、「50～59 歳」「65～69 歳」「75 歳以上」では、「避難誘導などの際に手助けが必要な要援護者をあらかじめ把握しておく」が最も高くなっています。

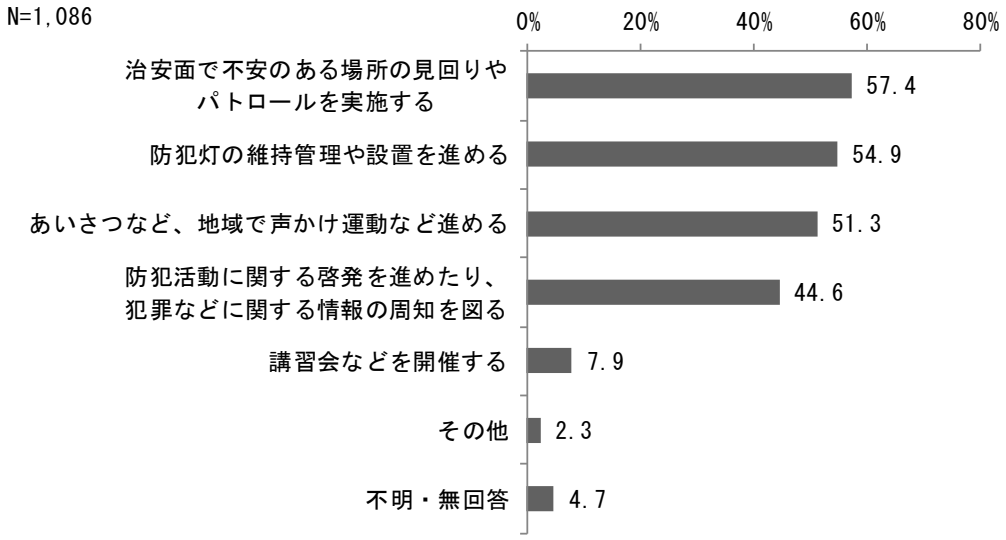
＜問 17 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	防災活動に関する啓発を進めたり、避難方法などの情報の周知を図る	災害発生の恐れのある所を点検する	防災訓練や避難訓練などを実施する
合計	1086 100.0	560 51.6	523 48.2	297 27.3
15～19歳	38 100.0	17 44.7	19 50.0	12 31.6
20～29歳	50 100.0	27 54.0	26 52.0	21 42.0
30～39歳	122 100.0	67 54.9	58 47.5	28 23.0
40～49歳	173 100.0	91 52.6	98 56.6	45 26.0
50～59歳	194 100.0	97 50.0	89 45.9	51 26.3
60～64歳	127 100.0	82 64.6	67 52.8	27 21.3
65～69歳	128 100.0	64 50.0	52 40.6	42 32.8
70～74歳	116 100.0	56 48.3	63 54.3	32 27.6
75歳以上	126 100.0	55 43.7	46 36.5	35 27.8

上段:回答数 下段:%	防災用品などを備蓄する	避難誘導などの際に手助けが必要な要援護者をあらかじめ把握しておく	その他	不明・無回答
合計	479 44.1	551 50.7	21 1.9	59 5.4
15～19歳	22 57.9	18 47.4	1 2.6	1 2.6
20～29歳	29 58.0	24 48.0	1 2.0	- -
30～39歳	63 51.6	51 41.8	5 4.1	5 4.1
40～49歳	84 48.6	89 51.4	3 1.7	4 2.3
50～59歳	95 49.0	99 51.0	1 0.5	6 3.1
60～64歳	43 33.9	70 55.1	1 0.8	5 3.9
65～69歳	48 37.5	66 51.6	- -	8 6.3
70～74歳	48 41.4	61 52.6	5 4.3	8 6.9
75歳以上	43 34.1	68 54.0	2 1.6	21 16.7

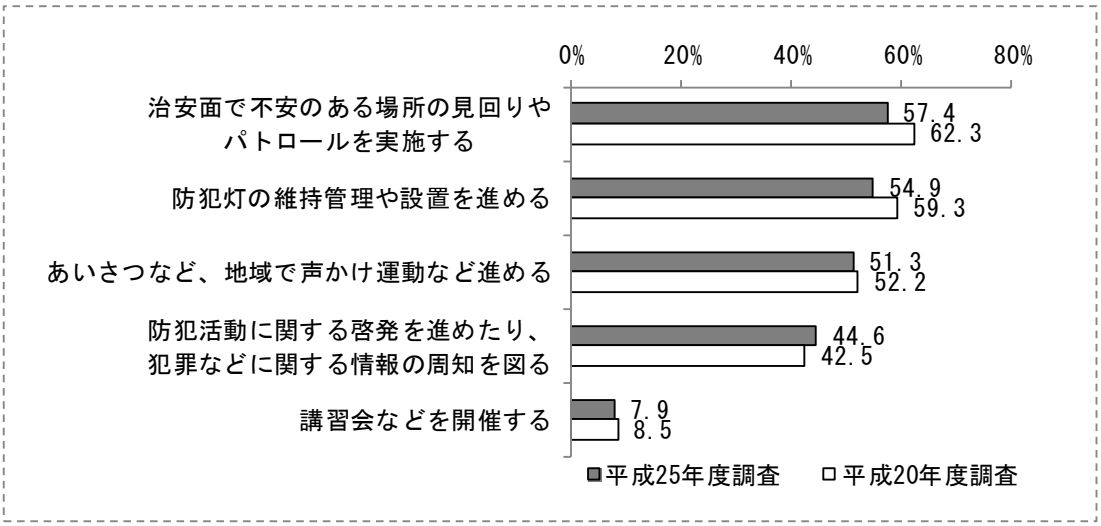
問 18　お住まいの地域で力を入れるべき防犯活動は何ですか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

居住地域で力を入れるべき防犯活動についてみると、「治安面で不安のある場所の見回りやパトロールを実施する」が 57.4%で最も高く、次いで「防犯灯の維持管理や設置を進める」54.9%、「あいさつなど、地域で声かけ運動など進める」が 51.3%となっています。



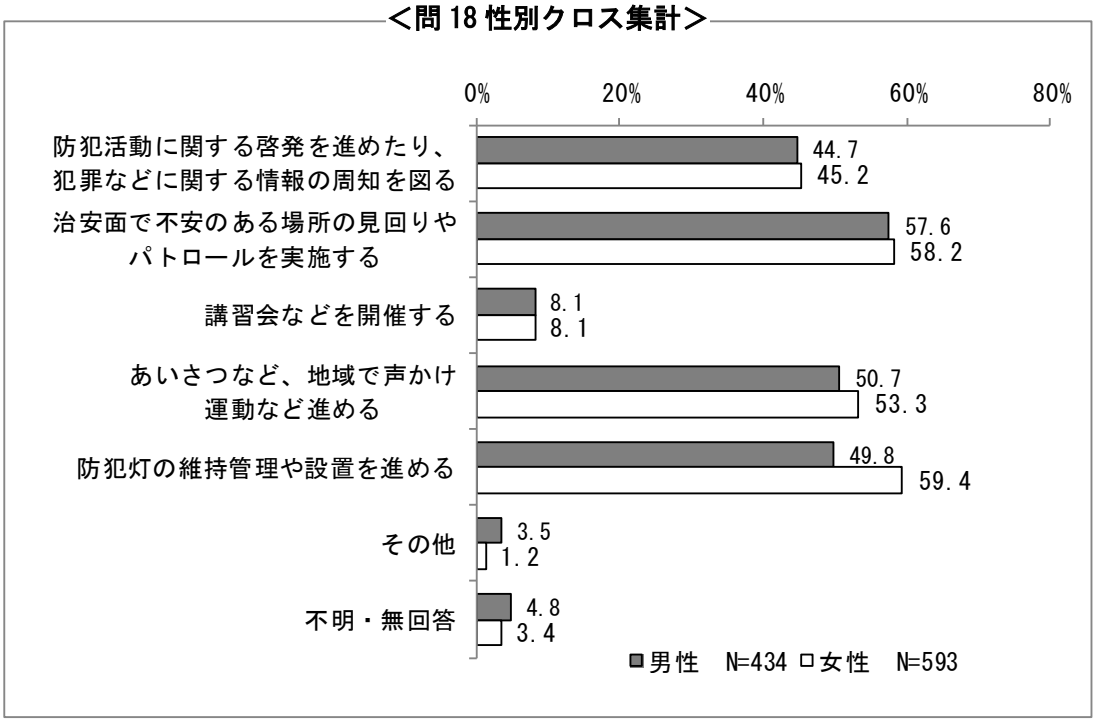
その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
防犯カメラの設置	15	防犯灯の設置	1
街灯の増設	2	公園のパトロール	1
樹木により見通しの悪い公園の整備	2	各戸外灯の設置	1
警察との連携強化	1		

◆前回調査との比較〔問 18〕



性別にみると、「男性」では「治安面で不安のある場所の見回りやパトロールを実施する」が 57.6%で最も高く、次いで「あいさつなど、地域で声かけ運動など進める」が 50.7%となっています。「女性」では「防犯灯の維持管理や設置を進める」が 59.4%で最も高く、次いで「あいさつなど、地域で声かけ運動など進める」が 58.2%となっています。

＜問 18 性別クロス集計＞

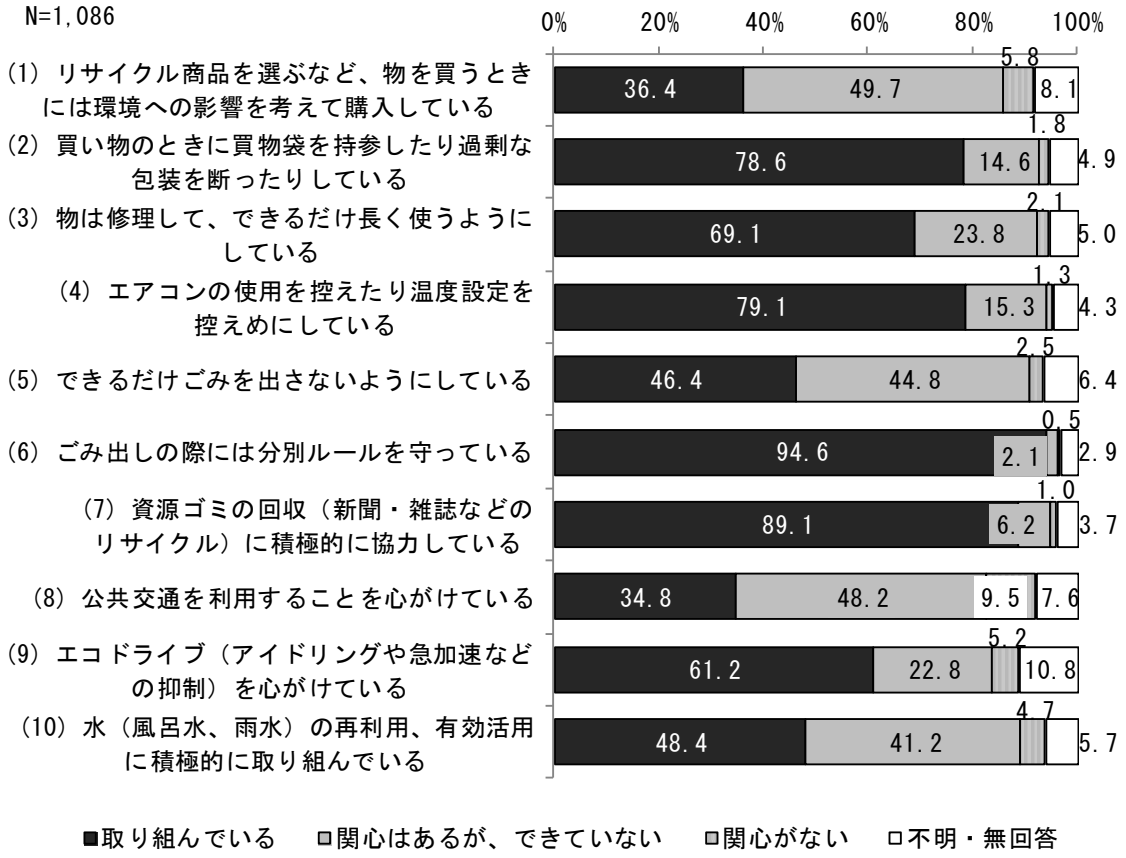


＜問 18 小学校区別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	防犯活動に関する啓発を進めたり、犯罪などに関する情報の周知を図る	治安面で不安のある場所の見回りやパトロールを実施する	講習会などを開催する	あいさつなど、地域で声かけ運動など進める	防犯灯の維持管理や設置を進める	その他	不明・無回答
合計	1086 100.0	484 44.6	623 57.4	86 7.9	557 51.3	596 54.9	25 2.3	51 4.7
猪名川小学校区	201 100.0	96 47.8	123 61.2	17 8.5	103 51.2	102 50.7	2 1.0	8 4.0
楊津小学校区	63 100.0	31 49.2	27 42.9	5 7.9	33 52.4	37 58.7	2 3.2	5 7.9
大島小学校区	91 100.0	45 49.5	47 51.6	9 9.9	58 63.7	48 52.7	1 1.1	2 2.2
松尾台小学校区	299 100.0	121 40.5	177 59.2	20 6.7	156 52.2	169 56.5	9 3.0	18 6.0
白金小学校区	230 100.0	115 50.0	136 59.1	19 8.3	104 45.2	141 61.3	7 3.0	9 3.9
つつじが丘小学校区	184 100.0	72 39.1	106 57.6	16 8.7	99 53.8	89 48.4	3 1.6	4 2.2

問 19　環境保全のために、あなたやご家族が取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

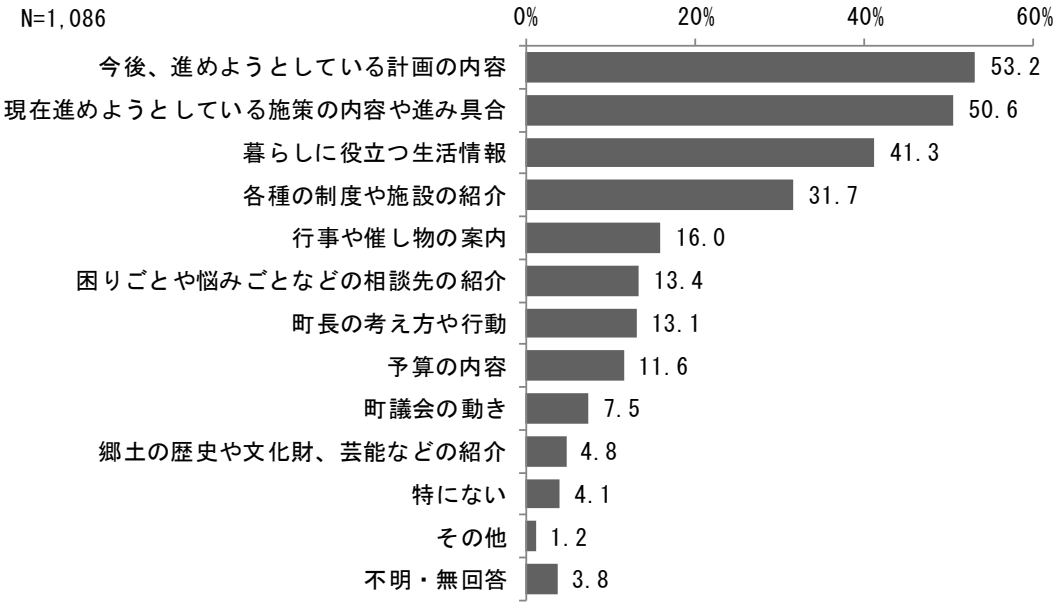
環境保全のために、取組んでいることについてみると、「ごみの分別(94.6%)」や「リサイクルへの協力(89.1%)」など「ごみ出し」に関する取り組みなど、生活の中で簡単にできることについては、意識が高くなっています。



今後のまちづくりについて

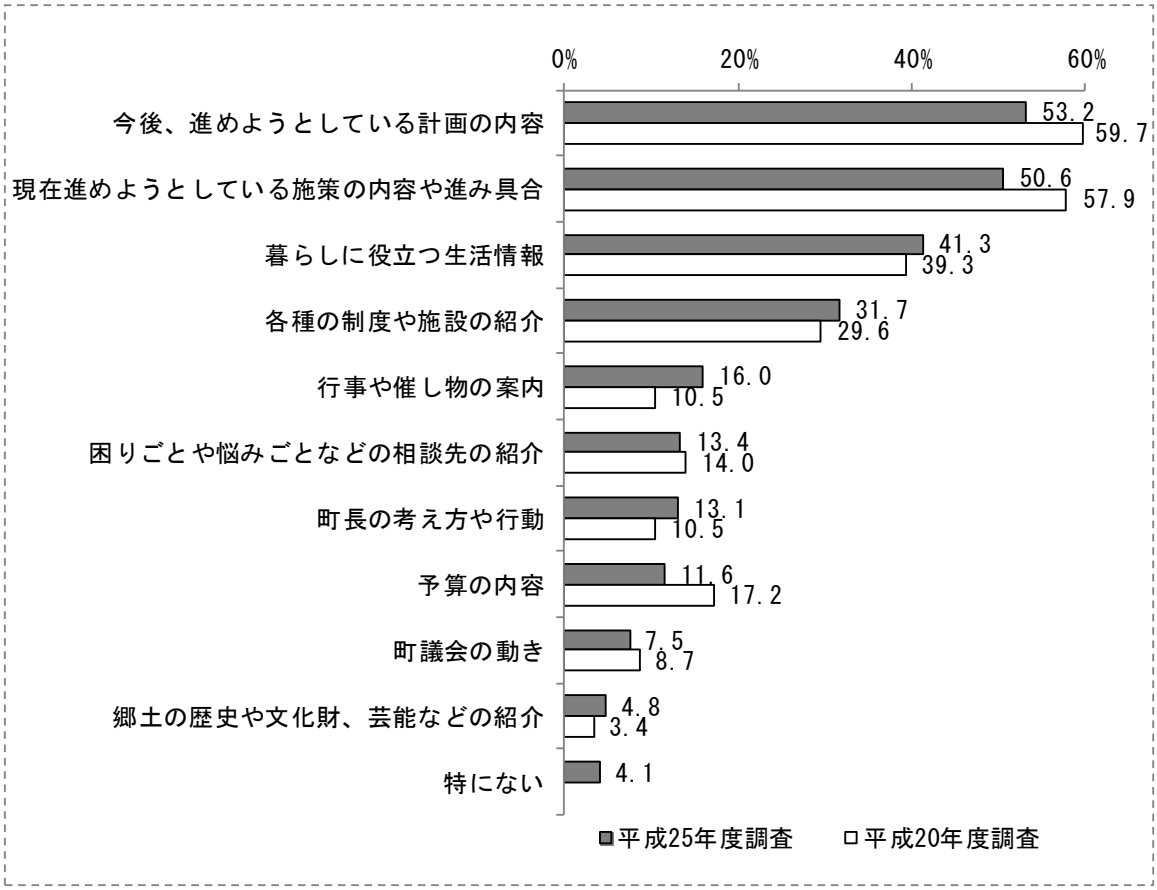
問 20　あなたは、町政について、もっとどのようなことを知らせてほしいと思いますか。あてはまるものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

知らせてほしい町政の情報についてみると、「今後、進めようとしている計画の内容」が53.2%で最も高く、次いで「現在進めようとしている施策の内容や進み具合」が50.6%となっています。



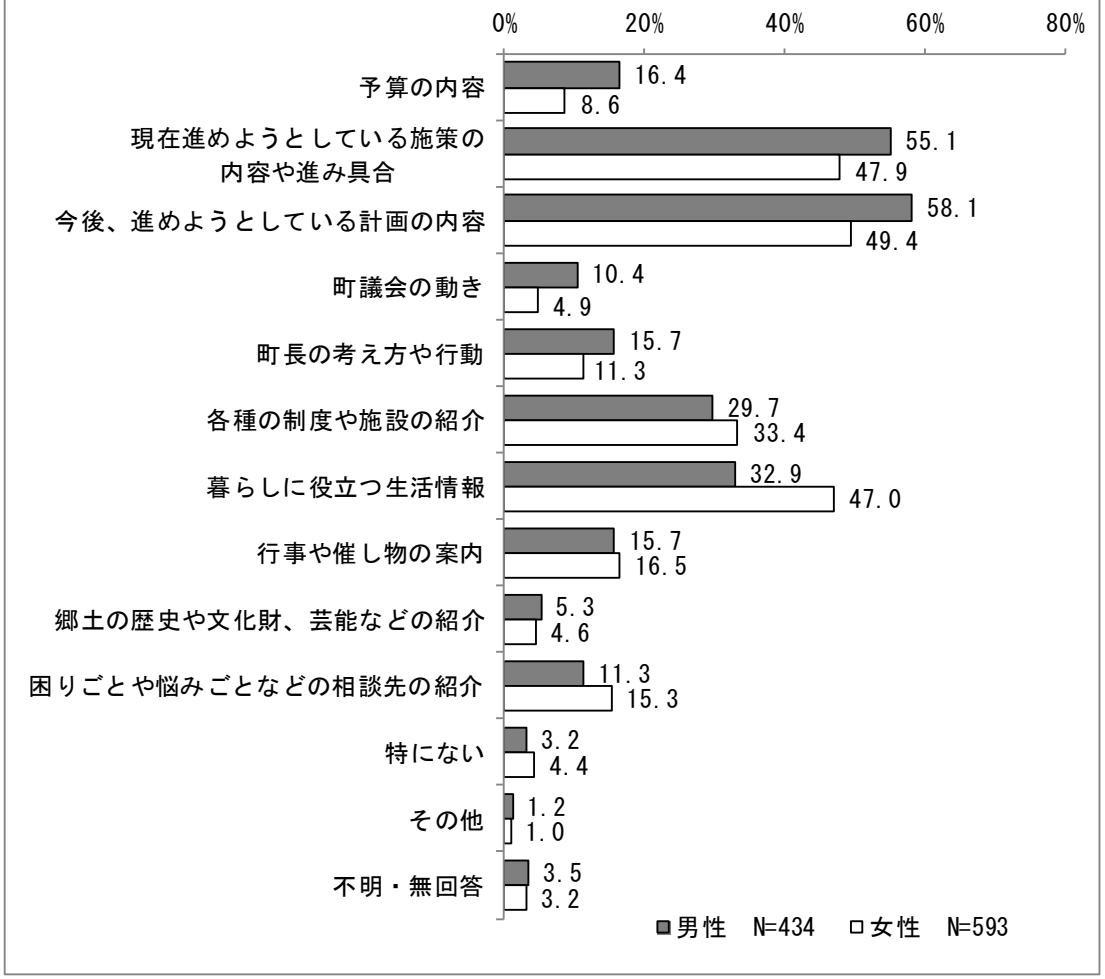
その他回答	類似回答数
具体的な中期ビジョン	1
予防接種の案内（大人）	1
税金の使い道	1
まち協の予算の使い道	1
役場の各部署の仕事内容	1
自然保全に対する見解	1
町政のスタンス	1
不正行為者には警告文書で改善要求をして欲しい（自己管理の空き地の雑草の始末や嵐の後の空き地の整理など）	1
ふれあいカレンダーの復活	1
自治会集会が年1回のため意見を言う機会が無い	1
行政側から住民の情報が流れるので相談は困難	1
HP の充実	1

◆前回調査との比較〔問 20〕



性別にみると、男女ともに、「今後、進めようとしている計画の内容」が最も高く、次いで「現在進めようとしている施策の内容や進み具合」となっています。また、「暮らしに役立つ生活情報」では、「女性」が 14.1 ポイント上回っています。

＜問 20 性別クロス集計＞



年代別にみると、「15～19 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「65～69 歳」では、「現在進めようとしている施策の内容や進み具合」が最も高く、５割以上となっています。

＜問 20 年代別クロス集計＞

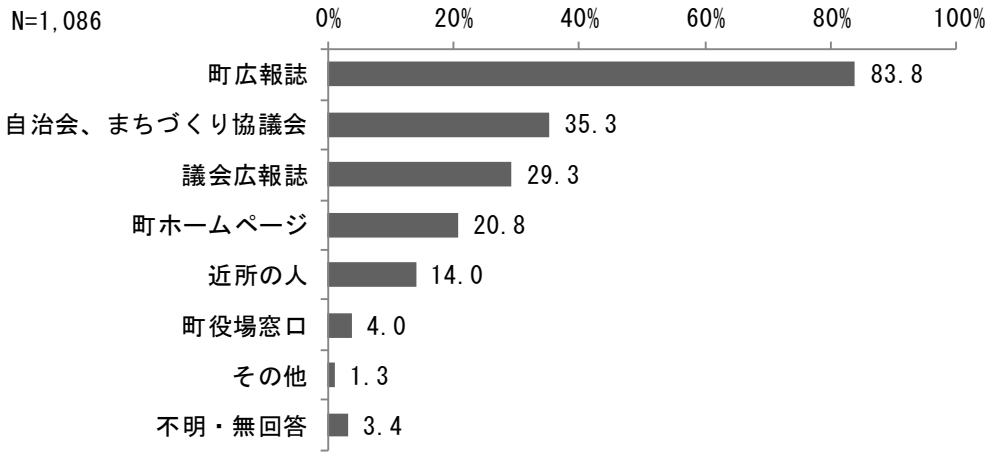
上段：回答数 下段：%	回答者数	予算の内容	現在進めようとしている施策の内容や進み具合	今後、進めようとしている計画の内容	町議会の動き	町長の考え方や行動	各種の制度や施設の紹介
合計	1086	126	550	578	81	142	344
	100.0	11.6	50.6	53.2	7.5	13.1	31.7
15～19歳	38	6	20	12	3	5	9
	100.0	15.8	52.6	31.6	7.9	13.2	23.7
20～29歳	50	10	21	24	6	8	15
	100.0	20.0	42.0	48.0	12.0	16.0	30.0
30～39歳	122	14	55	69	6	18	40
	100.0	11.5	45.1	56.6	4.9	14.8	32.8
40～49歳	173	16	104	100	8	13	65
	100.0	9.2	60.1	57.8	4.6	7.5	37.6
50～59歳	194	33	106	97	14	17	64
	100.0	17.0	54.6	50.0	7.2	8.8	33.0
60～64歳	127	15	70	85	13	21	43
	100.0	11.8	55.1	66.9	10.2	16.5	33.9
65～69歳	128	9	69	63	10	14	43
	100.0	7.0	53.9	49.2	7.8	10.9	33.6
70～74歳	116	9	55	65	10	22	28
	100.0	7.8	47.4	56.0	8.6	19.0	24.1
75歳以上	126	13	46	59	8	22	33
	100.0	10.3	36.5	46.8	6.3	17.5	26.2

上段：回答数 下段：%	暮らしに役立つ生活情報	行事や催し物の案内	郷土の歴史や文化財、芸能などの紹介	困りごとや悩みごとなどの相談先の紹介	特にない	その他	不明・無回答
合計	448	174	52	145	44	13	41
	41.3	16.0	4.8	13.4	4.1	1.2	3.8
15～19歳	10	12	3	3	4	1	1
	26.3	31.6	7.9	7.9	10.5	2.6	2.6
20～29歳	19	12	5	3	3	-	-
	38.0	24.0	10.0	6.0	6.0	-	-
30～39歳	60	27	5	15	5	2	-
	49.2	22.1	4.1	12.3	4.1	1.6	-
40～49歳	76	25	3	20	3	-	5
	43.9	14.5	1.7	11.6	1.7	-	2.9
50～59歳	87	24	9	22	5	-	7
	44.8	12.4	4.6	11.3	2.6	-	3.6
60～64歳	44	16	6	14	3	2	3
	34.6	12.6	4.7	11.0	2.4	1.6	2.4
65～69歳	50	17	8	25	3	3	6
	39.1	13.3	6.3	19.5	2.3	2.3	4.7
70～74歳	50	19	4	24	4	2	5
	43.1	16.4	3.4	20.7	3.4	1.7	4.3
75歳以上	47	20	8	17	11	2	12
	37.3	15.9	6.3	13.5	8.7	1.6	9.5

問 21　町政に関する情報を得るのはどこからですか。あてはまるものすべて選んで番号に○をつけてください。（MA）

町政の情報をどこから得ているかについてみると、「町広報誌」が 83.8%で最も高く、次いで「自治会、まちづくり協議会」が 35.3%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「町広報誌」が最も高く、５割以上となっています。



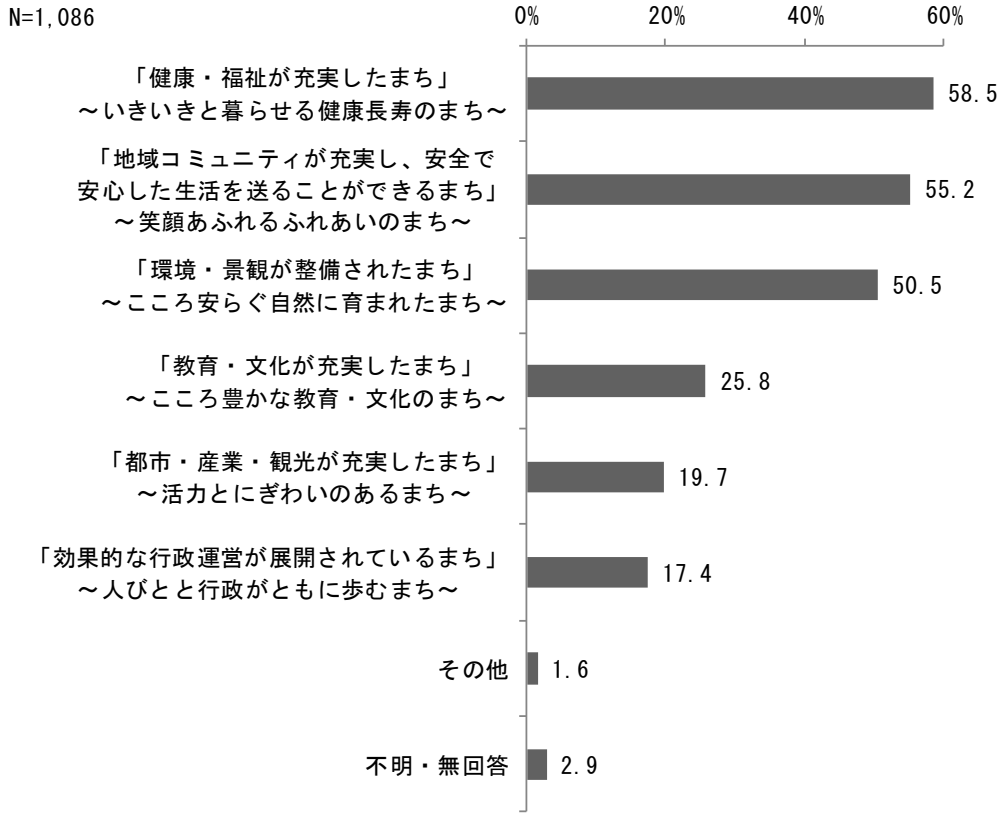
その他回答	類似回答数	その他回答	類似回答数
町会議員	2	親	1
ポスター	1	町からの手紙	1
学校	1	友人	1

＜問 21 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	町広報誌	町役場窓口	町ホームページ	議会広報誌	自治会、まちづくり協議会	近所の人	その他	不明・無回答
合計	1086	910	43	226	318	383	152	14	37
	100.0	83.8	4.0	20.8	29.3	35.3	14.0	1.3	3.4
15～19歳	38	22	-	11	7	5	5	3	2
	100.0	57.9	-	28.9	18.4	13.2	13.2	7.9	5.3
20～29歳	50	30	3	12	6	6	13	1	3
	100.0	60.0	6.0	24.0	12.0	12.0	26.0	2.0	6.0
30～39歳	122	101	4	29	22	22	18	4	-
	100.0	82.8	3.3	23.8	18.0	18.0	14.8	3.3	-
40～49歳	173	145	5	43	42	59	34	2	3
	100.0	83.8	2.9	24.9	24.3	34.1	19.7	1.2	1.7
50～59歳	194	165	5	50	51	69	15	2	4
	100.0	85.1	2.6	25.8	26.3	35.6	7.7	1.0	2.1
60～64歳	127	113	3	31	53	56	17	1	4
	100.0	89.0	2.4	24.4	41.7	44.1	13.4	0.8	3.1
65～69歳	128	118	8	22	46	57	8	-	5
	100.0	92.2	6.3	17.2	35.9	44.5	6.3	-	3.9
70～74歳	116	106	7	17	43	50	16	1	4
	100.0	91.4	6.0	14.7	37.1	43.1	13.8	0.9	3.4
75歳以上	126	100	6	9	46	53	24	-	10
	100.0	79.4	4.8	7.1	36.5	42.1	19.0	-	7.9

問 22　あなたは、猪名川町を今後どのようなまちにするのがよいと思いますか。お考えに近いものを３つ以内で選んで番号に○をつけてください。（MA）

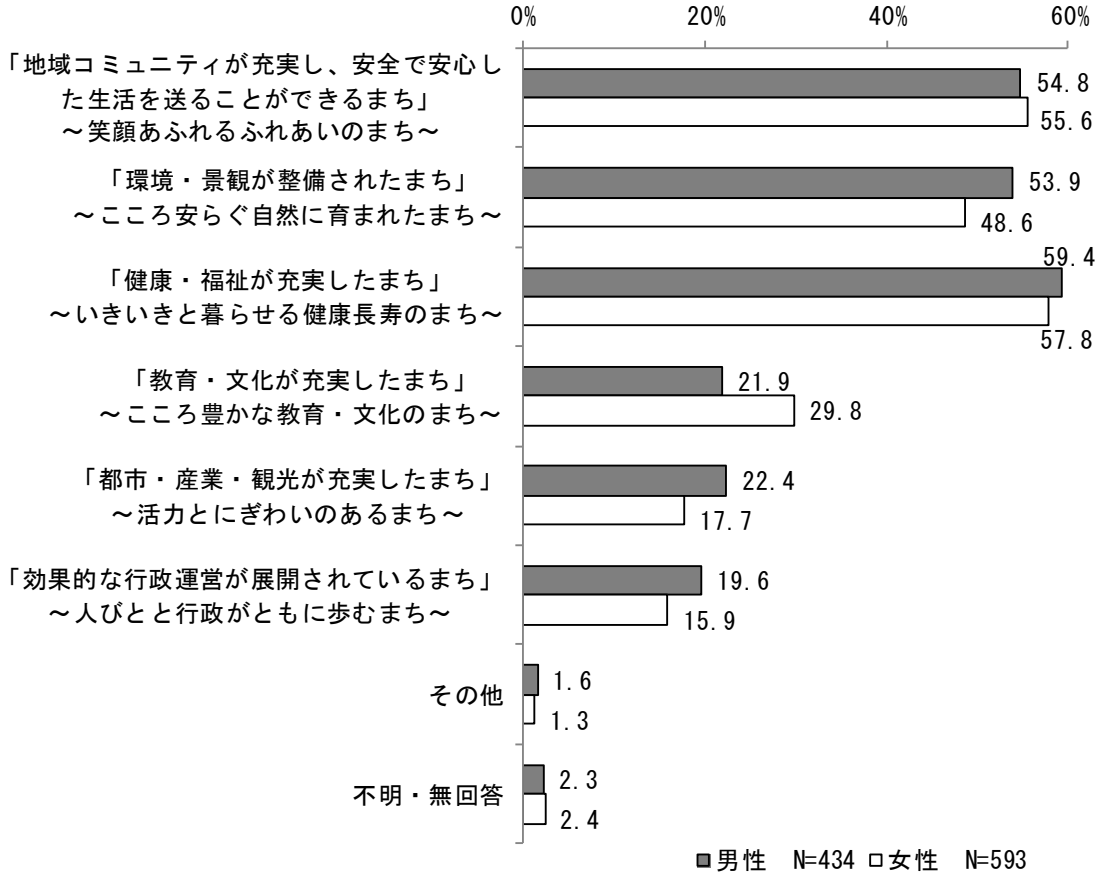
猪名川町を今後、どのようなまちにするのがよいと思うかについてみると、「健康・福祉が充実したまち」が 58.5%と最も高く、次いで「地域コミュニティが充実し、安全で安心した生活を送ることができるまち」が 55.2%、「環境・景観を整備されたまち」50.5%となっています。



その他回答	類似回答数
医療機関が充実しているまち	2
若者が働きやすいまち	2
バス移動がしやすいまち	2
子育てしやすいまち	2
買い物がしやすいまち	1
人口が増えるまち	1
田舎らしいのんびりしたまち	1
スポーツ施設が充実したまち	1
町外からの人を誘致できるまち	1
大学の誘致	1
私立高校の設立	1

性別にみると、男女性ともに、「健康・福祉が充実したまち」が最も高く、次いで「地域コミュニティが充実し、安全で安心した生活を送ることができるまち」となっています。

＜問 22 性別クロス集計＞



年代別にみると、「15～19 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」では、「地域コミュニティが充実し、安全で安心した生活を送ることができるまち」、「20～29 歳」では、「環境・景観が整備されたまち」が最も高くなっています。「50 歳以上」では「健康・福祉が充実したまち」が最も高くなっています。

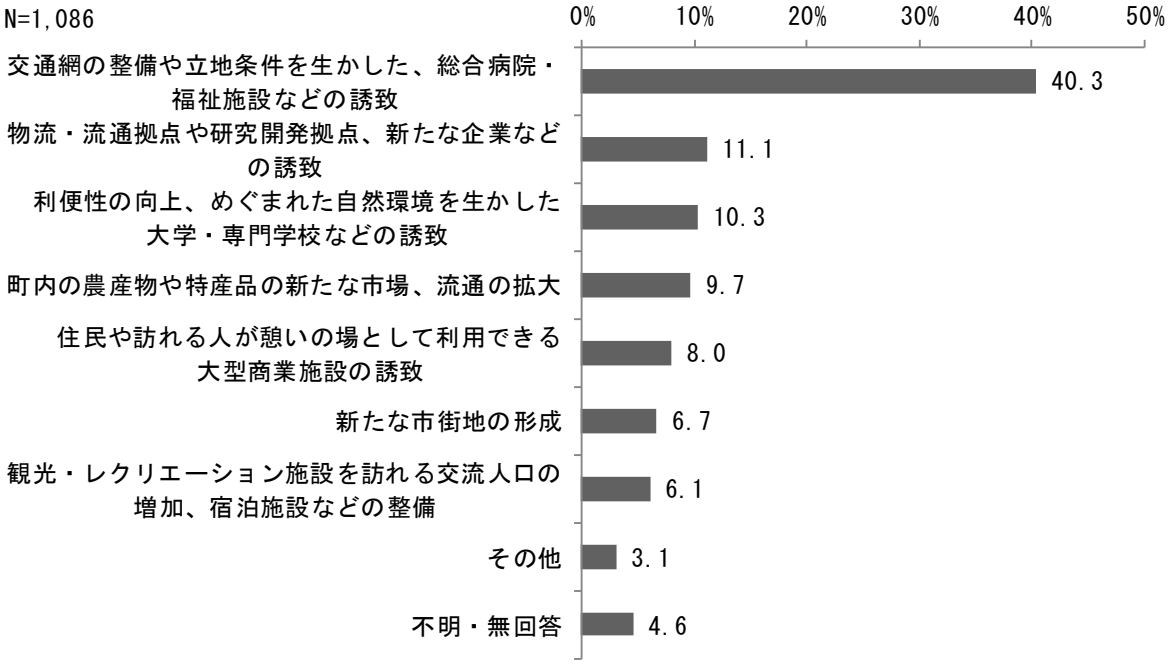
＜問 22 年代別クロス集計＞

上段：回答数 下段：%	回答者数	「地域コミュニティが充実し、安全で安心した生活を送ることができるまち」～笑顔あふれるふれ	「環境・景観が整備されたまち」～こころ安らぐ自然に育まれたまち～	「健康・福祉が充実したまち」～いきいきと暮らせる健康長寿のまち～	「教育・文化が充実したまち」～こころ豊かな教育・文化のまち～
合計	1086 100.0	599 55.2	548 50.5	635 58.5	280 25.8
15～19歳	38 100.0	24 63.2	23 60.5	11 28.9	14 36.8
20～29歳	50 100.0	28 56.0	29 58.0	19 38.0	12 24.0
30～39歳	122 100.0	67 54.9	57 46.7	51 41.8	48 39.3
40～49歳	173 100.0	101 58.4	77 44.5	94 54.3	57 32.9
50～59歳	194 100.0	93 47.9	103 53.1	114 58.8	41 21.1
60～64歳	127 100.0	70 55.1	65 51.2	86 67.7	31 24.4
65～69歳	128 100.0	74 57.8	70 54.7	80 62.5	35 27.3
70～74歳	116 100.0	64 55.2	62 53.4	85 73.3	19 16.4
75歳以上	126 100.0	73 57.9	58 46.0	88 69.8	23 18.3

上段：回答数 下段：%	「都市・産業・観光が充実したまち」～活力とにぎわいのあるまち～	「効果的な行政運営が展開されているまち」～人びとと行政がともに歩むまち～	その他	不明・無回答
合計	214 19.7	189 17.4	17 1.6	31 2.9
15～19歳	12 31.6	2 5.3	- -	- -
20～29歳	17 34.0	3 6.0	- -	1 2.0
30～39歳	17 13.9	15 12.3	2 1.6	- -
40～49歳	34 19.7	24 13.9	2 1.2	2 1.2
50～59歳	45 23.2	32 16.5	2 1.0	6 3.1
60～64歳	16 12.6	33 26.0	3 2.4	3 2.4
65～69歳	27 21.1	25 19.5	1 0.8	3 2.3
70～74歳	25 21.6	27 23.3	3 2.6	4 3.4
75歳以上	19 15.1	26 20.6	2 1.6	9 7.1

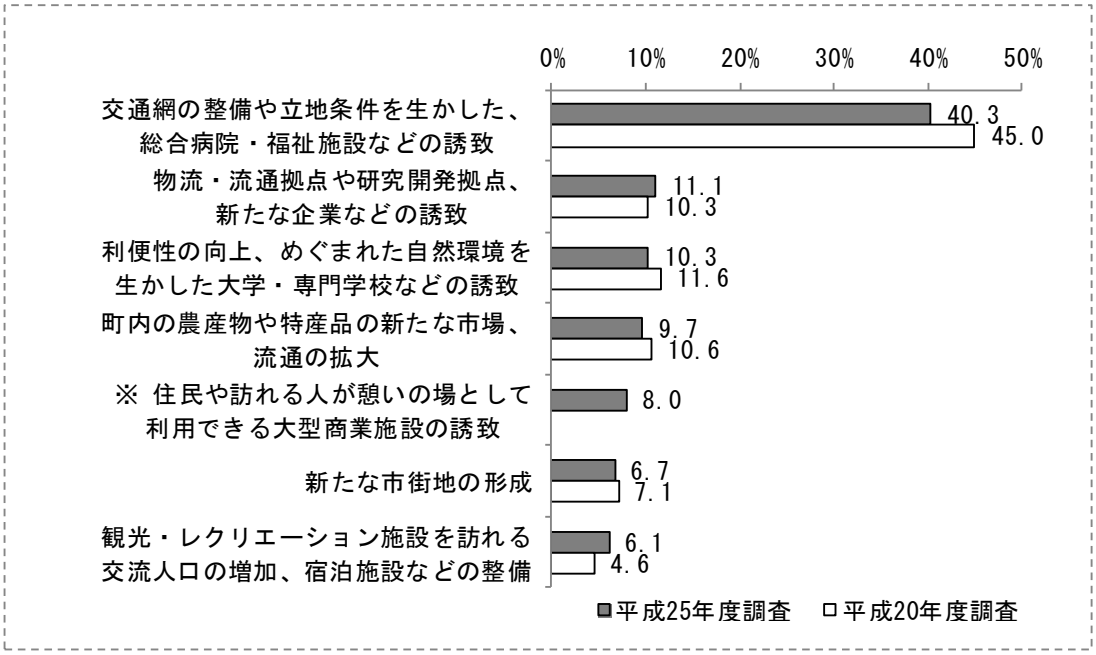
問 23　あなたは、新名神高速道路が完成した後の猪名川町のまちづくりにどのようなことを期待しますか。お考えに近いものを１つ選んで番号に○をつけてください。

新名神高速道路の完成後の猪名川町のまちづくりに期待することについてみると、「交通網の整備や立地条件を生かした、総合病院・福祉施設などの誘致」が 40.3%で最も高くなっています。



その他回答	類似回答数
自然環境の保持	10
騒音、大気汚染対策	3
期待しない	3
工事の中止を希望	2
道路の整備	1
産業誘致と福祉の充実化	1
自然を増やす	1
猪名川の知名度の向上	1
自然環境を活用した観光振興	1
イオン猪名川の拡張	1
防犯強化	1

◆前回調査との比較〔問 23〕



※ 平成 25 年度調査のみの選択肢

平成20年度調査の選択肢
新たなニュータウン開発や、市街地の形成

年代別にみると、「20～29 歳」を除くすべての年代で、「交通網の整備や立地条件を生かした、総合病院・福祉施設などの誘致」が最も高くなっています。

＜問 23 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	新たな市街地の形成	物流・流通拠点や研究開発拠点、新たな企業などの誘致	利便性の向上、めぐまれた自然環境を生かした大学・専門学校などの誘致	観光・レクリエーション施設を訪れる交流人口の増加、宿泊施設などの整備
合計	1086 100.0	73 6.7	121 11.1	112 10.3	66 6.1
15～19歳	38 100.0	2 5.3	4 10.5	2 5.3	5 13.2
20～29歳	50 100.0	9 18.0	3 6.0	4 8.0	4 8.0
30～39歳	122 100.0	9 7.4	14 11.5	16 13.1	4 3.3
40～49歳	173 100.0	11 6.4	18 10.4	23 13.3	12 6.9
50～59歳	194 100.0	11 5.7	22 11.3	12 6.2	16 8.2
60～64歳	127 100.0	10 7.9	16 12.6	10 7.9	5 3.9
65～69歳	128 100.0	6 4.7	18 14.1	19 14.8	6 4.7
70～74歳	116 100.0	5 4.3	14 12.1	12 10.3	6 5.2
75歳以上	126 100.0	7 5.6	11 8.7	12 9.5	8 6.3

上段:回答数 下段:%	町内の農産物や特産品の新たな市場、流通の拡大	住民や訪れる人が憩いの場として利用できる大型商業施設の誘致	交通網の整備や立地条件を生かした、総合病院・福祉施設などの誘致	その他	不明・無回答
合計	105 9.7	87 8.0	438 40.3	34 3.1	50 4.6
15～19歳	8 21.1	3 7.9	10 26.3	4 10.5	- -
20～29歳	10 20.0	8 16.0	10 20.0	1 2.0	1 2.0
30～39歳	14 11.5	19 15.6	39 32.0	4 3.3	3 2.5
40～49歳	18 10.4	26 15.0	56 32.4	7 4.0	2 1.2
50～59歳	17 8.8	6 3.1	97 50.0	6 3.1	7 3.6
60～64歳	12 9.4	5 3.9	61 48.0	4 3.1	4 3.1
65～69歳	6 4.7	8 6.3	52 40.6	3 2.3	10 7.8
70～74歳	10 8.6	6 5.2	56 48.3	2 1.7	5 4.3
75歳以上	10 7.9	5 4.0	52 41.3	3 2.4	18 14.3